

令和6年度 第4回松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会

日時	令和7年3月14日（金）午前9時30分
会場	松本市立博物館講堂

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議事項

- (1) 地域移行マネジメント支援の業務報告について
- (2) 令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況
- (3) 今年度の地域移行事業の総括（分析から見えてきた課題と次年度の取組み）
- (4) 松本市立学校体育施設開放事業の見直しについて
- (5) 地域移行後の自転車利用について
- (6) 部活動の地域クラブ活動への移行に係る調査の結果について
- (7) 松本市地域クラブガイドについて

4 その他

5 閉会

令和6年度 部活動地域移行プロジェクト 体制表

●部活動地域移行検討協議会 9名（年4回開催）

役職	職名	氏名
会 長	松本大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授	新井 喜代加
副会長	市スポーツ協会事務局長	横内 俊哉
委 員	中学校長会代表（丸ノ内中学校長）	宮下 昌史
	中学校長会代表（開成中学校長）	中川 由香里
	P T A連合会副会長	常田 光弘
	P T A連合会副会長	小林 珠美
	（株）松本山雅	柄澤 深
	芸術文化振興財団理事長	青山 織人
	公民館長会会長（安原地区公民館長）	藤野 一男

●部活動地域移行検討協議会参加メンバー 20名

役職	職名	氏名
オブザーバー	信州大学教職支援センター准教授、松本市教育顧問	荒井 英治郎
会 員	教育長	伊佐治 裕子
	教育次長	赤羽 志穂
	教育監	坂口 俊樹
	教育政策課長	小西 えみ
	学校教育課長	清沢 卓子
	学校施設担当課長	西澤 弘
	生涯学習課長	廣田 圭男
	文化観光部長	小口 一夫
	文化振興課長	清澤 明子
	スポーツ本部長	大島 良司
	スポーツ事業推進課長	山本 茂
	スポーツ施設整備課長	輪湖 稔
	住民自治局長	逸見 和行
	地域づくりセンター長	勝家 隆
事 務 局	市総括コーディネーター	幅 誠一郎
	指導主事	高山 智史
	課長補佐	降旗 基
	主査	竹内 賢
	主査	千賀 康孝

●協議会ワーキングメンバー 15名

所属課	職名	氏名
学校教育課	課長補佐	横山 盛雄
	係長	堀金 孝志
	主事	篠田 大希
学校支援室	市総括コーディネーター	幅 誠一郎
	指導主事	高山 智史
生涯学習課	係長	上嶋 秀俊
	主査	浅井 勇太
文化振興課	係長	傘木 史仁
	主事	脇谷 絵梨香
スポーツ事業推進課	係長	齋藤 康治
	主事	中島 涼奈
スポーツ施設整備課	課長補佐	真田 俊晴
事務局	課長補佐	降旗 基
	主査	竹内 賢
	主査	千賀 康孝

第4回 部活動地域移行検討協議会
2025年3月14日（金）

地域移行マネジメント支援の業務報告について

スポーツデータバンク株式会社

© Sports Data Bank Group

01 まつチャレサポートデスクの対応状況

3 01 まつチャレサポートデスクの対応状況

● コールセンター対応状況

● サマリー

まつチャレサポートデスク電話問合せ ☎ 0120-979-066

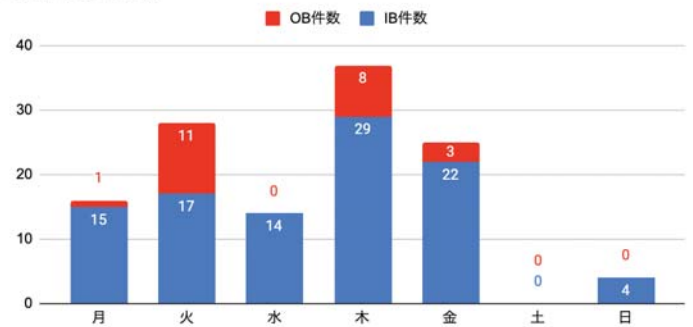
電話対応時間 平日・土日 9:00～17:00 (祝日対応外)

開始日	2024/10/03
期間	2025/03/06
受発信総数	124 (+45)
インバウンド（受電）総数	101 (+41)
アウトバウンド（家電）総数	23 (+4)
平均通話時間（有効分）	0:04:50

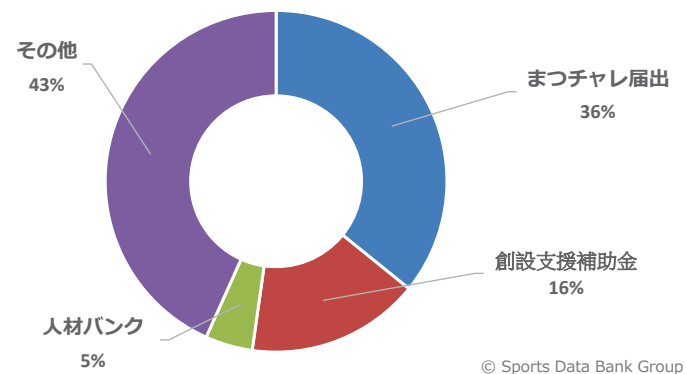
受発信件数・日別

受発信件数・曜日別

IB = インバウンド（受電） / OB = アウトバウンド（架電）



問合せ・相談内容（1名複数内容あり）



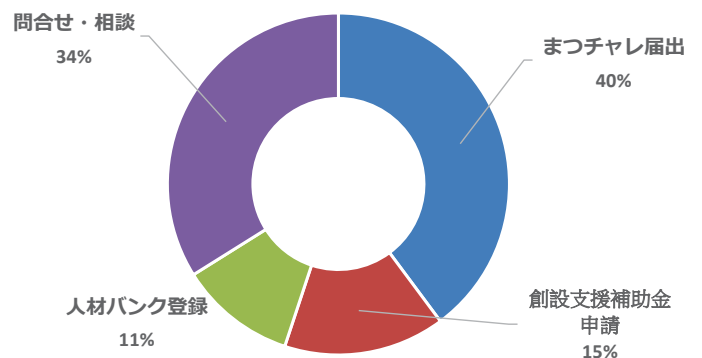
4 01 まつチャレサポートデスクの対応状況

● 各種フォーム対応状況

● サマリー

開始日	2024/09/30
期間	2025/03/06
受付総数	118 (+62)
[受付内訳]	
まつチャレ届出	47 (+26) スポーツ：42 (+24) 文化・芸術：5 (+2)
松本市地域クラブ創設支援補助金申請	18 (+5)
人材バンク登録届出	13 (+8)
お問合せ・ご相談 ※初回フォームに限定	40 (+22)

各種フォーム受付内訳



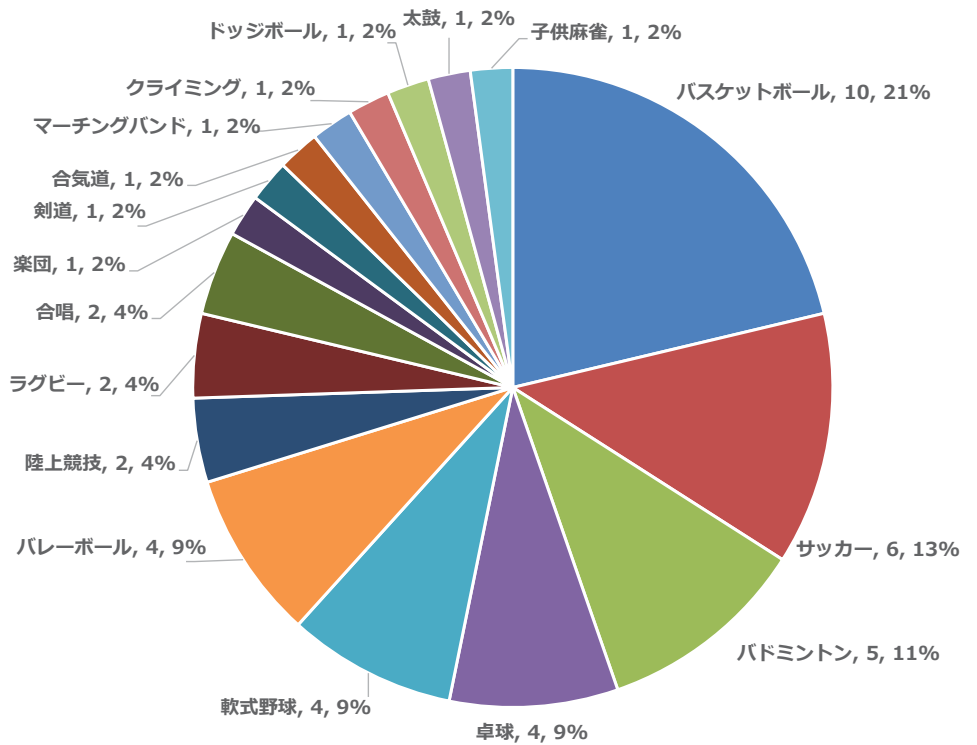
人材バンク登録内訳

種目	人数	種目	人数
野球	1	ラグビー	1
卓球	1	洋裁	1
サッカー	1	書道	2
バレーボール	2	空手	1
マウンテンバイク	1	吹奏楽	1
バスケットボール	1		

5 01 まつチャレサポートデスクの対応状況

● まつチャレ申請状況

協議・種目	届出数	一覧掲載
バスケットボール	10	7
サッカー	6	6
バドミントン	5	5
卓球	4	4
軟式野球	4	3
バレーボール	4	3
陸上競技	2	2
ラグビー	2	2
合唱	2	1
楽団	1	1
剣道	1	1
合気道	1	0
マーチングバンド	1	0
クライミング	1	1
ドッジボール	1	1
太鼓	1	0
子供麻雀	1	1
合計	47	38



© Sports Data Bank Group

02 市民説明会の実施

● 市民説明会の概要（再掲）

趣旨	松本市の部活動地域移行の取組について、市民に周知するため説明会を開催する
タイトル	「どうなるの？部活動の地域移行」
日時・会場	① 12/22（日）14：00-15：30 波田公民館 ② 2/1（土）10：00-11：30 庄内地区公民館
対象者	どなたでも （クラブ関係者、保護者（生徒）、地域指導者、企業など）
参加者数	①28人、②32人
申込方法	市HPで事前申込 ※当日参加可
内容	● 地域移行の概要 国の方針と松本市の目指す姿 ● まつチャレの概要 要件、メリット、届出、創設補助金 ● まつチャレへの参加 参加費、交通、参加費支援 ● 指導者 人材バンク、指導者研修、相談窓口 ● サポートデスクについて <u>対応内容</u> ● 個別相談コーナー

© Sports Data Bank Group

● 市民説明会の様子

第1回 2024年12月22日



第2回 2025年2月1日



© Sports Data Bank Group

03 課題および次年度対応の方向性

© Sports Data Bank Group

10 03 課題および次年度対応の方向性

● 令和7年度サポートデスクの改善点

① まつチャレ届出・指導者登録の強化



課題

- 十分なまつチャレの確保
(種目・エリアのカバー率向上)
- 指導者不足の確保

候補団体・人材の選定

個別ヒアリング・アプローチ

② WEBページのバージョンアップ



課題

- 関連情報の集約
- 認知度と分かりやすさの向上

WEBページ情報の追加

団体紹介等の拡充・検索機能追加

③ まつチャレの運営支援の強化



課題

- 持続可能な運営方法の定着
- 事例共有とノウハウの蓄積

運営マニュアルの作成・公表

運営状況の把握と助言

④ 「オール松本」の体制構築の強化



課題

- 地域を良く知る事業者との連携
- フットワークの向上

地域事業者との連携体制の整備

地域の状況・情報の集約

令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2025/3/14

No.	分類	内容	課題提起			対応者	期限	対応	対応完了日
			学	保	関				
1	市としての理念	松本市としてのビジョンを（しかるべき人から）示してほしい。休日部活動の移行という観点からだけでなく、松本市として、スポーツや文化の活動をどのように捉えているか示してほしい。この長期展望からR5（R6も）の地域クラブ活動の目指す姿（当面の完成形）を示してほしい。	○		○	学校教育課 スポーツ事業推進課 文化振興課 教育政策課	2023/10/1 ↓ 2024/3/31 ↓ 2024/4/9 ↓ 2024/9/25 ↓ 2024/10/4 ↓ 2024/11/30 ↓ 2025/2/7, 12 ↓ 2025/2/28	<2023/10> 国のガイドラインにおいても、各自治体における推進計画の策定が示されているため、今年度を目途に推進計画を策定し、目指す姿の周知を図ります。 <2024/2> 推進計画を2月に策定し、概要版も作成しました。 <2024/4> 小中学校の児童生徒、保護者に対して地域移行のリーフレットを作成し校務支援ツールから配信しました。 <2024/9> ・9月からまつチャレ通信を定期発行し、校務支援システム（C4th home&school）で配信しました。 ・9/25の市長定例記者会見で、松本市における今後の移行方針等を説明しました。 <2024/10> 市の公式Youtubeチャンネルにて、部活動の地域移行の内容を配信しました。 <2024/11> 市長と市民が懇談する多事争論会において、部活動の地域移行について、移行スケジュールや支援策などを説明しました。 <2025/2> ・市の公式YouTubeチャンネルにて、部活動の地域移行について市長との対談動画を2本配信しました。 ・広報まつもと3月号の巻頭特集で部活動の地域移行に関する記事を掲載しました。	
2	推進日程	本当に部活動の移行は行われるのか。いつから部活動がなくなる、ということ を明言してほしい。覚悟が決まらない。令和8年度の移行に向けて、令和5年度は何をするのか。具体的なスケジュールを示してほしい。	○			教育政策課 学校教育課	2023/10/1 ↓ 2024/9/9	<2023/6/15> ・松本市議会6月定例会の一般質問において、令和7年度末までに地域移行を完了する旨答弁しました。 ・具体的なスケジュールについては、現在作成中の推進計画策定後（2月頃）に提示します。 ・推進計画に、休日部活動は令和7年度末までに、平日部活動は令和8年度に移行することを目指して取組みを進めていくことを明示しました。 <2024/9/9> ・地域移行の情報紙「まつチャレ通信」を刊行し、9月号に各学年に応じた移行スケジュールの表を掲載しました。	
3	協議会	協議会の議論の様子を定期的に共有してほしい。何が決まって、何が課題点なのかについて、現場レベルでは情報が無い。校長会・教頭会等で教えてほしい。	○	○	○	教育政策課 学校支援室	2023/6/30 ↓	<2023/6/15> 市ホームページに協議会のページを作成し、会議資料をアップロードしました。	
4	協議会	どのようなルートで情報は周知され、どこが課題点を検討するのか。どこが何を するのか、という協議会の持ち方を明らかにしてほしい。	○	○	○	教育政策課	2023/6/30	<2023/8/1> ・関係者会議で各課の課題を協議し、移行検討協議会で承認いただいた後、市ホームページや各種説明会等での周知を行います。	2023/8/1
5	指導者	希望する教員が地域クラブ指導者となり、希望しない教員が関わらないで済む体制をお願いしたい。	○	○		学校教育課	2024/3/31 ↓ 2024/10/9 ↓ 2024/11	<2023/7/28> 学校関係の協議会参加委員から校長会を経由して各校へ周知します。 <2024/1> 校長会において、学校側の地域移行の具体的な進め方について説明し、今後、兼職兼業を希望する教員がどのように関わっていくか提案しました。 <2024/10> 市PTA連合会主催の説明会に出席し、部活動地域移行の説明の中で、原則、兼職兼業届けは希望する教職員のみで、強制されるものではないことを説明しました。 <2024/11> 各学校の吹奏楽部保護者会において、吹奏楽の地域移行の目指す姿等を説明するとともに、現在の顧問に対して、兼職兼業の意思確認をしました。	
6	競技会等の在り方	中体連以外の競技会運営にも教員が関わっていたが、今後、指導を希望しない教員が増えることが予想される。運営スタッフの不足を補充するアルバイト等を募集すれば、結果的に参加費の高騰を招く可能性がある。競技会等の在り方を検討する必要があるのではないか。	○	○		スポーツ事業推進課	2023/12/1	<2023/11> 地域移行プロジェクトチーム会議で、大会の運営体制の在り方等について、各競技団体へ検討をお願いしていきます。	2023/12/1
7	地域クラブ活動の在り方	地域クラブ活動のガバナンスを担保する必要がある。指導者のハラスメント、異なる学校間で集まる生徒間のトラブルについても学校ではなく各地域クラブ活動で対応する必要がある。	○	○		スポーツ事業推進課 学校教育課	2024/12/1 ↓ 2025/2/14	<2023/10> 指導者向けの研修会について、令和6年度の開催を検討しています。 <2024/6> 今年度はプロスポーツクラブのコーチによる指導者研修や教育委員会による教育的意義についての研修を実施する予定です。 <2025/2> 部活動の教育的意義に関する研修や女子生徒への理解と支援等に関する指導者研修を実施しました。	
8	地域クラブ活動の在り方	レクリエーション志向の種目などをはじめ多様な種目を体験できる地域クラブ活動が活発になるよう期待したい。	○	○		教育政策課 スポーツ事業推進課 文化振興課 生涯学習課	2023/12/1 ↓ 2025/2/28	レク志向、競技志向については、各団体の活動方針によりますが、今後地域クラブ団体の一覧表を作成するにあたっては、クラブ団体にヒアリングを行い、表中に掲示できるように検討します。 <2024/1> 中学生の受入れが可能な団体一覧を作成し、市ホームページに公開するとともに、学校と保護者の連絡ツール（C4th home&School）にて、情報配信を行いました。 <2024/9> 第2回中学校部活動地域移行プロジェクトチーム会議にて、中学生の受入れが可能な団体一覧を、より視覚的に紹介する「団体カタログ（仮）」の作成を提案し、現在募集中です。 <2024/11> 団体カタログのレイアウトや、まつチャレ団体一覧の入力フォームとの統一について、関係課及びスポーツデータバンクと調整しました。 <2025/2> 団体カタログの名称を地域クラブガイドに変更し、第3回中学校部活動地域移行プロジェクトチーム会議にて様式を報告しました。また、未登録の団体にも追加で情報提供いただくよう募集案内を周知しました。	

令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2025/3/14

No.	分類	内容	課題提起			対応者	期限	対応	対応完了日
			学	保	関				
9	指導者の質	教員が大切にしてきた生徒個人の特性等に応じた指導は、これからも重要である。子どもと接する機会の少ない地域クラブ指導者の質を向上するために研修の機会が必要である。市として研修会を確保してほしい。	○	○		スポーツ事業推進課 学校教育課	2024/9/30 ↓ 2025/2/14	<2023/4/1> ・本年度から、指導者の質・量の確保を目的に、公認スポーツ指導員資格者の取得に係る経費について補助金交付を行っています（令和5年度実績 コーチ1：7名、スタートコーチ：1名） ・また、指導者向けの研修会について、令和6年度の開催を検討しています。 <2024/6> 今年度はプロスポーツクラブのコーチによる指導者研修や教育委員会による教育的意義についての研修を実施する予定です。 <2025/2> 部活動の教育的意義に関する研修やプロスポーツクラブによるコンプライアンス研修等を実施しました。	
10	指導者の量	教員が「休日だけでなく、平日も指導に関わりたくない」という意思を表明する状況が予想される。休日も、まして平日の地域クラブ活動の指導者を確保することは困難である。一方で子どものスポーツや文化の活動の衰退は避けるべき。指導者を安定的に確保できる体制を手当てを含めて検討し、整えてほしい。持続的に関わることでできる指導者を確保するために人材バンク等の検討をお願いしたい。	○	○		教育政策課 スポーツ事業推進課	2024/9/30 ↓ 2025/3	人材バンクについては、県教委が設置しているケースがほとんどですが、今後も県の動向や他の先進自治体の状況等も参考にしながら、よりよいマッチング方法について研究していきます。 市の職員が、平日の勤務時間内に地域クラブの指導者を希望した場合に、職免の対応が可能か、検討していきます。 <2024/6> 今年度、マネジメント支援業務委託の中で、指導者の人材バンクの仕組みについても検証する予定です。 <2024/9> 9/30にまつチャレサポートデスクを開設し、指導者人材バンク登録を開始しました。 <2025/3> 指導者人材バンクの登録者数は13人です（3/11時点）	
11	指導者の量	国は教員に支給されてきた教員調整額の見直しを図っているようだが、今後残業代が支払われることで、教員が平日の時間外に部活動指導を担うという方針があるのか。国の動向を教えてほしい。	○		○	学校教育課	2025/3/31	国の動向を確認し、状況に応じて周知いたします。	
12	会費	地域クラブ活動への移行は、低廉な部費から高い月謝を支払うことへ転換されることが予想され、「やってみたい」活動を行えない生徒が一定数生じることが考えられる。低廉な月謝となるよう補助を検討いただくか、低廉な月謝となる地域クラブ活動を創設してほしい。そうでないと、スポーツや文化活動の衰退を招きかねない。	○			教育政策課 スポーツ事業推進課	2025/3/31	地域クラブの会費は可能な限り参加しやすい金額を設定することを推奨します。なお、経済的理由によって参加を諦めることがないよう、市では就学援助対象世帯に必要となる支援を検討します。	
13	送迎	今まで通学する中学校で練習が行われてきた。地域クラブ活動では活動場所は遠方になる可能性がある。周回バスなどにより、「やってみたい」を続けられるシステムを検討してほしい。			○	公共交通課	2025/3/31	・通学する学校以外が会場となる場合があり、保護者の送迎が必要となることもありえます。送迎距離が遠距離にならないよう、様々なエリアでの地域クラブの創設を促進します。 ・市の公設民営のバス路線等の活用を検討していきます。	
14	産学官の連携	体育館や文化施設を有する一般企業や、スポーツ関連企業、あるいは、近隣大学との連携により、地域に根ざすスポーツや文化の活動を醸成してほしい。	○			スポーツ事業推進課	2025/3/31	<2024/10> 指導者人材バンク登録では、学生も随時募集していますので、今後大学等へ周知していきます。	
15	第3者機関	部活動であれば、生徒間のトラブルや顧問の不適切な対応は、学校や教育委員会が指導管理してきた。今後地域クラブ活動を管理し、指導する機関が必要になるのではないか。		○	○	スポーツ事業推進課 文化振興課 生涯学習課 教育政策課	2025/3/31	適正な地域クラブ活動が実施されるよう、市が適宜、地域クラブの活動状況を把握し必要に応じて助言・指導を行います。 <2024/9> 9月議会の一般質問において、子どもの権利を侵害する事案に対し、権利条例に基づく調査を「こころの鈴」と連携して実施することを答弁しました。 <2024/12> 12月議会の一般質問において、責任の主体は地域クラブが担うこととなるため、市としてはスポーツ安全保険の加入をクラブに対して求めることとし、生徒間で生じたトラブルに関しては、学校や教育委員会が連携して対応することを答弁しました。また事案によっては「こころの鈴」が相談窓口となって、関係機関につなぐ対応を行うことを、改めて説明しました。	
16	保険	地域クラブ活動への加入に際しては、子どもや指導者の怪我や事故への保障をカバーできる学校の共済保険と同等の保険への加入をお願いしたい。	○			学校教育課 スポーツ事業推進課 文化振興課 生涯学習課	2024/9/30	<2023/7/5> ・学校を由来とする地域クラブ活動に対しては、スポーツ安全保険への加入を推奨しています。 <2023/7/5> ・スポーツ安全協会に保険の案内用パンフレットの送付を依頼しました。 <2024/9/30> まつチャレの届出要件に、保険の加入についても明記しました。	
17	施設・用器具	地域クラブ活動が学校施設を借りられないと活動できない。中学生が所属する団体には学校施設の優先利用をお願いしたい。そのための学校開放を検討してほしい。その際、校舎に入らなくてもよい外トイレの充実や、ナイター整備も検討願いたい。また地域施設も同様に検討願いたい。	○			学校教育課施設担当	2025/3/31 ↓ 2026/3/31	学校施設の優先利用を検討します。また、体育館トイレが外部から使用できるよう検討します。ナイター設備は、地域住民との調整や費用も多額にかかるので、整備に時間がかかります。既存の施設の利用をお願いします。 <2025/1/29> 学校体育施設開放事業の見直しについて、学校開放管理指導員会で報告しました。	
18	施設・用器具	たとえば吹奏楽では、楽器を保管でき、素早く練習を行うことのできる学校の音楽室の利用が期待される。この場合、地域クラブ活動が利用できる学校開放の在り方が求められる。具体的には、地域指導者が利用可能となるよう施錠等の在り方を検討する必要がある。			○	学校教育課施設担当	2025/3/31 ↓ 2026/3/31	学校職員以外の人が校舎の中に入れるよう、機械警備の方法を検討します。 <2025/2/28> 梓川中学校体育館で、スマートキーの実証実験を開始しました（施設予約システムとAPI連携してLINE経由でセキュリティーキーを送信し、キーボックスを開錠する仕組み）。	
19	施設・用器具	平日や休日の学校施設開放に学校が関わらない仕組みを作してほしい。	○	○	○	学校教育課施設担当	2025/3/31	学校施設の貸出ですので、全く関わらない仕組みはできません。	
20	施設・用器具	部活動では消耗品や備品として整備され利用できた用器具（デジタルタイマーやボール、楽器など）を地域クラブ活動は利用可能か。利用できる体制が必要だと思われる。	○			学校教育課施設担当	2025/3/31	サッカーゴールやバレーボールの支柱等は従来どおり貸出します。ボール等の消耗品は、クラブで用意していただきたい。デジタルタイマーや楽器の貸出しは学校と協議したい。	
21	指導方針	当面、平日と休日とで異なる指導者が指導するため、指導の方向性が異なると混乱する可能性がある。またどちらの団体で大会に出場したらよいかを迷う。	○	○	○	スポーツ事業推進課	2025/3/31	<2023/11> 大会への出場については、所属クラブの選択と同様に、子どもたちの主体的な選択として、自分で判断し決めてもらうものです。	
22	兼職兼業による指導の混乱	兼職兼業が許可された教員が、平日は部活動の野球を指導し、休日は地域クラブ活動のサッカーを指導している。休日に中体連大会と地域クラブ活動の大会とが重なった場合、どちらを優先する必要があるか。本務は学校であることから部活動を優先することは理解しているが、一方で地域クラブ活動の醸成を目指す際には、この問題がクリアにならないと足かせになる。可能であれば、このような問題をクリアするために休日のみならず平日の部活動の廃止を検討してほしい。	○	○	○	学校教育課	2025/3/31	平日の部活動については、大会の出場要件や種目、地域の実情によっても移行状況が異なるため、令和8年度以降、準備が整い次第移行することを目指して取り組みます。	
23	特色ある地域クラブ活動	活動自体を楽しむレクリエーション志向の地域クラブ活動を増やしてほしい。競技志向すぎると入ることにハードルが高くなると思われる。様々な活動を整備してほしい。	○			スポーツ事業推進課 生涯学習課 文化振興課	2025/3/31	レクリエーション志向のものも含め、受け皿となる団体との調整を進めているところで	

令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

No.	分類	内容	課題提起			対応者	期限	対応	対応完了日
			学	保	関				
24	地域クラブ活動の在り方	新規に地域クラブ活動の団体を設立したいが、どうしたらよいだろうか。	○	○		スポーツ事業推進課 生涯学習課 文化振興課	2024/9/30	<2023/8/8> ・地域クラブ設立に伴う具体的な要件等について、担当課で詳細を検討しています。 <2023/10/23> 教職員向けの現行部活をクラブ化する場合の流れについて案を作成し、校長会の中学校部会において説明しました。 <2024/6> 松本市地域クラブの要件を本年度定める予定です。策定次第、地域クラブの登録方法等を広報等で周知いたします。 <2024/9> 9/30に開設したまつチャレサポートデスクにて、新規クラブ立ち上げのための相談を受け付けます。	2025/3/14
25	部活動の在り方	学校は、今後入学する生徒数を勘案して、部活動の存続や他校への委任指導、合同部活動など、部活動の在り方を検討しはじめてよいか。部活動を廃部とすれば、他の部活動の人数が増える偏りが生まれる可能性もある。同様に他校との調整を図る必要はないか。学校として動きたいが、どのように動いたらよいか教えてほしい。この検討の際、学校間のみならず競技協会、中体連等との連携をお願いしたい。また拠点校部活動についても同時に検討願いたい。	○		○	学校教育課	2023/12/1	<2023/7/5> ・今後の入学者数を長期的に捉えて、部活動数の適正化を図る必要があります。委任指導や合同部活動を許可する校長会が主導することとなります。 ・拠点校部活動はあくまで部活動の枠組みとなるため、本市では実施を検討していません。拠点校を構成したとしても、地域移行を進めるために、その拠点校の地域移行を再度検討する負担が生じます。また拠点校部活動を指導する指導者は、異動が前提となる学校職員であることを考えると、持続的に関わることでできる指導者を確保できない可能性があります。また指導を希望しない教員が指導を行わざるをえない可能性も払拭できないものと思われます。	2023/7/5
26	県の財源	休日の部活動には、部活動手当が支給されていた。地域移行が進み、顧問が指導しなくなれば、県はこの財源をどのように活用していくのか。この財源が地域クラブ活動への補助となるか。	○		○	教育政策課	2025/3/31	<2023/8/1> ・部活動手当とは関係なく、国として地域クラブ活動への新たな補助制度を検討しているようですが、詳細は未定です。	
27	地域特性	山間地の部活動をどのように移行するのか。山間部の学校の生徒の「やってみたい」を実現するために、送迎の問題を含めて検討してほしい。	○	○	○	教育政策課	2025/3/31	山間地においては、移動に要する時間的なロスが大きい（特に平日）、ICTを活用したリモートコーチング等も視野に検討していきます。 <2024/6> 本年度、ICTを活用した指導（AIスマートコーチ）について実証を行います。	
28	地域クラブ活動の在り方	様々な事情を抱えた子のフォローなど、学校が関与せずにできる仕組みを構築してほしい。	○			学校支援室 スポーツ事業推進課	2024/3/31		
29	指導者	ボランティアでは継続性がない。兼業兼職の謝金は市でなんとかしてほしい。	○			学校教育課 教育政策課	2024/3/31	地域クラブの指導者はボランティアを前提とせず、必要な謝礼を受け取りながら活動の継続性を高めることが必要と考えます。移行期間中の謝金については、国および県の動向を確認しながら、検討していきます。	
30	市としての理念	種目、場所、時間を子どもが選択できるが、選んだ責任は選んだ側にあること（自己責任）であることを市からしっかり保護者に説明してほしい。	○			学校支援室 スポーツ事業推進課 文化振興課	2024/3/31		
31	市としての理念	地域移行について、全ての種目の保護者に保護者説明会を開いてほしい。	○			学校支援室 スポーツ事業推進課 文化振興課	2024/3/31	<2024/1> 学校からの要請に応じ、順次保護者説明会にて地域移行の説明を実施しています。	

地域移行検討協議会資料
7. 3. 14
スポーツ事業推進課

スポーツ団体の受け皿の整備に向けた取組みについて

1 令和6年度の取組みについて

(1) 中学校部活動地域移行プロジェクトチーム会議（R4～）

（一財）松本市スポーツ協会を通じて部活動のある加盟競技団体から推薦してもらった委員と、地域クラブの創設・運営における課題等について協議、検討するもの

回数	開催日	内容
1	6/6	松本市の地域移行の進め方、各競技団体の取組み状況、今後のスケジュールについて
2	9/19	令和6年度の支援策、各競技団体の取組み及び課題について
3	2/28	運動部活動における移行状況、地域クラブの創設及び運営状況、指導者の確保について
4	3/26	移行検討協議会の報告、運動部活動における移行状況、令和7年度の取組みについて(予定)

(2) 公認スポーツ指導者資格取得推進事業（R5～）

指導者の質・量の確保を目的に、公認スポーツ指導者資格取得に係る経費を補助するもの

・実績 5件 ※3月13日現在

（サッカー公認C級コーチ(2)、バドミントンコーチ1(1)、卓球スタートコーチ(2)）

(3) 松本市地域クラブ創設支援補助金（R6～）

地域クラブの創設に当たり必要となる経費に対して補助するもの

・実績 8件 ※3月13日現在

（バスケットボール(3)、バレーボール(2)、バドミントン(1)、軟式野球(1)、陸上(1)）

(4) プロスポーツ連携事業（R6～）

ア 派遣コーチング

地域クラブ等に対してプロスポーツチームの選手または監督、コーチを派遣し、生徒及び指導者がより専門的な指導を受けられる機会を創出するもの ※3月13日現在

チーム名	開催日（各チーム5回実施予定）	参加延べ人数
VC長野トライデント	8/5、11/4(AM・PM)、1/13(AM・PM)	187人
信濃グランセローズ	11/24(AM・PM)※2会場で実施、12/14	123人
信州ブレイブウォリアーズ	2/23(AM・PM)、3/1、3/29(AM・PM)	45人
松本山雅FC	3/8(AM・PM)、3/9(AM・PM)、3/15	54人

イ 指導者研修会

指導者の専門性及び資質・向上を目的に、プロスポーツチームのノウハウを活かした「①コンプライアンス等の研修」及び「②技術指導の研修」を開催するもの ※3月13日現在

チーム名	講師	開催日	①参加者数	②参加者数
信濃グランセローズ	柳沢裕一監督	3/2	17人	8人
VC長野トライデント	山本憲吾 Jr.女子監督	3/9	14人	12人
信州ブレイブウォリアーズ	渡辺智之アカデミー運営部長	3/16	-	-
松本山雅FC	鐵戸裕史育成部長	3/21	-	-

(5) 中学生が参加できるスポーツクラブの状況について

別紙のとおり

2 受け皿の整備における主な課題と課題に対する市の取組みについて

課題	市の取組み
指導者の確保	・人材バンクの設置及び周知 ・公認スポーツ指導者資格取得補助金
会場の確保	・学校体育施設開放事業のルール見直し
クラブ運営をする人材・ノウハウの不足	・相談窓口としてサポートデスクの設置 ・共通運営マニュアル(仮)を作成予定
運営資金の確保（指導者謝礼等）	・地域クラブ創設支援補助金
保護者の送迎負担	・市内に万遍なく地域クラブを創設



3 次年度に向けて

- (1) 保護者の送迎が課題の一つであることから、各競技団体へ市内に万遍なくまつチャレを創設してもらうように依頼
- (2) 今年度浮き彫りになった課題について、解決策及び支援策の検討
- (3) 地域クラブの創設及び運営支援として、引き続き上記取組みを継続しながら、各競技団体及び各チームへのサポートを実施

中学生が参加できるスポーツクラブの状況について

R7.3.13時点

種目	部活	男女内訳 (チーム数)		人数 (1～3年)	まつ チャレ	男女内訳 (チーム数)		クラブ所在地						その他 クラブ	男女内訳 (チーム数)		クラブ所在地						人材バンク登録者	
								北部	南部	東部	西部	中心部	山間部				北部	南部	東部	西部	中心部	山間部		
陸上	15	男女	15	323	2	男女	2	1	1					2	男女	2	2						0	3
ソフトテニス	19	男女	6	132	0	男女	0							1	男女	1				1			0	4
		男	5	128		男	0								男									
		女	8	197		女	0								女									
バレーボール	27	男	11	218	3	男	1		1					3	男	1				1			2	3
		女	16	305		女	2				1	1			女	2		1	1					
バスケットボール	32	男女	0	0	8	男女	2		1	1				8	男女	2		1		1			1	9
		男	16	399		男	1				1				男	3				1	2			
		女	16	240		女	5	1		2	2				女	3			1	2				
卓球	16	男女	12	291	4	男女	4	1		1	1	1		5	男女	5	1	1		2	1		1	0
		男	2	38		男	0								男									
		女	2	38		女	0								女									
軟式野球	14	男女	14	161	3	男女	3	1		1		1		1	男女	1		1					1	3
サッカー	13	男女	13	305	6	男女	6	1	1		3	1		0	男女								1	6
バドミントン	4	男女	4	53	5	男女	5	3		2				1	男女	1				1			0	1
剣道	5	男女	5	86	1	男女	1				1			10	男女	10	2	3	2	3			0	1
ラグビー	0	—	—	—	2	男	2				2			0	男								1	1
スポーツクライミング	0	—	—	—	1	男女	1				1			0	男女								0	0
ドッジボール	0	—	—	—	1	男女	1					1		0	男女								0	0
合計	145		145	2914	36		36	8	4	7	12	5	0	31		31	3	9	4	12	3	0	7	31

<参考> 北部：会田、女鳥羽、旭町、附属／南部：筑摩野、菅野、鉢盛／東部：山辺、清水、開成、明善／西部：松島、高綱、梓川、波田／中心部：丸ノ内、鎌田、信明／山間部：安曇、大野川、奈川

文化系部活動のクラブ移行の状況について

1 趣旨

中学部活動の地域移行に伴う文化系部活動の移行に向けた令和6年度の状況報告及び、令和7年度以降の方向性について報告するもの

2 意見交換及び検討経過

R 6. 6. 4 吹奏楽連盟役員との打ち合わせ

6. 28 R 6 年度第1回吹奏楽部顧問会議（通算3回目）

10～随時 クラブ化に向けた移行案の説明（各中学校の吹奏楽部保護者会）

10. 28 吹奏楽以外の文化部活動の状況整理（美術・合唱・演劇・科学等）

R 7. 2. 12 吹奏楽連盟役員との打ち合わせ

3 クラブ移行に向けた基本的な考え方に対する課題と方向性の整理（吹奏楽）

検討項目	基本的な移行の考え方	課 題	市の方向性
活動形態	まずは各校単位で、R 8年度からの休日クラブ化への切り替えを目指し準備を進めてもらう	部員減などで、単独校での活動が困難となった学校同士の合同バンド化に向けた調整の方法	・大会後などのタイミングを見て随時移行をサポート ・合同化の中間調整
運営主体	保護者会による立ち上げ	金銭管理(口座開設)、連絡体制、規約、指導者手配などの諸手続きが煩雑	・先行モデルのノウハウを提示しながらサポート
活動場所	学校施設を利用	入室のセキュリティ管理及び教室使用に関するルール化が必要	移行期中の経過措置も含め使用方針を教育委員会と検討
楽器の取扱い	学校所管の楽器を貸与	補修・修繕の費用負担など、使用に関するルール化が必要	移行期中の経過措置も含め使用方針を教育委員会と検討

4 文化系部活動の地域移行で、留意すべきこと

- (1) 「楽都・松本」にふさわしく、文化芸術に親しむ環境を崩さないための柔軟な対応
- (2) 指導を希望しない教員に対しては、兼職兼業が強いられる状況とならないこと
- (3) 多様な分野における新たな受け皿の確保と地域の指導者の掘り起こしを推進
- (4) 保護者(会)主体のクラブ化にあたっては、不安解消や負担軽減を念頭に推進を図る

5 令和7年度のスケジュール

- (1) 文化系部活動顧問の確認及び部員数の把握（4月～5月）
- (2) 吹奏楽顧問会議（5月）で松本市の移行推進状況を説明
- (3) 各校の保護者会の代表者を集め、クラブ化に向けた動向を伺う（6月）
- (4) まつチャレの加盟促進及び、クラブ化に向けた団体の相談・サポートを随時実施

中学生が参加できる文化クラブの状況について

R6. 6時点

種目	部活	人数 (1～3年)	まつチャレ (掲載数)	主な活動場所						その他 クラブ	主な活動場所						人材バンク登録者	
				北部	南部	東部	西部	中心部	山間部		北部	南部	東部	西部	中心部	山間部	市	県
吹奏楽	18	500	1 (0)				1			3				2	1		1	5
合唱	7	72	2 (1)	1			1			8	2	1	1	4			0	3
美術	13	483	0							0							0	1
演劇	3	51	0							0							0	1
科学（科学技術）	2	81	0							0							0	1
家庭科	1	11	0							0							1	2
太鼓	0	0	1 (0)		1					2	1	1					0	0
麻雀	0	0	1 (1)	1						0							0	0
オーケストラ	0	0	1 (1)			1				2				2			0	1
ハンドベル	0	0	0							1				1			0	0
書道	0	0	0							0							2	1
茶道	0	0	0							0							0	4
放送	0	0	0							0							0	1
将棋	0	0	0							0							0	1
合計	44	1198	6	2	1	1	2	0	0	16	3	2	1	9	1	0	4	21

<参考> 北部：会田、女鳥羽、旭町、附属／南部：筑摩野、菅野、鉢盛／東部：山辺、清水、開成、明善／西部：松島、高綱、梓川、波田／

中心部：丸ノ内、鎌田、信明／山間部：安曇、大野川、奈川

地域クラブ活動参加者支援補助金について

1 趣旨

令和6年4月から交付を開始した地域クラブ活動参加者支援補助金について、現状と課題を報告するものです。

2 申請者数等（令和7年3月11日時点）

地域クラブ活動参加者支援補助金申請者数
2人

<参考>

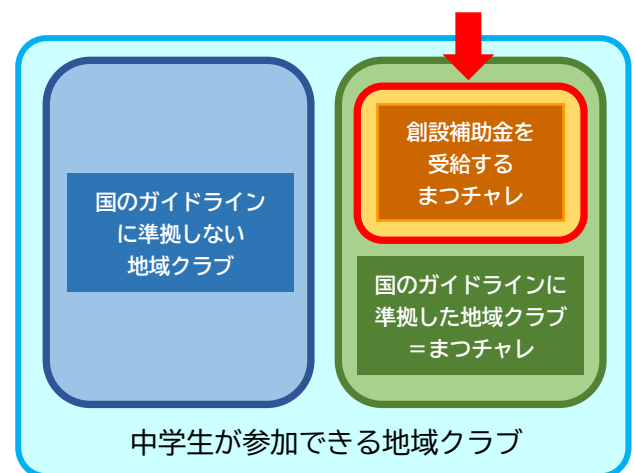
就学援助受給者数

1,961人

地域クラブ創設支援補助金受給団体

5団体

この団体に参加する生徒が対象



3 課題

(1) 周知不足

補助金の対象となる地域クラブについて、市のガイドラインに沿っていないクラブも対象と誤認されるケースがあり、正しい理解が十分に浸透していません。

(2) 補助対象の範囲

補助金の対象は、「まつチャレ」に登録し、かつ地域クラブ創設支援補助金を受給するクラブに限定されているため、対象となるクラブ数が少なく、補助を受けられる生徒が限られています。

4 今後の対応

- (1) 参加者支援補助金の制度について、よりわかりやすく丁寧に伝えるよう、周知方法を工夫します。
- (2) 補助金の趣旨を踏まえ、補助要件の見直しを検討します。令和7年度の制度設計に向けて、より多くの生徒が補助を受けられるよう、柔軟な対応を進めます。

地域移行検討協議会資料
7. 3. 14
学校教育課

松本市立学校体育施設開放事業の見直しについて

1 趣旨

部活動地域移行に伴い、地域クラブが利用できる環境整備の一環として、より多くの団体が幅広く活発に利用できる環境を整備するため、松本市立学校体育施設開放事業（以下「学校開放」という。）の見直しを行うものです。

2 体育施設開放事業の現状

学校教育上支障のない範囲で、学校体育施設を一般に貸し出すもの。

(1) 予約優先順位

①学校利用 ②地域利用（町会など） ③登録団体（※） ④一般利用

※松本市立学校体育施設の開放に関する規則で定める利用団体の登録制度

(2) 予約状況

多くの学校で既存の登録団体の予約後は、人気の時間帯に空きがほぼ無い状況。登録団体の予約に上限設定がなく、新規団体の参入が難しい。

(3) 開放施設

体育館、運動場、柔剣道場、テニスコート（梓川中学校のみ）など

(4) 料金区分

ア 施設使用時間：「午前5時～午前8時」、「午前8時～正午」、「正午～午後5時」、「午後5時～午後9時」の4区分

イ 照明使用時間：「2時間以内」「超過1時間当たり」

3 見直し内容

(1) 令和7年4月以降の利用から適用

ア 新たに登録団体の利用上限ルール（裏面のとおり）を設定します。

イ 希望するすべての地域クラブ（まつチャレ）が学校開放の登録団体となります。

(2) 令和7年12月以降の利用から適用（予定）

ア 梓川中学校以外の中学校のテニスコートを開放施設に追加し、学校と調整が整った施設は貸し出しを行います。

イ 学校施設の施設使用料・照明使用料の料金区分2時間～5時間を1時間単位に変更します。

(3) 令和8年3月末までに検討

登録団体を廃止し、すべての団体を一般団体化します。ただし、中学生以下が使用する場合は、利用料のみ半額減免とします。

登録団体の利用に関する上限ルールの新規設定について

【令和7年4月1日以降の利用分から適用】

登録団体の皆様へお願い

- ・これまでの各団体の利用枠を見直し、利用上限のルールに基づき新規の団体も含めゼロベースからの利用調整をお願いいたします。
- ・調整は、学校ごとに行う学校開放運営委員会（2か月に1回）で、その都度調整をお願いいたします。
- ・学校施設であることを考慮し複数団体で予約が重複する場合は、小中学生の利用にご配慮いただきますようお願いいたします。

利用上限ルール

- ◆1日の利用時間：平日2時間以内、休日3時間以内
- ◆1週間の予約日数：平日1日以内、休日1日以内
- ◆同日に複数施設を予約することはできない（体育館と運動場を同一日程等）
- ◆調整会議の結果、他団体の了承が得られる場合はこの限りではない

地域移行後の自転車利用について

1 趣旨

第3回地域移行検討協議会での「地域クラブへの送迎について」の報告において、委員から自転車利用の可能性について指摘があったため、学校の現状と、そこから見えてきた課題を報告するものです。

2 登下校における自転車利用の状況（令和6年5月現在）

(1) 自転車通学を認めている中学校

19校中10校

市内中学生(5, 628人)のうち、13% (722人)が自転車を利用

(2) 許可の条件

距離要件（自宅から学校またはバス停まで2～3km以上など）を設定

(3) 自転車置き場

学校には自転車置き場が設置され、生徒は指定された位置に駐輪

(4) その他のルール

ヘルメット着用義務、自転車保険加入、鍵の管理など

3 地域移行後の自転車利用の利点と課題

学校から直接地域クラブに向かう場合の利点と課題を以下に整理しました。

自転車利用	利 点	課 題
許可する	1 交通手段や送迎がないために、参加をあきらめる生徒が減る。 2 時間を有効活用できる。 3 保護者の送迎負担が減る。 4 家庭で利用の判断ができる。	1 自転車置き場の整備（利用台数の増加に対応） 2 自転車事故リスクの増加 3 学校が自転車通学を認める基準の再考 4 長距離移動による体力消耗のリスク 5 保険の適用範囲の確認

自転車利用	利 点	課 題
許可しない	1 細かいルール作りが不要で、安全管理がしやすい。 2 一度帰宅することで、学校と家庭の区切りができる。	1 クラブへの移動手段を各自で確保する必要がある（自転車、徒歩、バス、送迎など） 2 送迎が必要な場合、保護者の負担が増える（時間、費用、体力など）

4 今後の進め方

地域移行後の自転車利用については、自転車置き場の整備や事故リスクの増加などの課題があるため、校長会等で十分に協議を行い、保護者等の理解も得た上で、安全対策を含めた対応方針を検討していきます。

地域移行検討協議会資料
7. 3. 14
学校教育課

部活動の地域クラブ活動への移行に係る調査の結果について

1 趣旨

部活動の地域クラブ活動への移行を進める中、スポーツや文化活動を「やってみたい」と考えている子どもたちを応援する制度をさらに整備・推進していくため、児童生徒及びその保護者並びに教員を対象としたニーズ調査を実施しましたので、その結果等について報告するものです。

2 調査の概要

(1) 対象

- ア 小学5・6年生
- イ 小学5・6年生の保護者
- ウ 中学1・2年生
- エ 中学1・2年生の保護者
- オ 中学校教員

(2) 期間

令和6年9月9日（月）から10月20日（日）まで

(3) 方法

QRコード又はURLを通じて、調査回答フォームからオンラインで回答を求めた。

(4) 回答状況

所属	調査対象者（名）	分析対象者（名）	有効回答率（％）
小学5・6年生	3, 574	2, 280	63. 8
中学1・2年生	3, 467	1, 130	32. 6
小学5・6年生保護者	3, 574	1, 231	34. 4
中学1・2年生保護者	3, 467	1, 292	37. 3
中学校教員	531	331	62. 3

注）保護者へは、お子さん1名につき1回の回答を依頼した。

3 調査結果

別冊のとおり

4 主な結果

(1) 小学5・6年生

- ア 中学生になったら、スポーツや文化活動をやってみたいかという問いに対して、「平日」は74. 2％、「休日」は73. 8％の児童が「やりたい」と回答した。
- イ やってみたいスポーツや文化活動の上位5位は、「平日」はバドミントン、吹奏楽、サッカー、バスケットボール、バレーボール、「休日」はサッカー、バドミントン、吹奏楽、eスポーツ、バスケットボールであった。
- ウ 地域クラブ活動に望むこととして、「楽しむことを大切にしてほしい」、「いじめな

どがないようにしてほしい」、「自分なりのペースで進めていくことを尊重してほしい」と回答した割合が高かった。

(2) 中学1・2年生

ア 「休日」のスポーツや文化活動への参加について、「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した生徒の割合は56.6%だった。

イ 「休日」にやってみたいスポーツや文化活動の上位5位は、バスケットボール、サッカー、吹奏楽、バレーボール、ソフトテニスであった。

ウ 地域クラブ活動への加入に伴う心配として、「どのくらいの費用（月謝）が掛かるか」、「指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること」、「家から活動場所まで通うこと（徒歩、自転車、車での送迎）ができるか」、「新しい仲間と関係を築くことができるか」と回答した割合が高かった。

(3) 小学5・6年生保護者および中学生保護者

ア 地域クラブ活動への加入に伴う心配として、両保護者ともに、「家から活動場所まで送迎できるか」、「どのくらい費用（月謝）が掛かるか心配」、「指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること」を回答した割合が高かった。

イ 地域クラブ活動への移行に伴って月謝が必要となる場合の許容できる金額は、小学5・6年生保護者においては平均約5,210円（中央値5,000円）、中学生保護者においては平均約4,518円（中央値4,000円）であった。

(4) 中学校教員

ア 部活動の顧問をしている教員の割合は59.2%であり、このうち部活動指導を負担と感じている教員は77.4%であった。

イ 移行後の「休日」の地域クラブ活動の指導希望について、77.3%の教員が「希望しない」、「どちらかといえば希望しない」と回答した。また、大会審判員等の運営者として協力することの可否についても、71.0%が「協力できない」、「できれば協力したくない」と回答した。

ウ 令和8年度以降の「平日」指導について、81.6%の教員が「希望しない」、「どちらかといえば希望しない」と回答した。また、指導者資格についても、82.8%が「なし」との回答であった。

5 今後の予定

本調査結果を参考に、今後検討する支援策などの基礎資料として活用します。

令和 6 年度

部活動の地域クラブ活動への 移行に係る調査

結果の概要



「やってみたい！」プロジェクト

子どもの

を応援する ガクトまつもと

令和 7 (2025) 年 2 月

松本市教育委員会

1 調査目的

本調査は、部活動の地域クラブ活動への移行が進められる中、スポーツや文化活動を「やってみたい」と考えている子どもたちを応援する制度をさらに整備・推進していくため、子どもたちの願い、保護者及び教職員の思いが前回の調査(令和4年度実施)からのどの程度変化しているかを把握し、新しい地域クラブの設立・運営を含めた環境づくりに活かすことを目的として実施された。

2 調査時期

令和6年9～10月

3 調査対象者・分析対象者

所属	調査対象者 (名)	分析対象者 (名)	有効回答率 (%)
小学5・6年生	3,574	2,280	63.8
中学1・2年生	3,467	1,130	32.6
小学5・6年生保護者	3,574	1,231	34.4
中学1・2年生保護者	3,467	1,292	37.3
中学校教職員	531	331	62.3

4 調査方法

QRコード又はURLからリンクされた調査に、インターネット上で回答を求めた。

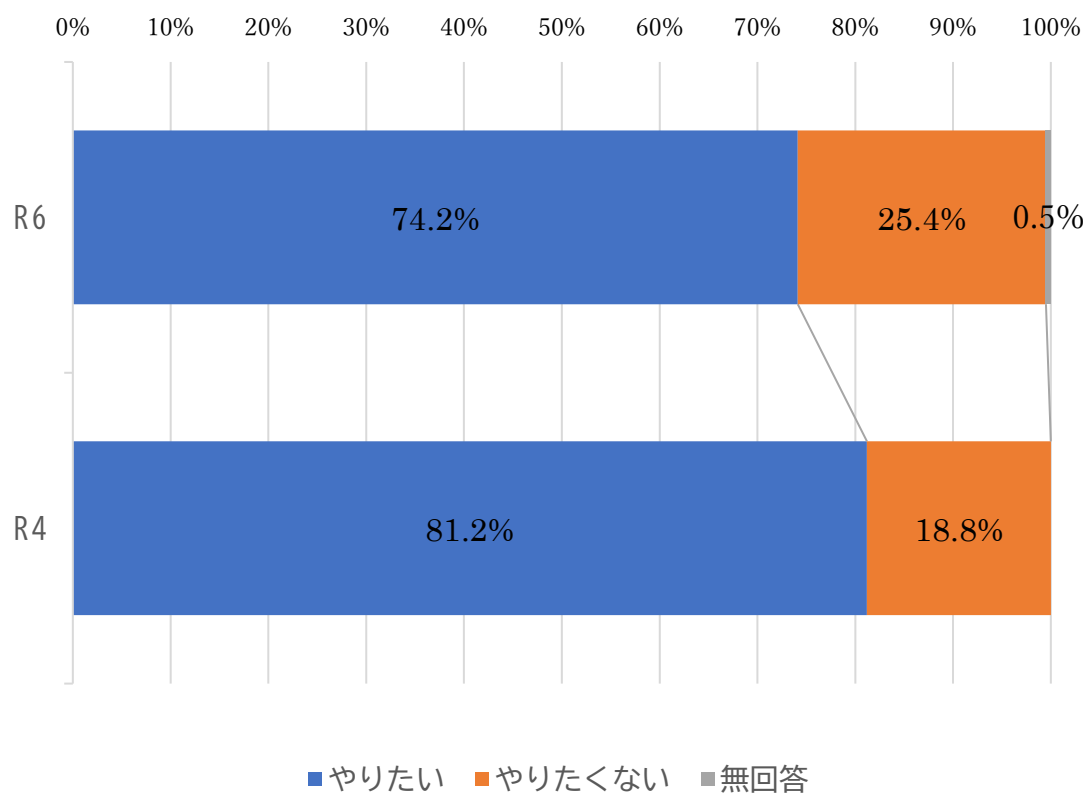
5 留意点

- 1) 調査結果は小数点第1位までの数値を記載した。そのため割合の合計は必ずしも100%とならない。
- 2) 調査項目は、見やすさの観点から簡略化して表記している箇所がある。

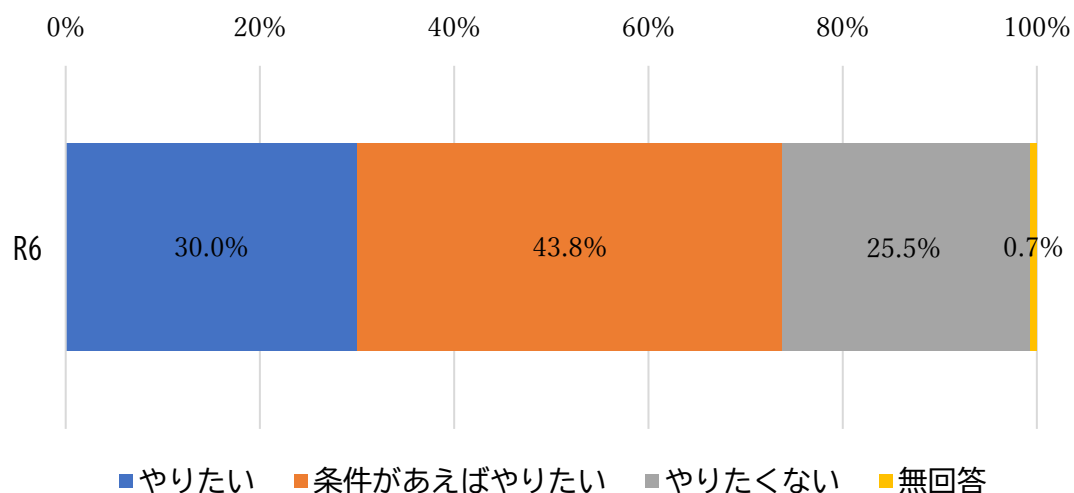
小学5・6年生

小学5・6年生

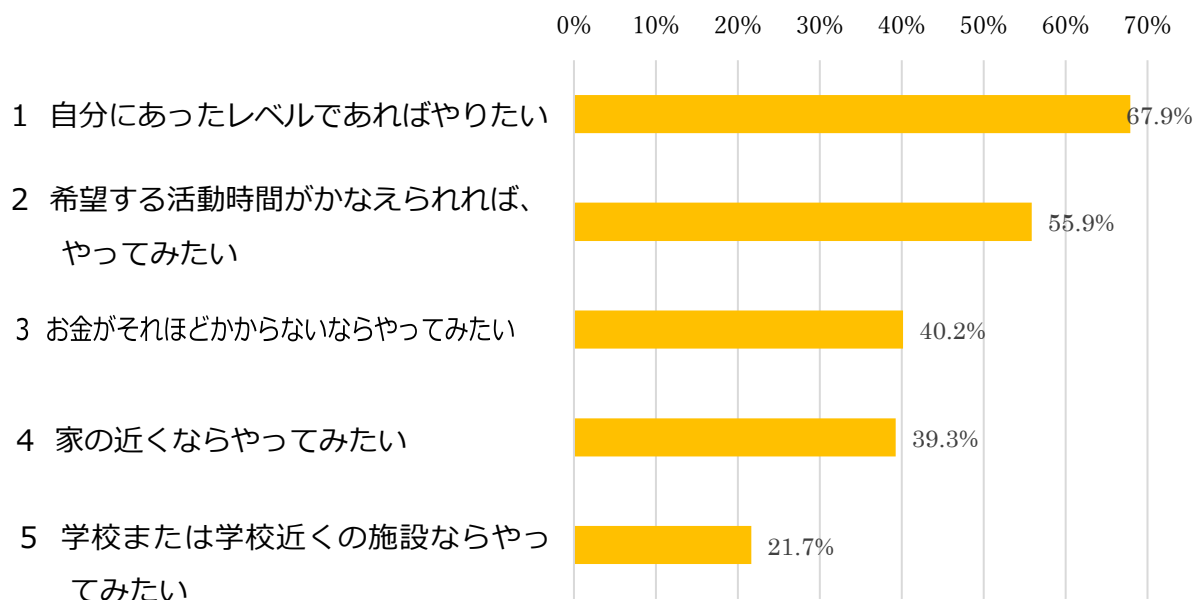
「平日」のスポーツや文化活動の実施希望



中学校の部活動が地域クラブ活動に移行した後の 「休日」のスポーツや文化活動の実施希望

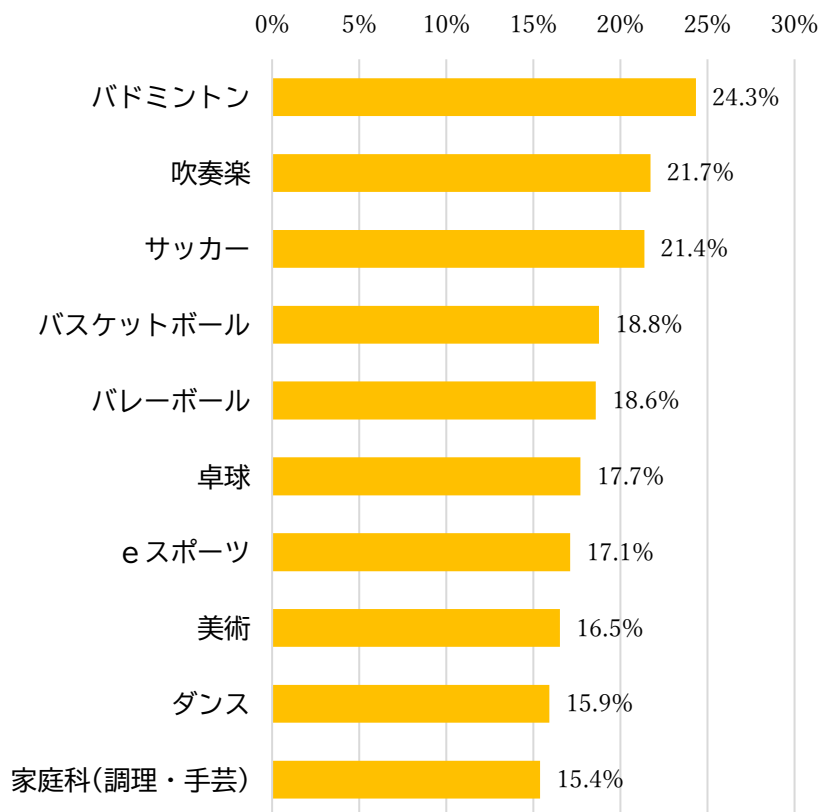


「条件があればやりたい」人に聞きました。
それはどんな条件ですか？

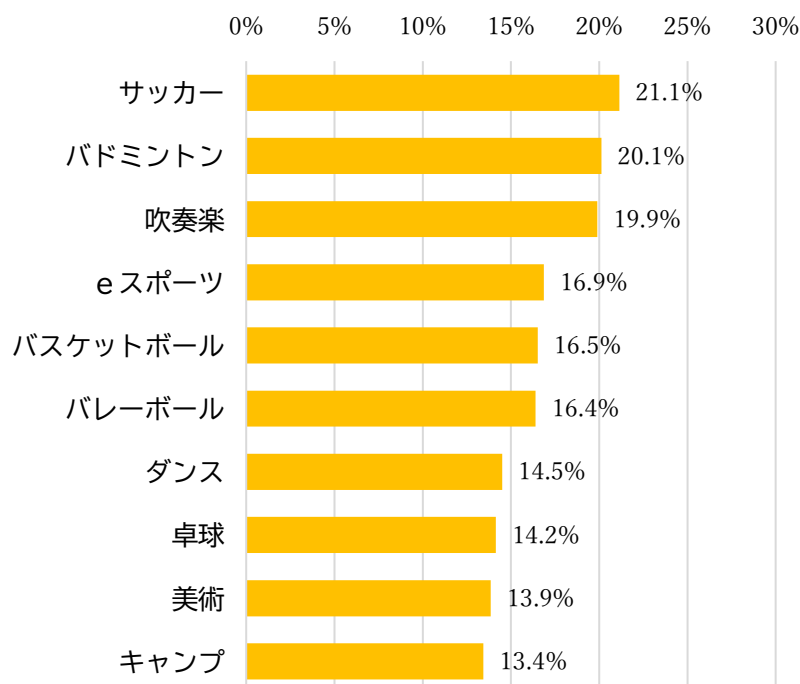


小学5・6年生

「平日」にやってみたいスポーツや文化活動 トップ10

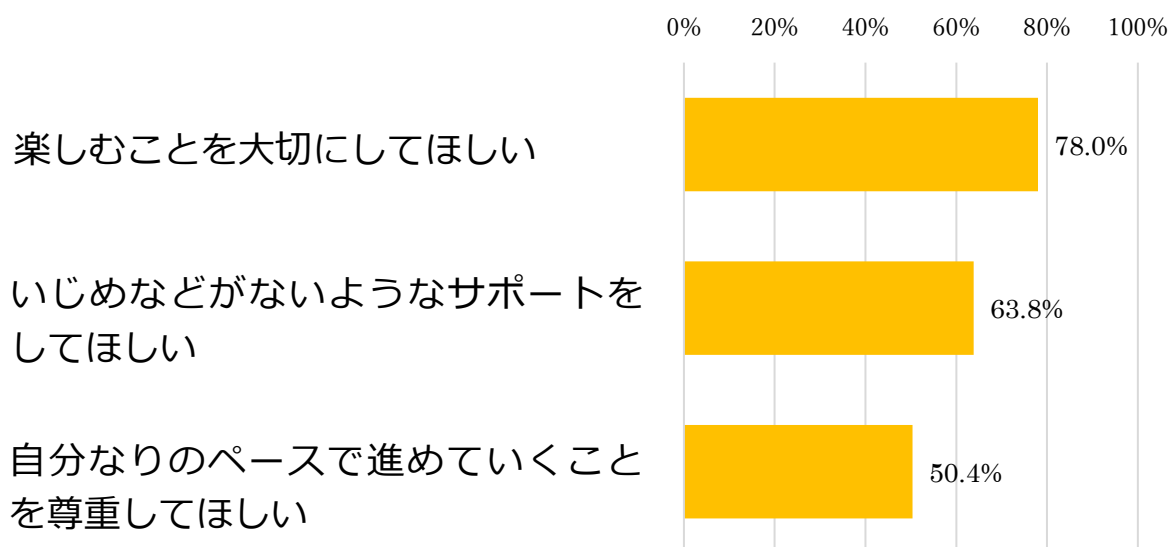


「休日」にやってみたいスポーツや文化活動 トップ10

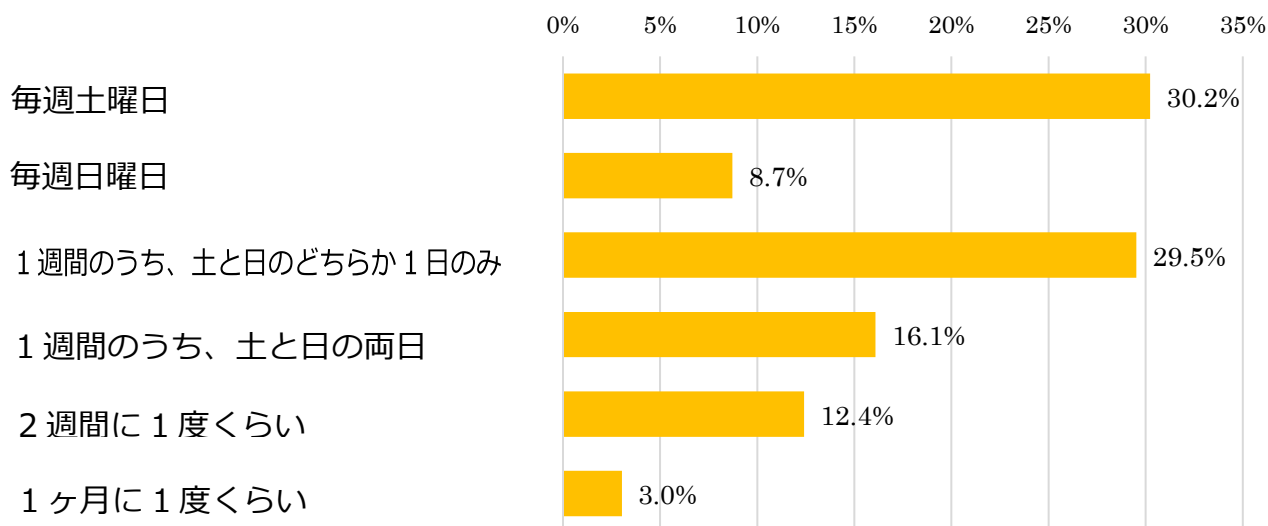


小学5・6年生

地域クラブ活動に望むこと トップ3



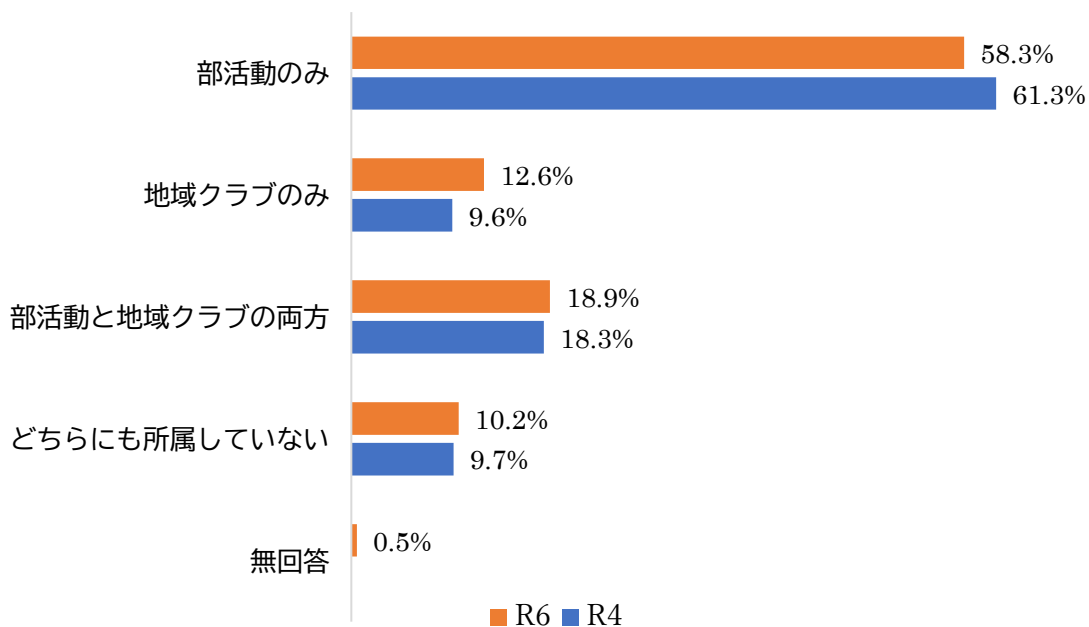
休日の地域クラブ活動の希望実施頻度



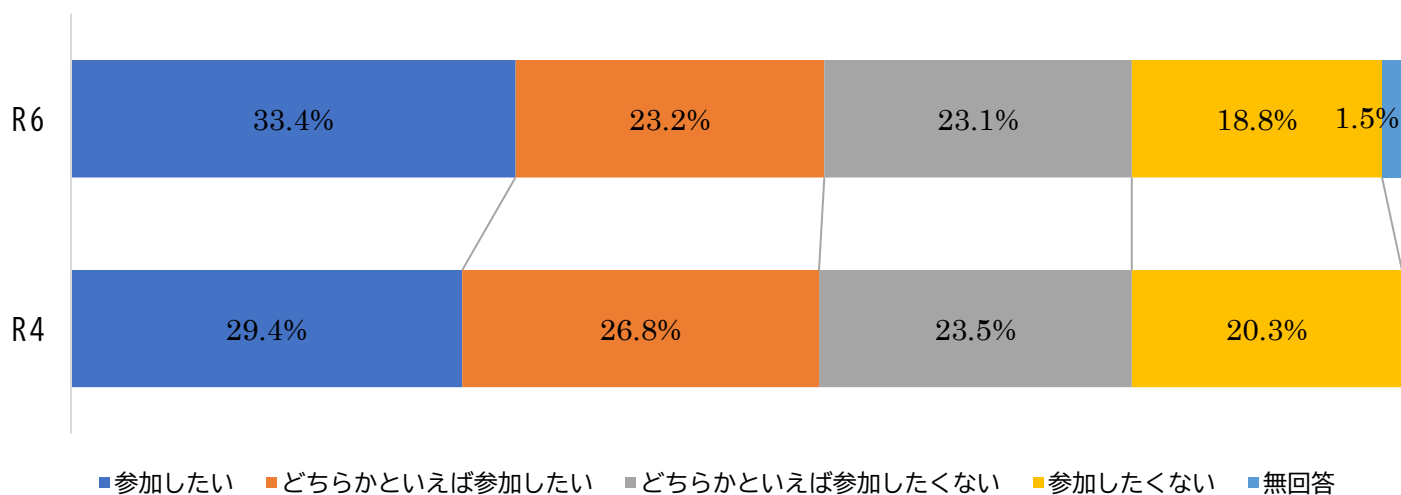
中学1・2年生

中学 1・2 年生

今の所属は部活動、地域クラブのどちら？

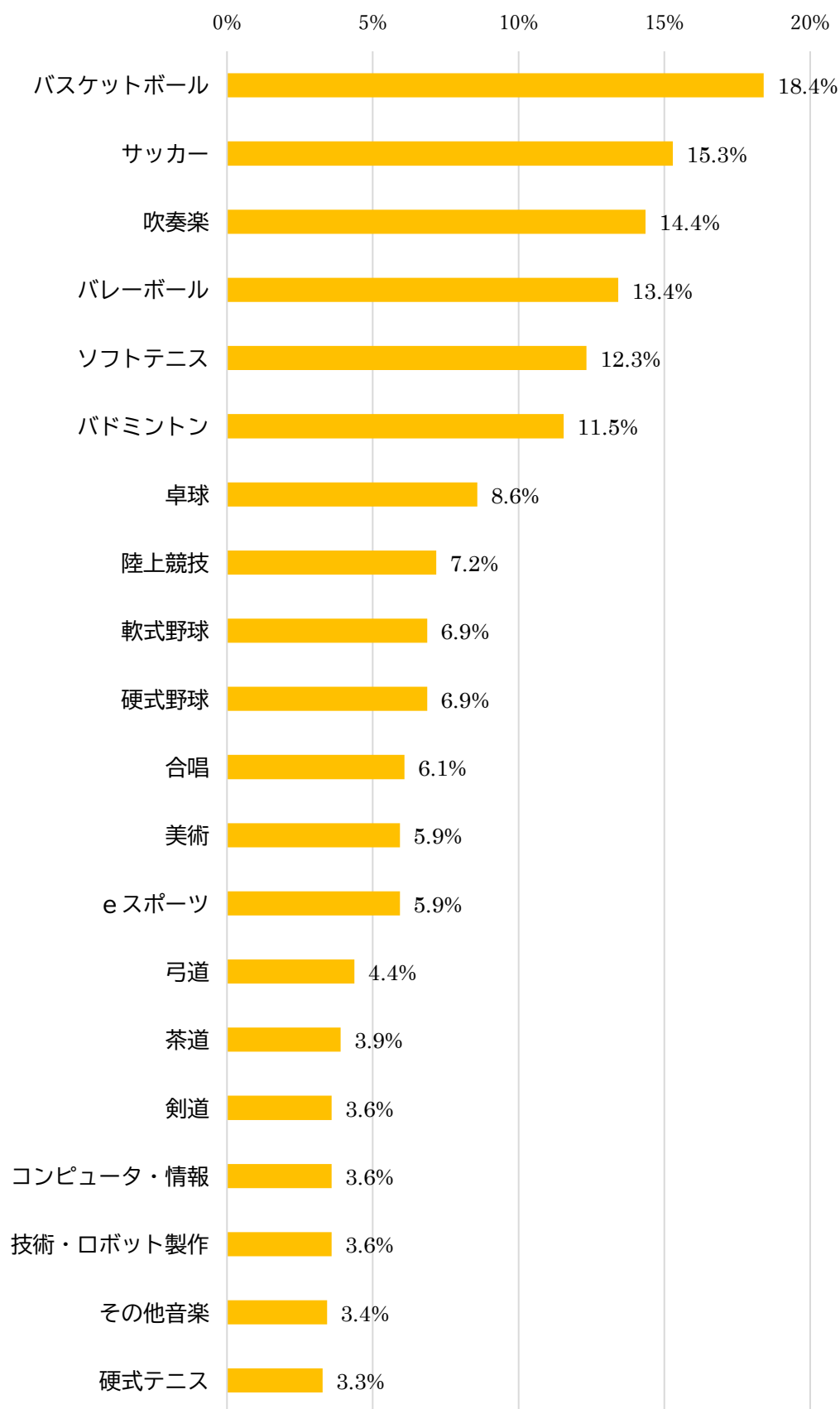


「休日」のスポーツや文化活動の実施希望



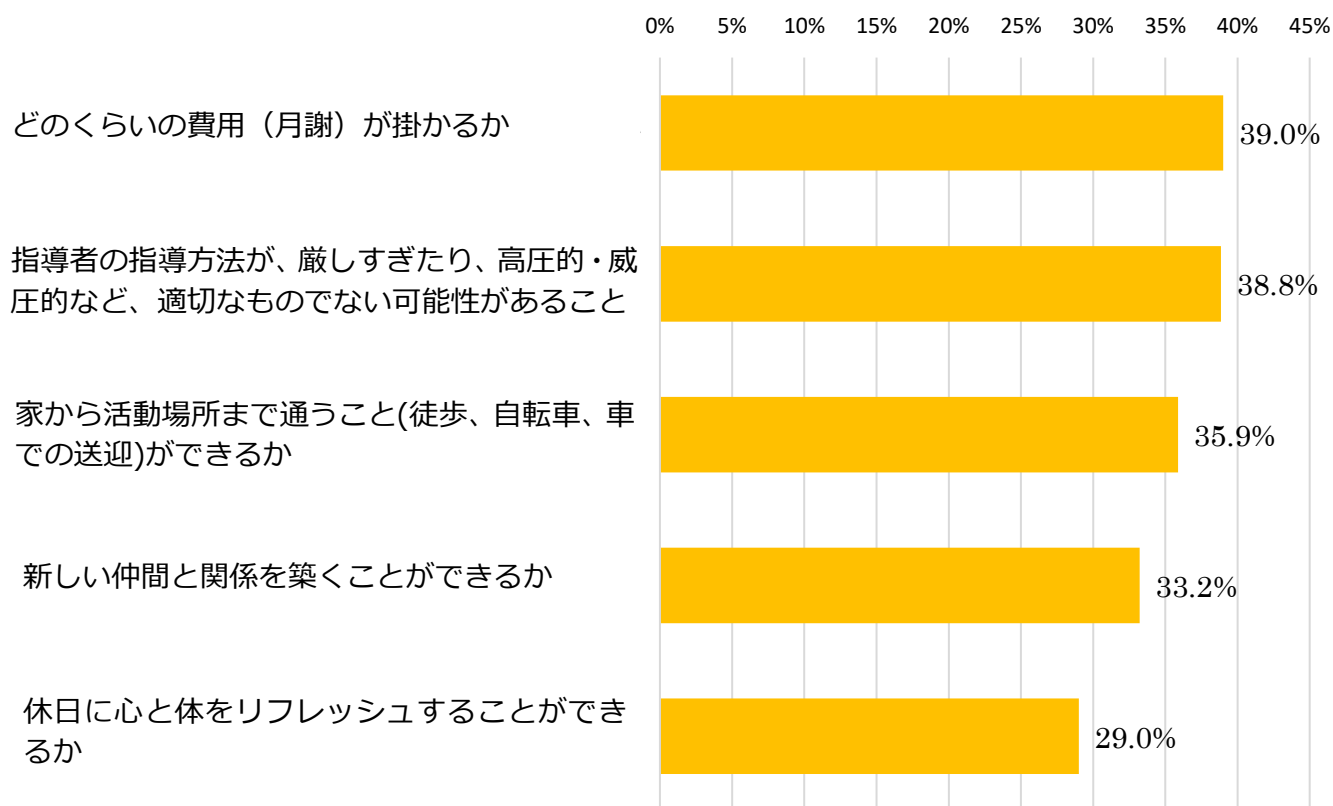
中学 1・2 年生

「休日」にやってみたいスポーツや文化活動 トップ 20



中学 1・2 年生

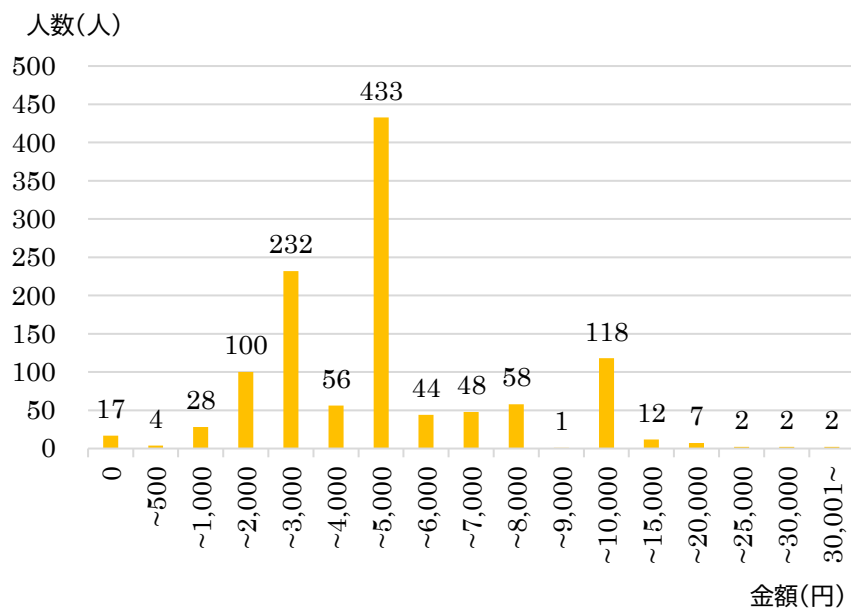
地域クラブ活動への加入に伴う心配 トップ5



小学5・6年生保護者
中学1・2年生保護者

小学5・6年生保護者

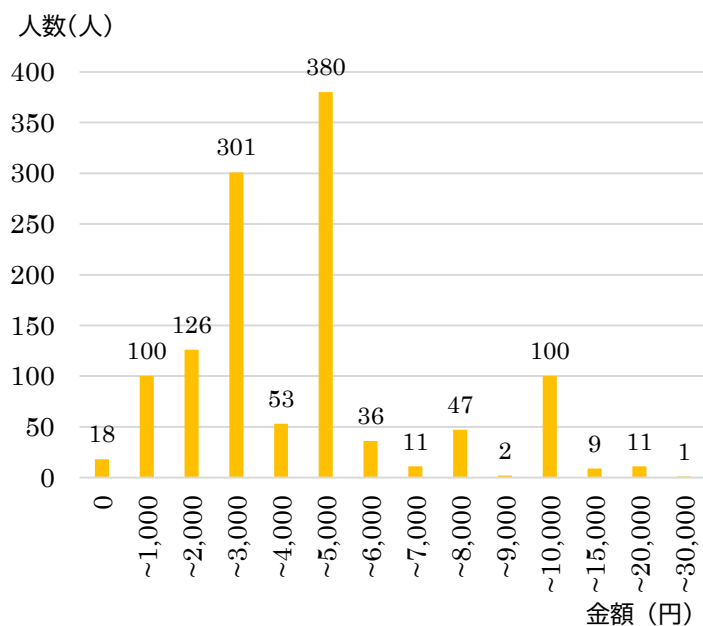
地域クラブ活動への月謝の許容度合



調査年度	平均値(円)	中央値(円)
R 6	5,210	5,000
R 4	4,715	5,000

中学1・2年生保護者

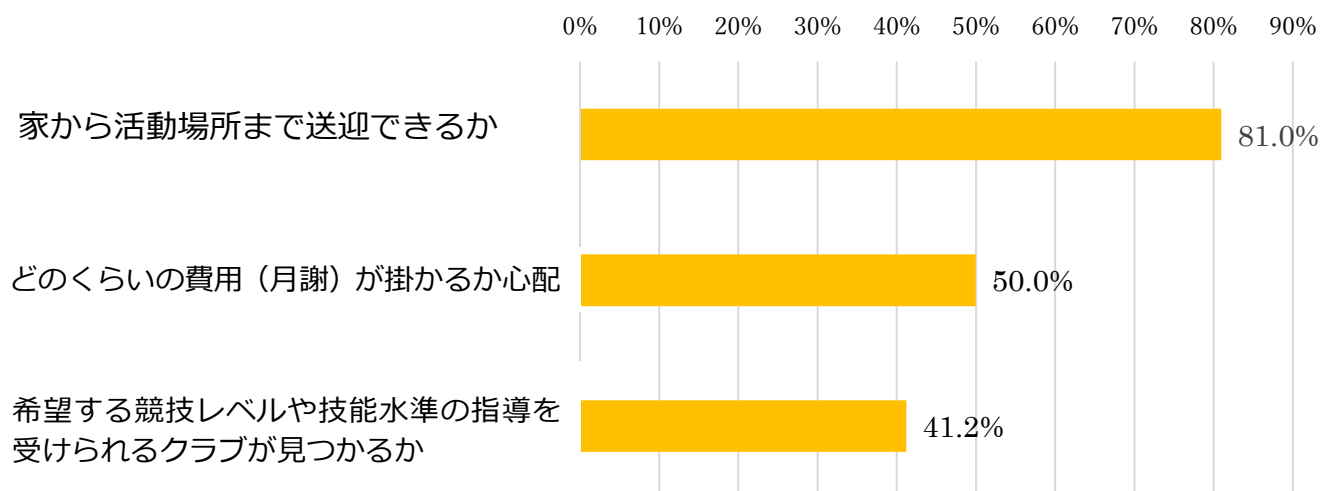
地域クラブ活動への月謝の許容度合



調査年度	平均値(円)	中央値(円)
R 6	4,518	4,000
R 4	3,606	3,000

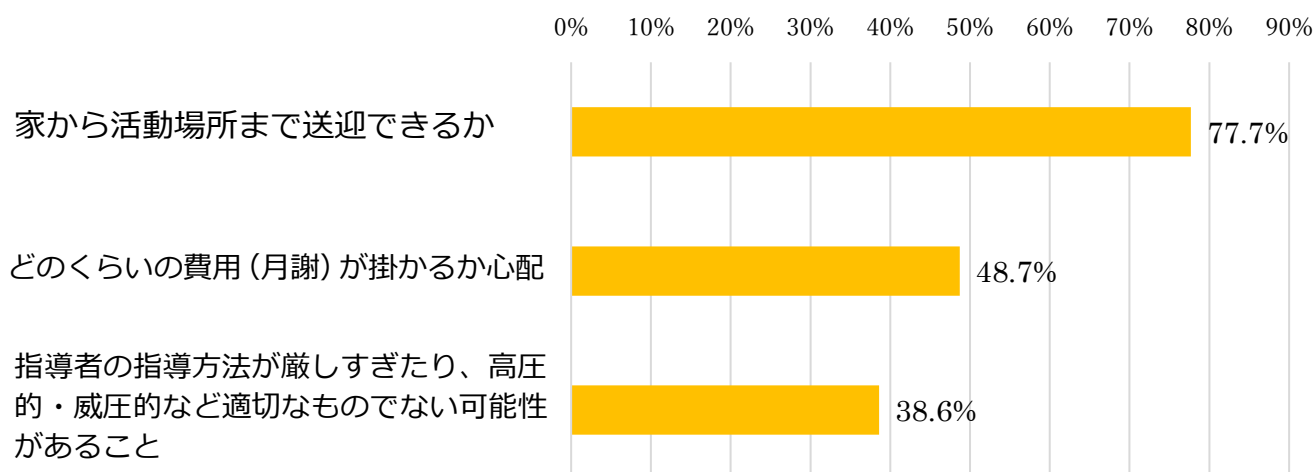
小学5・6年生保護者

地域クラブ活動への加入に伴う心配 トップ3



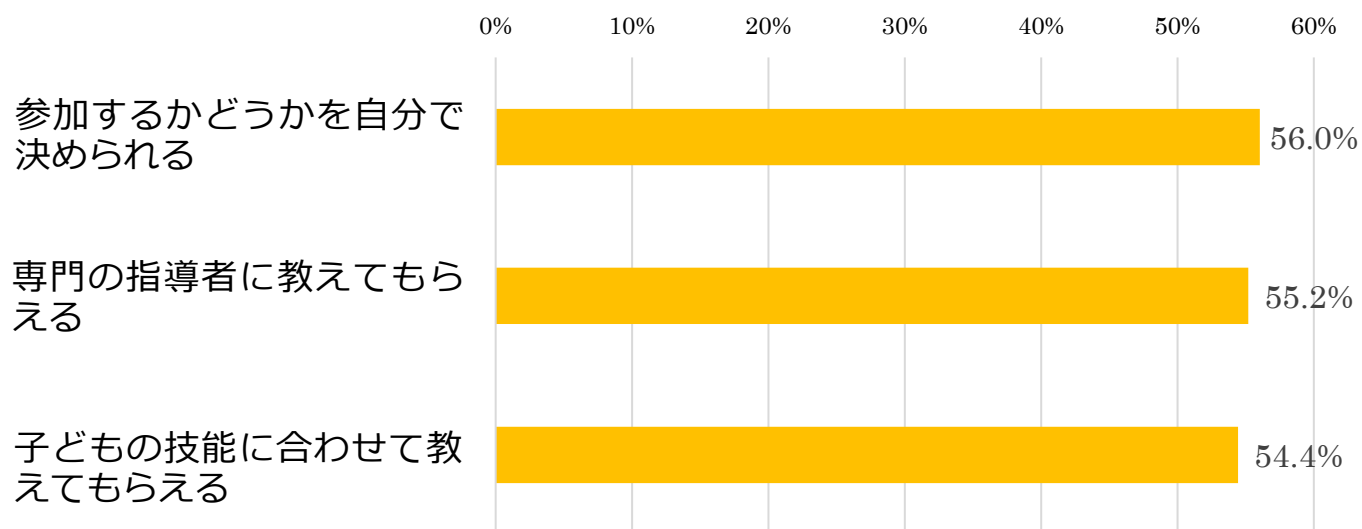
中学1・2年生保護者

地域クラブ活動への加入に伴う心配 トップ3



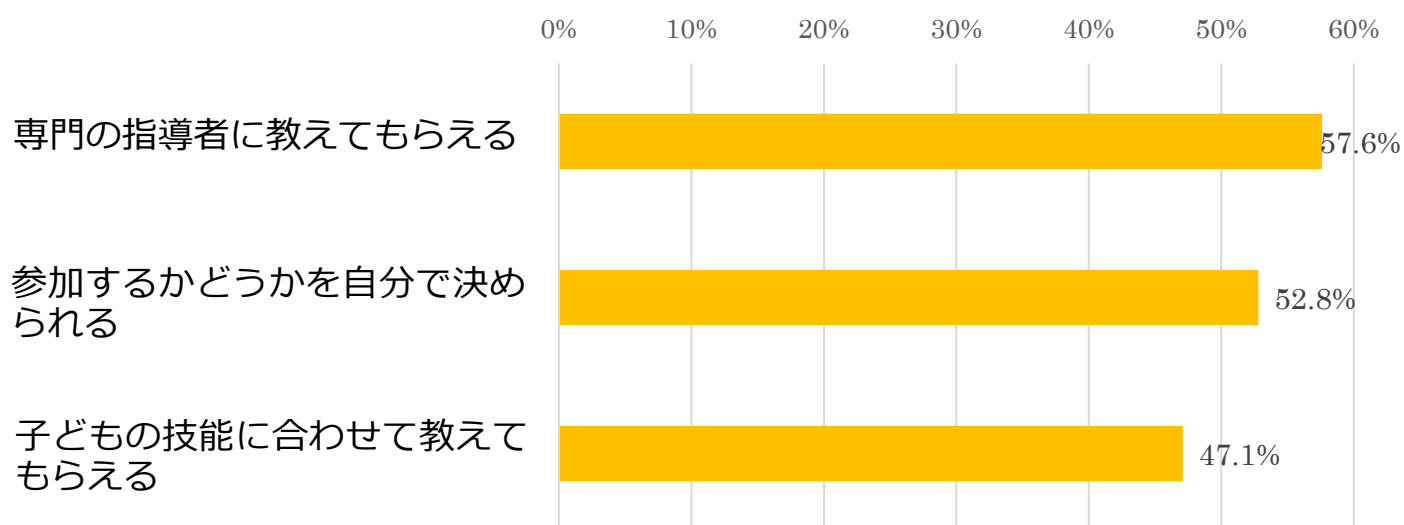
小学5・6年生保護者

休日の地域クラブ活動に望むこと トップ3



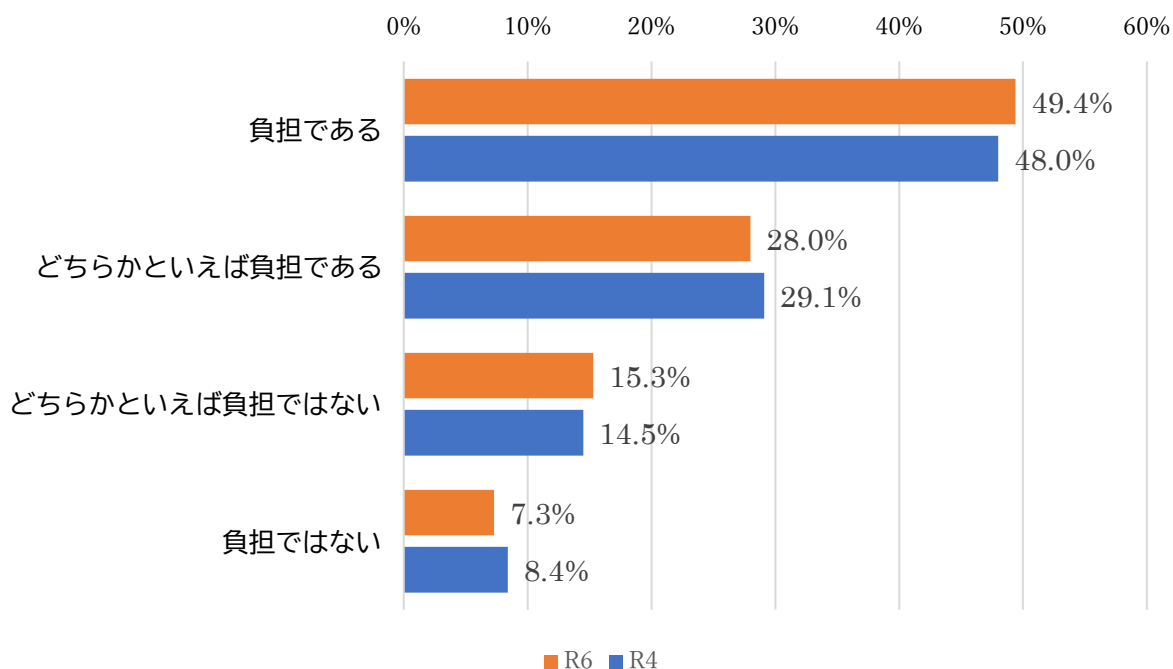
中学1・2年生保護者

休日の地域クラブ活動に望むこと トップ3

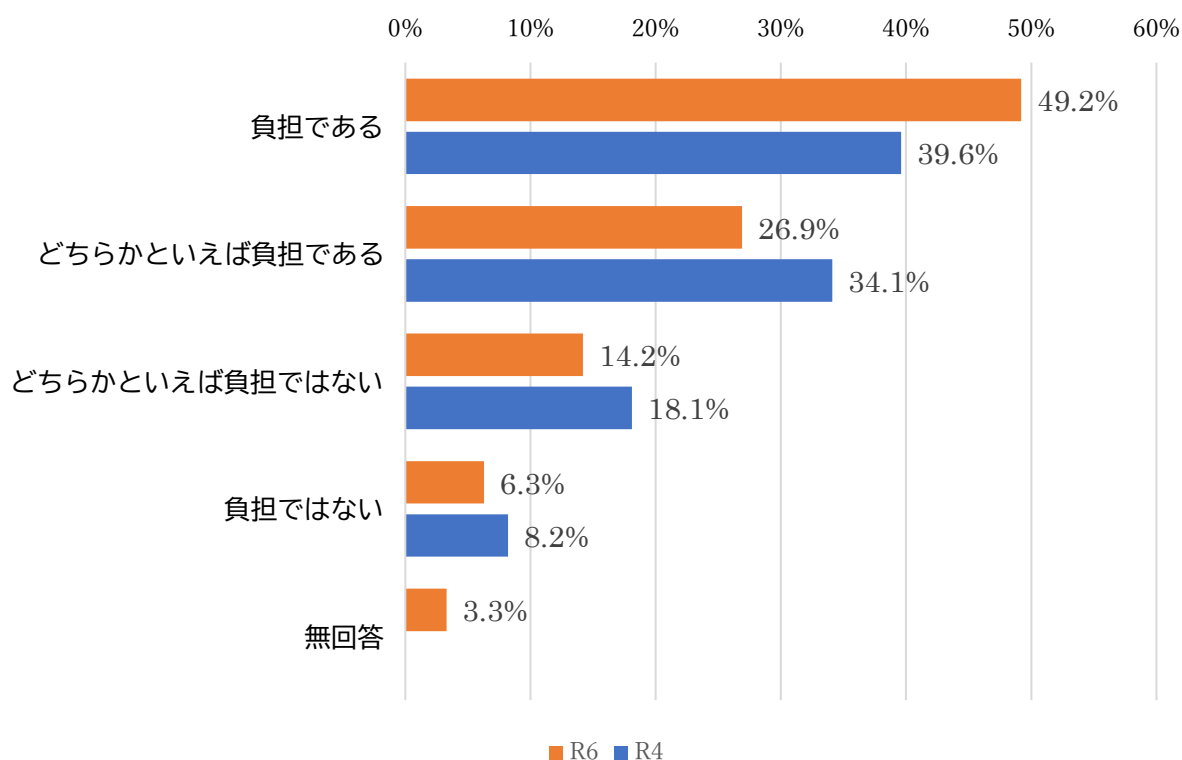


中学校教職員

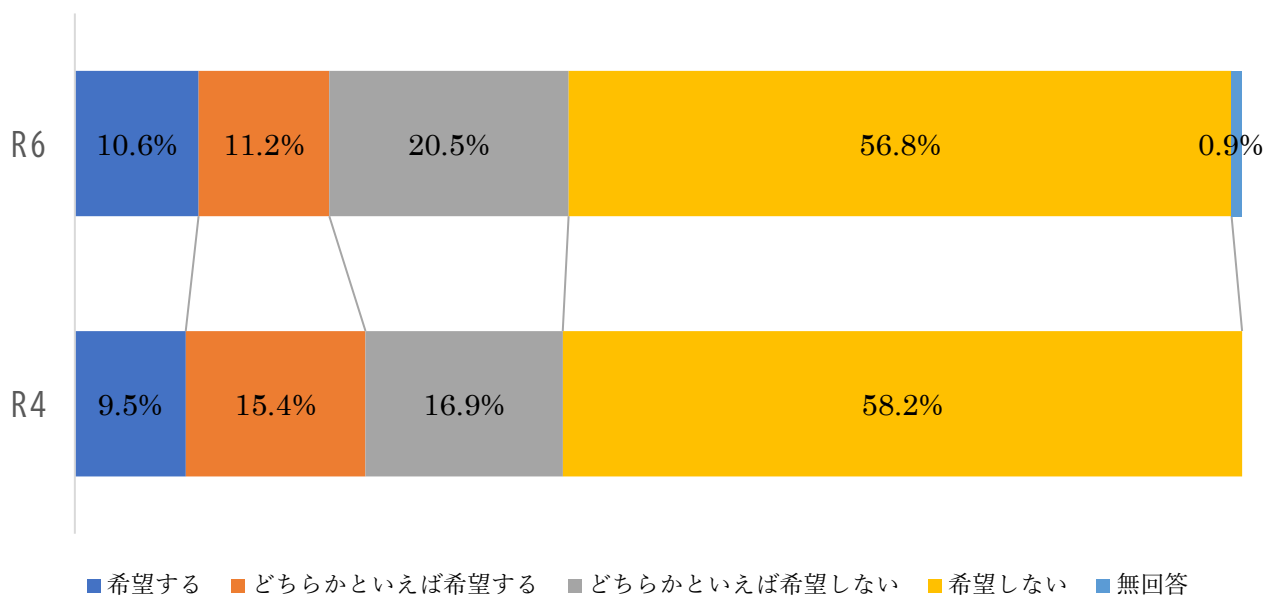
休日の部活動指導への負担感



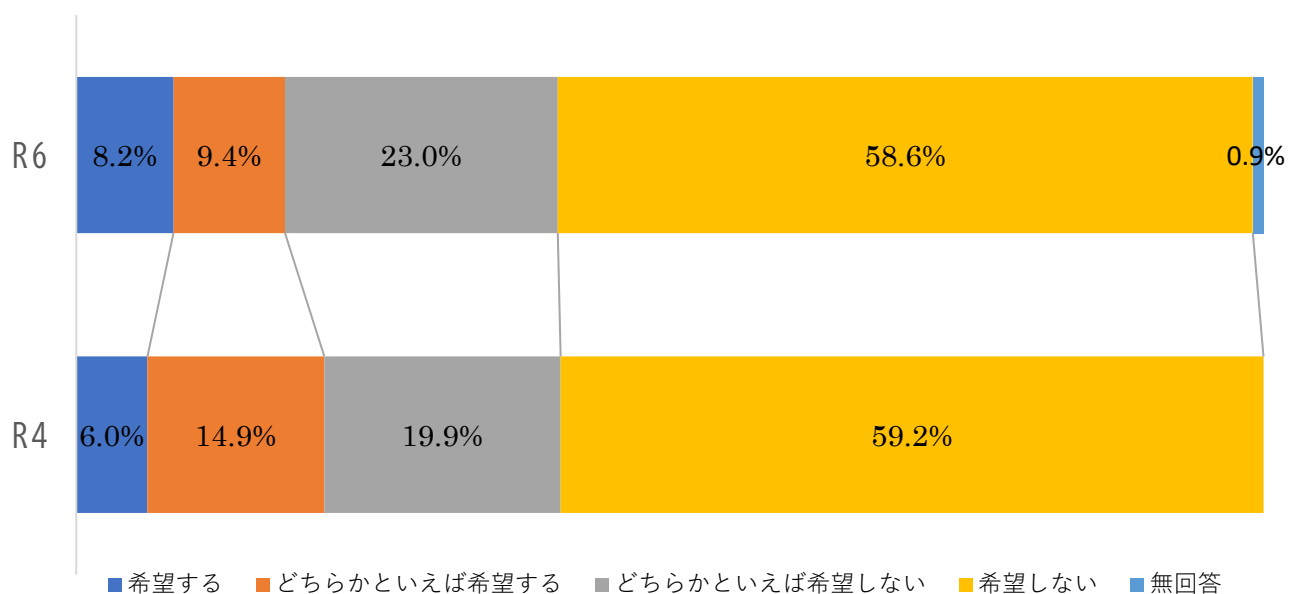
平日の部活動指導への負担感



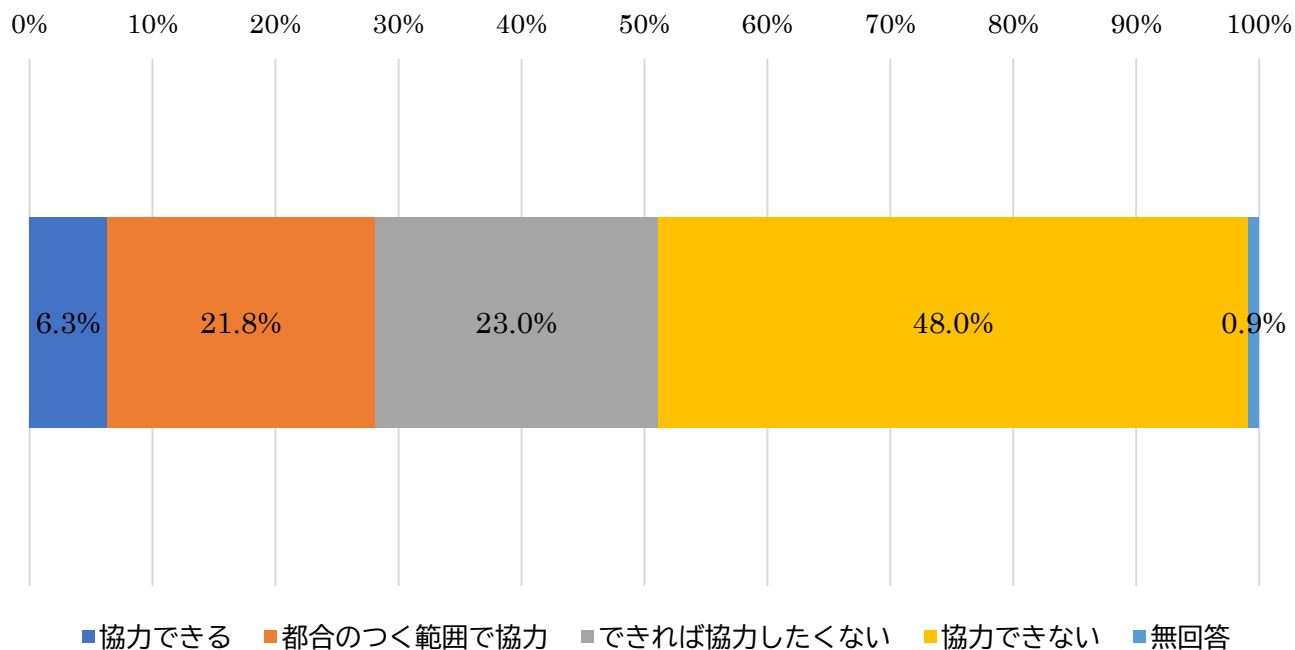
休日の地域クラブ活動の指導希望



平日の地域クラブ活動の指導希望



休日の大会の審判等の運営に協力できますか



令和 6 年度

部活動の地域クラブ活動への 移行に係る調査

結果の詳細



「やってみたい！」プロジェクト

子どもの

を応援する ガクトまつもと

令和 7 (2025) 年 2 月

松本市教育委員会

目 次

目的	1
方法	1
結果と考察	
小学 5・6 年生を対象とした調査の結果	2
1 運動・スポーツ、文化の活動に対する思いと平日のスポーツ・文化活動への加入希望	3
2 平日に「やってみたい」種目や活動	4
3 休日のスポーツや文化活動の実施希望	8
4 休日に「やってみたい」種目や活動	9
5 「やってみたい」と思う種目・活動を選んだ理由	12
6 地域クラブ活動に望むこと	13
7 休日の地域クラブ活動の希望実施頻度と時間	14
中学 1・2 年生を対象とした調査の結果	16
1 運動やスポーツ、文化の活動に対する思い	17
2 部活動および地域クラブ活動への所属率	18
3 所属する部活動や地域クラブ活動の種目や活動	19
4 休日の地域クラブ活動への参加希望や活動に望むこと	21
5 地域クラブ活動への加入に伴う心配	24
小学 5・6 年生保護者を対象とした調査の結果	25
1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担	26
2 地域クラブのスポーツ・文化活動に望むこと	29
3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額	30
4 地域クラブ活動への加入に伴う心配	31
中学 1・2 年生保護者を対象とした調査の結果	32
1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担	33
2 地域クラブのスポーツ・文化活動に望むこと	35
3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額	37
4 地域クラブ活動への加入に伴う心配	38
中学校教職員を対象とした調査の結果	39
1 部活動顧問の割合、休日部活動の負担感	40
2 休日の地域クラブ活動の指導希望	41
3 平日部活動の負担感、平日の地域クラブ活動の指導希望、指導者資格有無	43
4 指導者研修の希望	45

目 的

部活動の地域クラブ活動への移行が進められる中、スポーツや文化活動を「やってみたい」と考えている子どもたちを応援する制度をさらに整備・推進していく。そのため、子どもたちの願い、保護者及び教職員の思いが前回の調査(令和4年度実施)からのどの程度変化しているかを把握し、新しい地域クラブの設立・運営を含めた環境づくりに活かすことを目的とした。

方 法

調査時期

本調査は、令和6(2024)年9月9日から10月20日までの期間で実施された。

調査対象者および分析対象者

調査対象者は、松本市立の小学校5・6年生とその保護者、松本市立の中学校1・2年生とその保護者、及び松本市立の中学校教職員であった。中学校教職員は、校長、教頭、教諭、講師、養護教諭、その他教職員を調査対象とした。調査対象者及び調査対象者のうち記入漏れや記入ミスのあったものを除く分析対象者の数を表1に示した。

表1 調査対象者および分析対象者

所属	調査対象者(人)	分析対象者(人)	有効回答率(%)
小学5・6年生	3,574	2,280	63.8
中学1・2年生	3,467	1,130	32.6
小学5・6年生保護者	3,574	1,231	34.4
中学1・2年生保護者	3,467	1,292	37.3
中学校教職員	531	331	62.3

注) 保護者へは、お子さん1名につき1回の回答を依頼した。

手続き

QRコード又はURLからリンクされた調査に、インターネット上で回答を求めた。

留意事項

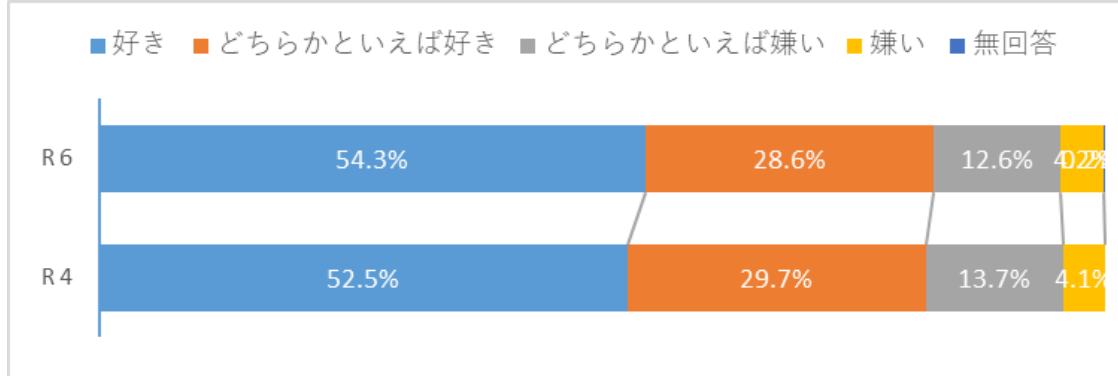
- (1) 各対象者の結果の図表には、小数点第1位までの数値を記載した。そのため割合の合計は、必ずしも100%とならない。
- (2) 図においては質問項目を省略して表記している箇所がある。
- (3) 比率(%)は分析対象者に対する割合。前回調査との比較はポイント(p)で表している。

小学5・6年生を対象とした調査の結果

1 運動・スポーツ、文化の活動に対する思いと平日のスポーツ・文化活動への希望

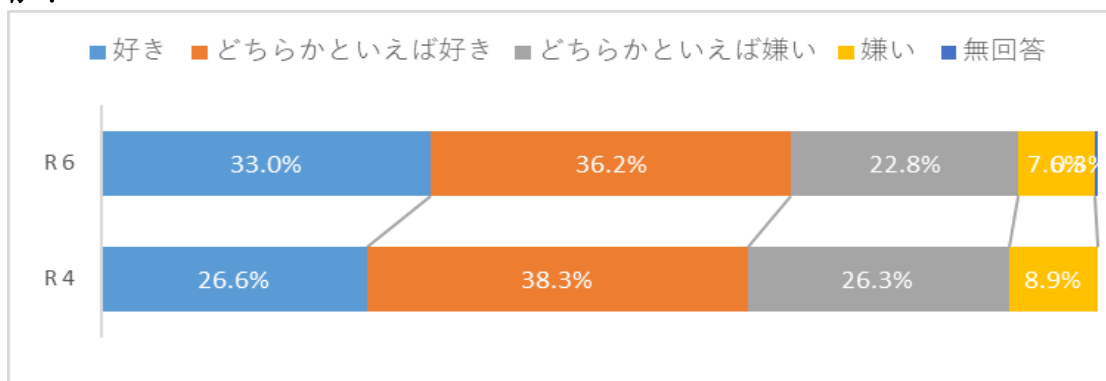
主な結果	
✓	運動やスポーツが「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者は全体の 82.9%、文化活動に対して同様に回答した者は 69.2%であり、ともに前回調査(R4)より高まっている(+0.7p、+4.3p)。
✓	小学 5・6 年生の 74.2%は、「平日」にスポーツや文化活動を「やってみたい」と回答した。前回調査より 7.0p 減少。
✓	小学 5・6 年生の 25.4%は、「平日」にスポーツや文化活動を「やりたくない」と回答した。前回調査より 6.6p 増加している。中学校に入学すると部活動への参加がなくなってくると放課後をどう過ごすか、まだ具体的な生活スタイルがイメージできないでいると考えられる。

問1 あなたは、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは、好きですか？



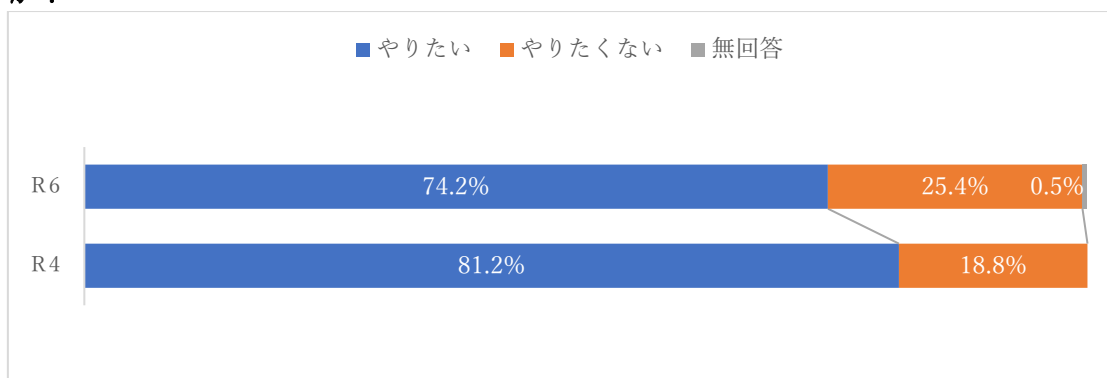
項 目	n	R6	R4
好き	1,239	54.3%	52.5%
どちらかといえば好き	652	28.6%	29.7%
どちらかといえば嫌い	288	12.6%	13.7%
嫌い	96	4.2%	4.1%
無回答	5	0.2%	
合計	3,010	100%	100%

問2 あなたは、文化活動（楽器演奏、合唱、演劇、美術等）をすることは、好きですか？



項 目	n	R6	R4
好き	753	33.0%	26.6%
どちらかといえば好き	826	36.2%	38.3%
どちらかといえば嫌い	520	22.8%	26.3%
嫌い	174	7.6%	8.9%
無回答	7	0.3%	
合計	3,016	100%	100%

問3 中学生になったら、あなたは「平日」にスポーツや文化活動をやりたいですか？



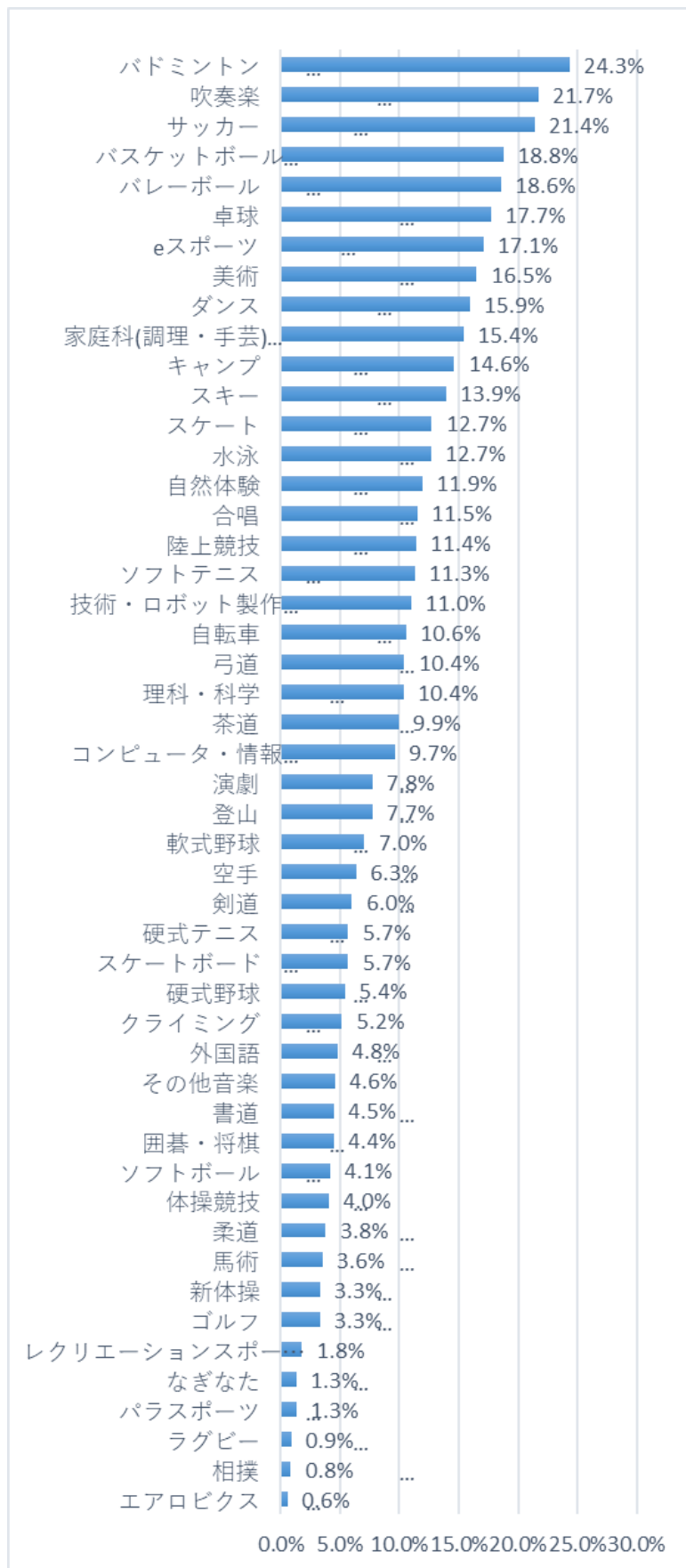
注) 問3で「やりたくない」と回答した人は問6へ

項 目	n	R6	R4
やりたい	1,691	74.2%	81.2%
やりたくない	578	25.4%	18.8%
無回答	11	0.5%	
合計	2,280	100%	100%

2 平日に「やってみたい」種目や活動

主な結果	
✓	「平日」に「やってみたい」と思う種目や活動は、バドミントン、吹奏楽、サッカー、バスケットボールなどが上位として多岐にわたっていた。
✓	「やってみたい」スポーツの種目については、前回とほとんど変化はない。
✓	文化活動では吹奏楽 21.7%、合唱 11.5%の割合が前回より上昇(+8.1p、+4.5p)。美術 16.5%、家庭科 15.4%を希望する割合が、前回(18.8%,17.0%)より減っている(-2.3p、-1.6p)が、依然として人気のある活動である。
✓	平日活動の希望回数は、週3回(25.0%)、週2回(20.6%)の順が多かった。

問4 「平日」に「やってみたい」と思う種目・活動を選んでください。いくつでも構いません

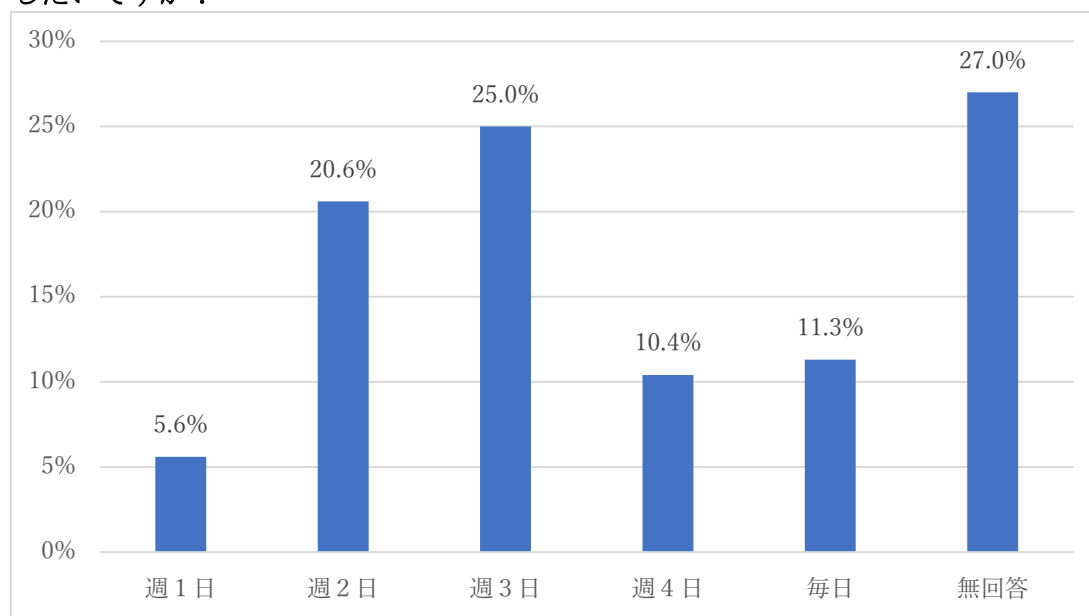


	種目・活動	n	%
1	バドミントン	411	24.3%
2	吹奏楽	367	21.7%
3	サッカー	361	21.4%
4	バスケットボール	317	18.8%
5	バレーボール	314	18.6%
6	卓球	299	17.7%
7	e スポーツ	289	17.1%
8	美術	279	16.5%
9	ダンス	269	15.9%
10	家庭科(調理・手芸)	260	15.4%
11	キャンプ	247	14.6%
12	スキー	235	13.9%
13	スケート	215	12.7%
14	水泳	214	12.7%
15	自然体験	201	11.9%
16	合唱	194	11.5%
17	陸上競技	193	11.4%
18	ソフトテニス	191	11.3%
19	技術・ロボット製作	185	11.0%
20	自転車	179	10.6%
21	弓道	176	10.4%
22	理科・科学	175	10.4%
23	茶道	168	9.9%
24	コンピュータ・情報	163	9.7%
25	演劇	131	7.8%
26	登山	130	7.7%
27	軟式野球	119	7.0%
28	空手	107	6.3%
29	剣道	101	6.0%
30	硬式テニス	96	5.7%
31	スケートボード	96	5.7%
32	硬式野球	91	5.4%
33	クライミング	87	5.2%
34	外国語	81	4.8%
35	その他音楽	77	4.6%
36	書道	76	4.5%
37	囲碁・将棋	75	4.4%
38	ソフトボール	70	4.1%
39	体操競技	68	4.0%
40	柔道	64	3.8%
41	馬術	60	3.6%
42	新体操	56	3.3%
43	ゴルフ	56	3.3%
44	レクリエーションスポーツ	30	1.8%
45	なぎなた	22	1.3%
46	パラスポーツ	22	1.3%
47	ラグビー	15	0.9%
48	相撲	14	0.8%
49	エアロビクス	10	0.6%

注 1) 問 4 の分析対象者は 1,689 名であった。

注 2) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

問5 平日に「やってみたい」と思うクラブの活動は、どれくらいの回数であれば参加したいですか？

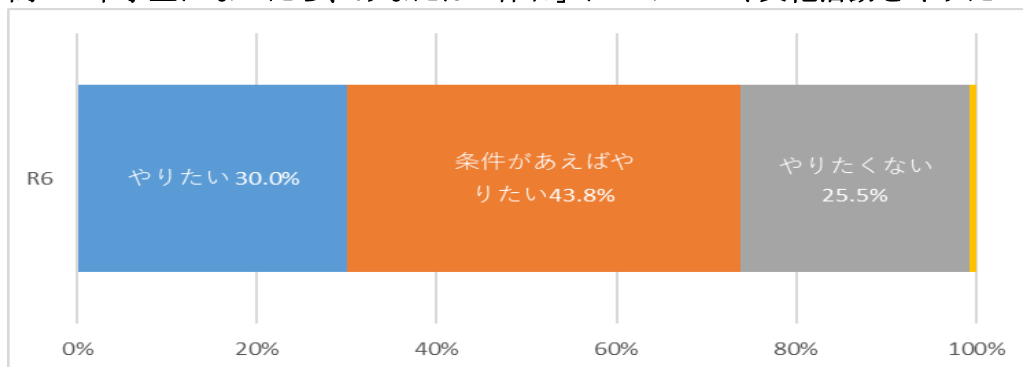


項 目	n	%
週1日	128	5.6%
週2日	470	20.6%
週3日	571	25.0%
週4日	238	10.4%
毎日	257	11.3%
無回答	616	27.0%
合計	2,280	100%

3 休日のスポーツや文化活動の実施希望

主な結果	
✓	小学5・6年生の30.0%は、「休日」にスポーツや文化活動を「やりたい」と回答し、43.8%は「条件があればやりたい」と回答した。この結果、両者を含めると「平日」の「やりたい」(74.2%)と同程度の割合であった。(問3の結果より)
✓	条件付きではあるが「平日」にもスポーツや文化活動を「やりたい」児童が74.8%いるのに対し、平日・休日問わずに「やらない」と考えている児童(25.5%)がいる。
✓	どんな条件であればスポーツや文化活動をやりたいかの質問に対し、「自分にあったレベルであればやりたい」(67.9%)、「希望する活動時間がかなえられれば、やってみたい」(55.9%)の回答が半数を超えていた。

問6 中学生になったら、あなたは「休日」にスポーツや文化活動をやりたいですか？



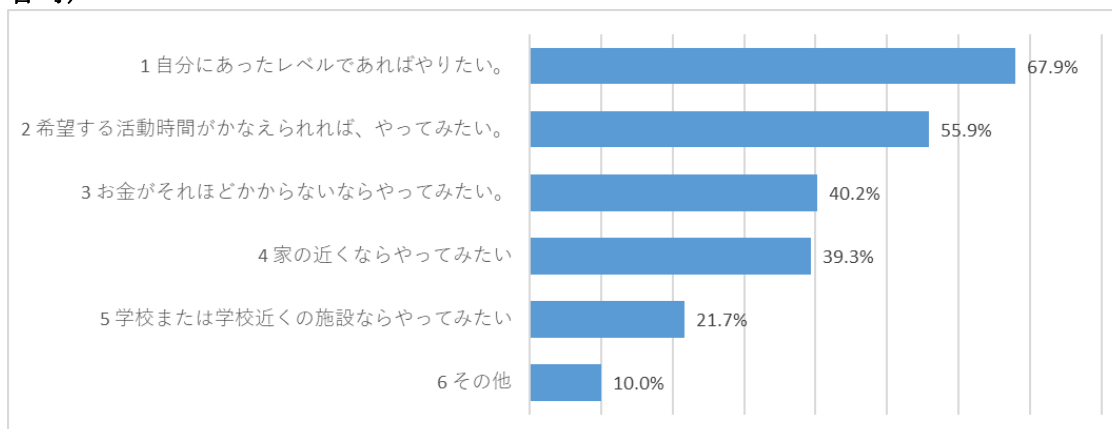
項 目	n	%
やりたい	683	30.0%
条件があればやりたい	998	43.8%
やりたくない	582	25.5%
無回答	17	0.7%
合計	3,013	100%

注1) 問6で「やりたくない」と回答した方のアンケートは終了となる。

注2) 問6で「やりたい」と回答した方は問8に進む。

注3) 問6で「条件があれば、やりたい」と回答した方は問7に進む。

問7 どんな条件であれば「休日」にスポーツや文化活動をやりたいですか？(複数回答可)



項 目	n	%
1 自分にあったレベルであればやりたい。	671	67.9%
2 希望する活動時間がかなえられれば、やってみたい。	552	55.9%
3 お金がそれほどかからないならやってみたい。	397	40.2%
4 家の近くならやってみたい	388	39.3%
5 学校または学校近くの施設ならやってみたい	214	21.7%
6 その他	99	10.0%

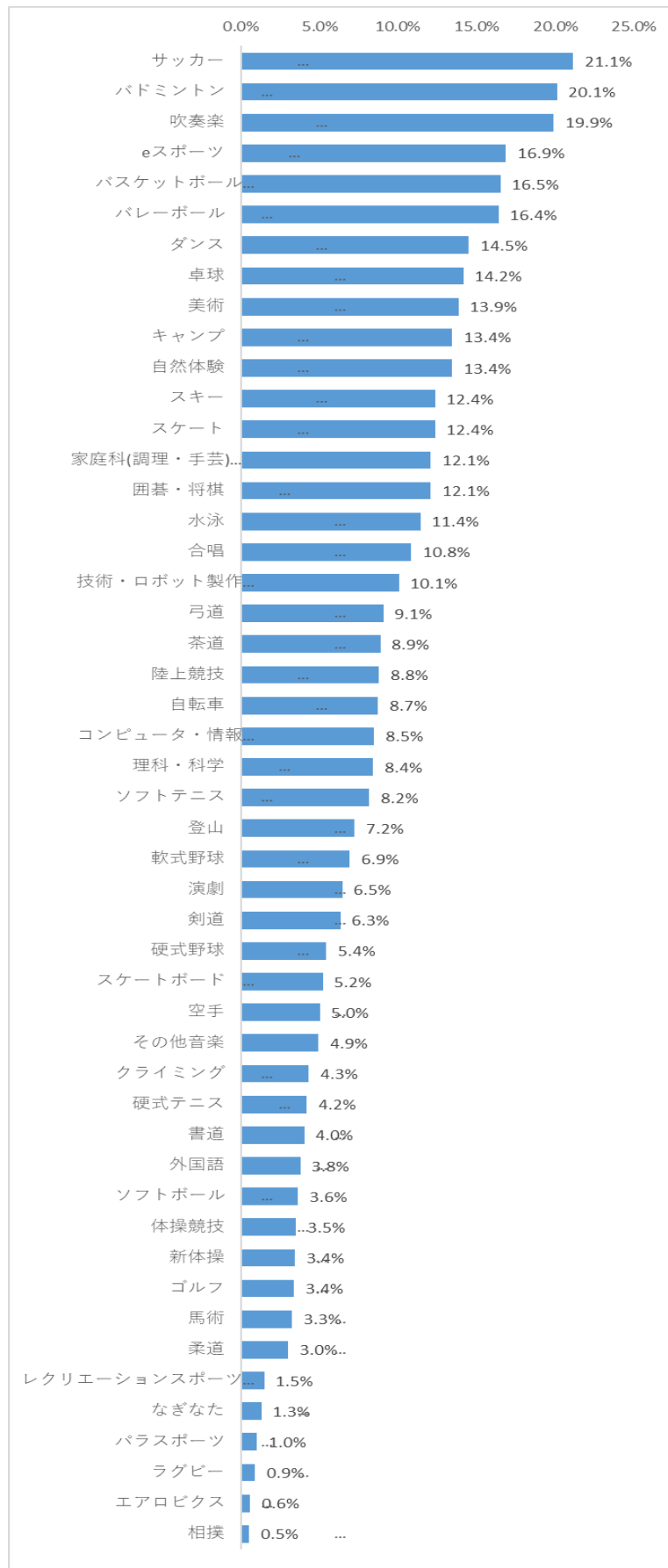
4 休日に「やってみたい」種目や活動

主な結果
✓ 「休日」に「やってみたい」と思う種目や活動は、サッカー、バドミントン、バスケットボール、バレーボールなどが上位にある。 ✓ 今回調査では、「登山」(スポーツ系)と「e スポーツ」(文化活動系)を新しく選択項目に増やした。ダンス、e スポーツ、キャンプ等、現在の部活動にないものにも関心があることが分かった。専門的な知識がある指導者が見つかりや活動できる環境が整えられる地域クラブが立ち上げられるか、外部団体との連携が課題となる。

問8 今、「休日」に「やりたい(やってみたい)」と思う種目・活動を選んでください。いくつでも構いません。

注1) 問7の分析対象者1689名であった。

注2) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

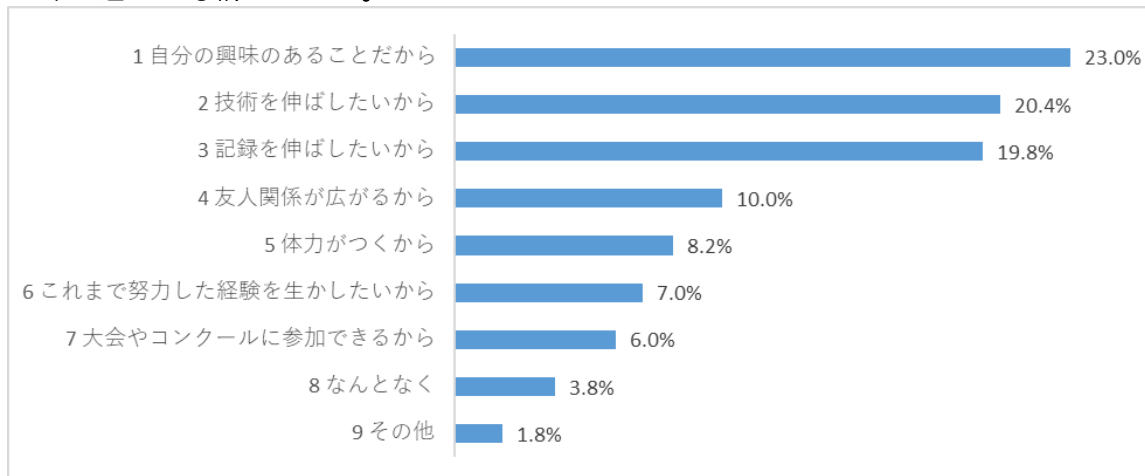


	種目・活動	n	%
1	サッカー	357	21.1%
2	バドミントン	340	20.1%
3	吹奏楽	336	19.9%
4	e スポーツ	285	16.9%
5	バスケットボール	279	16.5%
6	バレーボール	277	16.4%
7	ダンス	245	14.5%
8	卓球	239	14.2%
9	美術	234	13.9%
10	キャンプ	227	13.4%
11	自然体験	227	13.4%
12	スキー	209	12.4%
13	スケート	209	12.4%
14	家庭科(調理・手芸)	204	12.1%
15	囲碁・将棋	204	12.1%
16	水泳	193	11.4%
17	合唱	183	10.8%
18	技術・ロボット製作	170	10.1%
19	弓道	153	9.1%
20	茶道	150	8.9%
21	陸上競技	148	8.8%
22	自転車	147	8.7%
23	コンピュータ・情報	143	8.5%
24	理科・科学	142	8.4%
25	ソフトテニス	138	8.2%
26	登山	122	7.2%
27	軟式野球	117	6.9%
28	演劇	109	6.5%
29	剣道	107	6.3%
30	硬式野球	92	5.4%
31	スケートボード	88	5.2%
32	空手	85	5.0%
33	その他音楽（合唱や吹奏楽以外）	83	4.9%
34	クライミング	73	4.3%
35	硬式テニス	71	4.2%
36	書道	68	4.0%
37	外国語	64	3.8%
38	ソフトボール	61	3.6%
39	体操競技	59	3.5%
40	新体操	58	3.4%
41	ゴルフ	57	3.4%
42	馬術	55	3.3%
43	柔道	51	3.0%
44	レクリエーションスポーツ	25	1.5%
45	なぎなた	22	1.3%
46	パラスポーツ	17	1.0%
47	ラグビー	15	0.9%
48	エアロビクス	10	0.6%
49	相撲	9	0.5%

5 「やってみたい」と思う種目・活動を選んだ理由

主な結果	
✓	「やってみたい」と思う種目や活動を選んだ理由としては、「自分の興味のあることだから(23.0%)」「技術を伸ばしたいから(20.4%)」ことを挙げていた。
✓	一方で、「大会やコンクールに参加することができるから(6.0%)」を理由として挙げる者の割合は、他の項目よりも低かった。

問9 休日に「やってみたい」と思う種目・活動を選んだ理由について教えてください。
いくつ選んでも構いません。

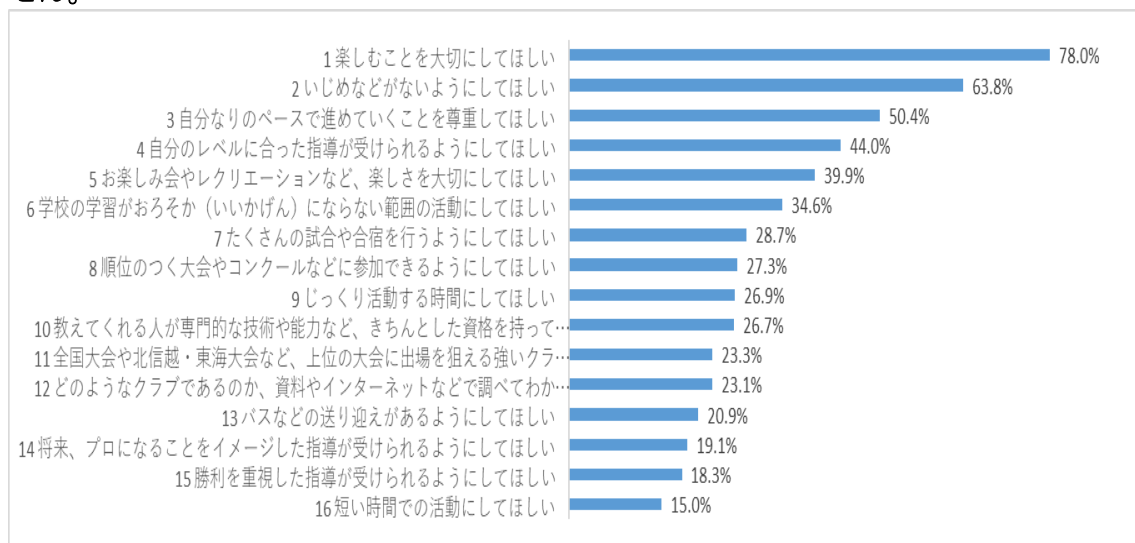


項 目	n	%
1 自分の興味のあることだから	387	23.0%
2 技術を伸ばしたいから	343	20.4%
3 記録を伸ばしたいから	332	19.8%
4 友人関係が広がるから	168	10.0%
5 体力がつくから	137	8.2%
6 これまで努力した経験を生かしたいから	118	7.0%
7 大会やコンクールに参加できるから	101	6.0%
8 なんとなく	63	3.8%
9 その他	30	1.8%

6 地域クラブ活動に望むこと

主な結果	
✓	「やってみたい」と思う種目や活動のできるクラブに希望することとして、割合の高い項目は「楽しむこと」「いじめがないこと」「自分なりのペースで進められ」であり、前回調査と同様な傾向にあった。
✓	一方で「勝利にこだわった指導」については、他の項目と比較して低い割合を示した(18.3%)。

問10 休日に「やってみたい」と思う種目・活動のできるクラブに、どのようなことを希望しますか。こうしてほしいと思うことを教えてください。いくつ選んでも構いません。

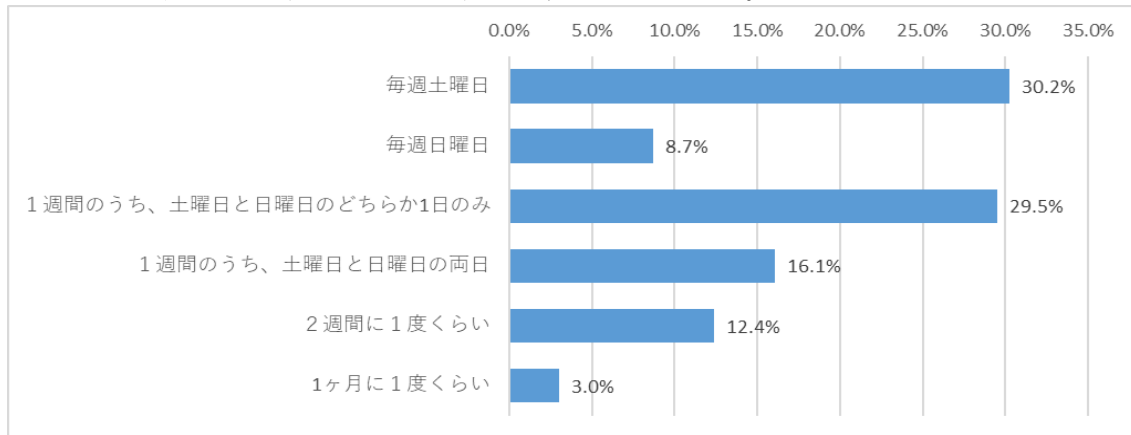


項 目	n	%
1 楽しむことを大切にしてほしい	1,311	78.0%
2 いじめなどがないようにしてほしい	1,073	63.8%
3 自分なりのペースで進めていくことを尊重してほしい	847	50.4%
4 自分のレベルに合った指導が受けられるようにしてほしい	740	44.0%
5 お楽しみ会やレクリエーションなど、楽しさを大切にほしい	670	39.9%
6 学校の学習がおろそか（いいかげん）にならない範囲の活動にほしい	581	34.6%
7 たくさんの試合や合宿を行うようにしてほしい	483	28.7%
8 順位のつく大会やコンクールなどに参加できるようにしてほしい	459	27.3%
9 じっくり活動する時間にほしい	452	26.9%
10 教えてくれる人が専門的な技術や能力など、きちんとした資格を持っていてほしい	448	26.7%
11 全国大会や北信越・東海大会など、上位の大会に出場を狙える強いクラブであってほしい	391	23.3%
12 どのようなクラブであるのか、資料やインターネットなどで調べてわかるようにしてほしい	389	23.1%
13 バスなどの送り迎えがあるようにしてほしい	351	20.9%
14 将来、プロになることをイメージした指導が受けられるようにしてほしい	321	19.1%
15 勝利を重視した指導が受けられるようにしてほしい	307	18.3%
16 短い時間での活動にほしい	252	15.0%

7 休日の地域クラブ活動の希望実施頻度と時間

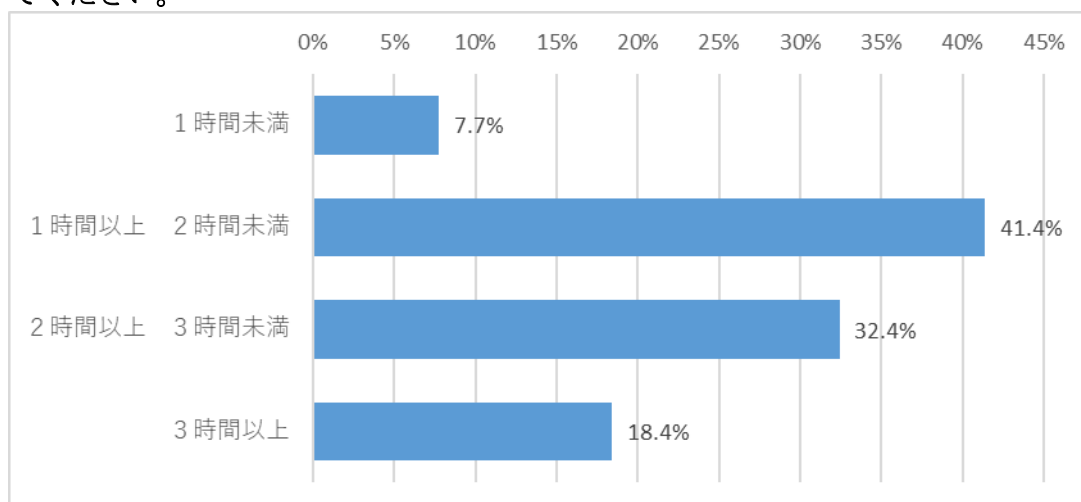
主な結果	
✓	「やってみたい」と思う地域クラブ活動の休日の実施頻度は、毎週土曜日(30.2%)または土日どちらか1日(29.5%)と高い割合であった。
✓	活動時間は、1時間以上2時間未満が41.4%、次いで2時間以上3時間未満が32.4%が希望している。各自、現在の体力を考慮しての結果と考えられる。

問11 休日に「やってみたい」と思うクラブの活動は、どれくらいの回数であれば参加したいですか？ 今のあなたの希望を教えてください。



項 目	n	%
毎週土曜日	509	30.2%
毎週日曜日	147	8.7%
1週間のうち、土曜日と日曜日のどちらか1日のみ	497	29.5%
1週間のうち、土曜日と日曜日の両日	271	16.1%
2週間に1度くらい	209	12.4%
1ヶ月に1度くらい	51	3.0%
合 計	1,684	100%

問 1 2 どのくらいの時間の活動であれば参加したいですか？ 活動希望時間を教えてください。



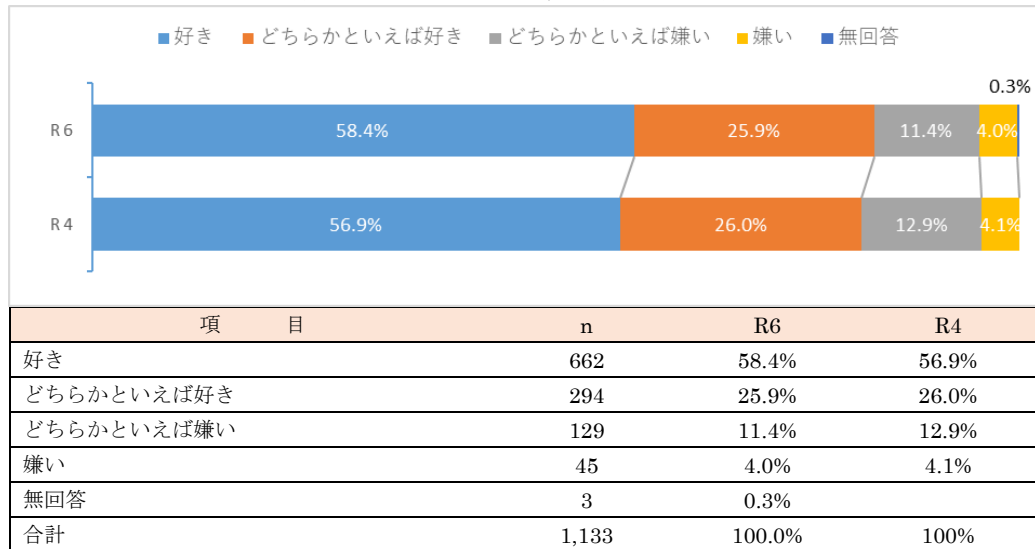
項 目	n	%
1 時間未満	131	7.7%
1 時間以上 2 時間未満	701	41.4%
2 時間以上 3 時間未満	549	32.4%
3 時間以上	312	18.4%

中学 1 ・ 2 年生を対象とした調査の結果

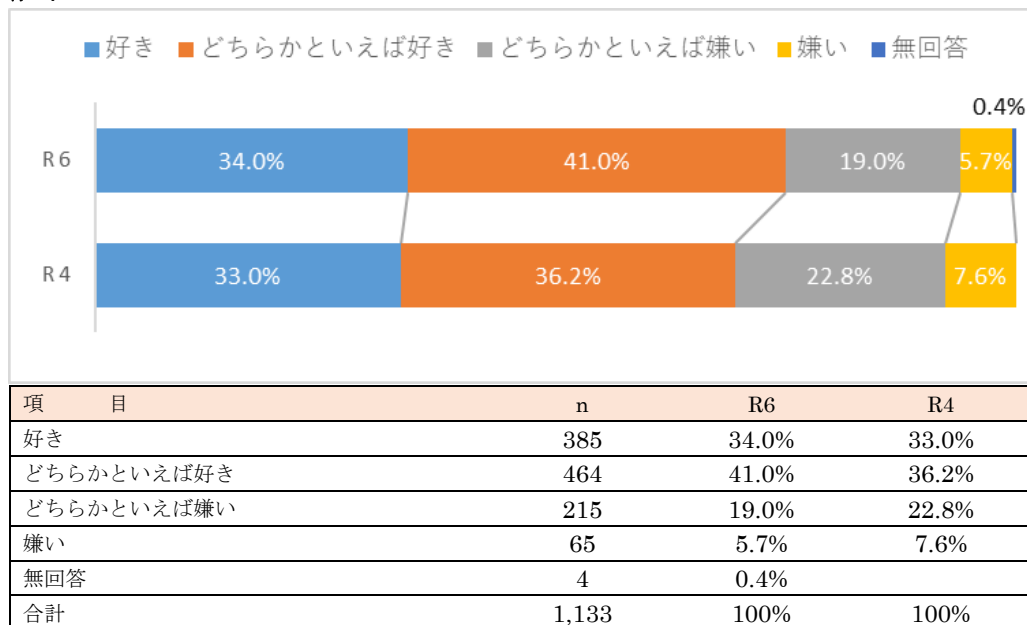
1 運動やスポーツ、文化の活動に対する思い

主な結果	
✓	運動やスポーツが「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者は全体の 84.3%、文化活動に対して同様に回答した者は 75.0%であった。前回調査より運動やスポーツが +1.4p、文化活動が+4.8p と、共に上昇している。

問1 あなたは、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは、好きですか？



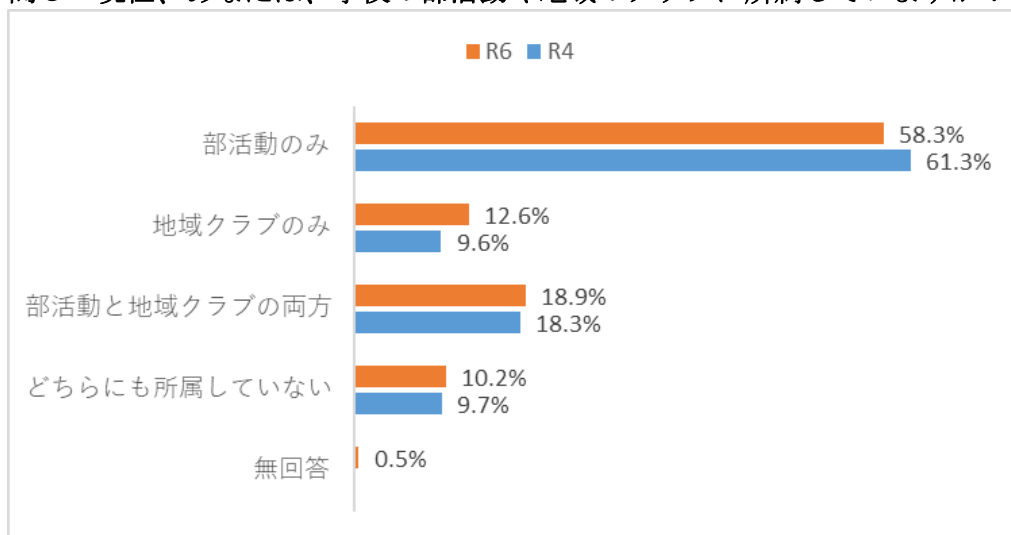
問2 あなたは、文化活動（楽器演奏、合唱、演劇、美術等）をすることは、好きですか？



2 部活動および地域クラブ活動への所属率

主な結果	
✓	部活動に参加している者（地域クラブ活動との掛け持ちも含む）は 77.2%、地域クラブ活動に参加している者（部活動との掛け持ちも含む）は 31.5%であった。
✓	部活動への参加が減少(-3.0p)し、地域クラブへの参加が増え(+3.6p)ている。

問3 現在、あなたは、学校の部活動や地域のクラブに所属していますか？



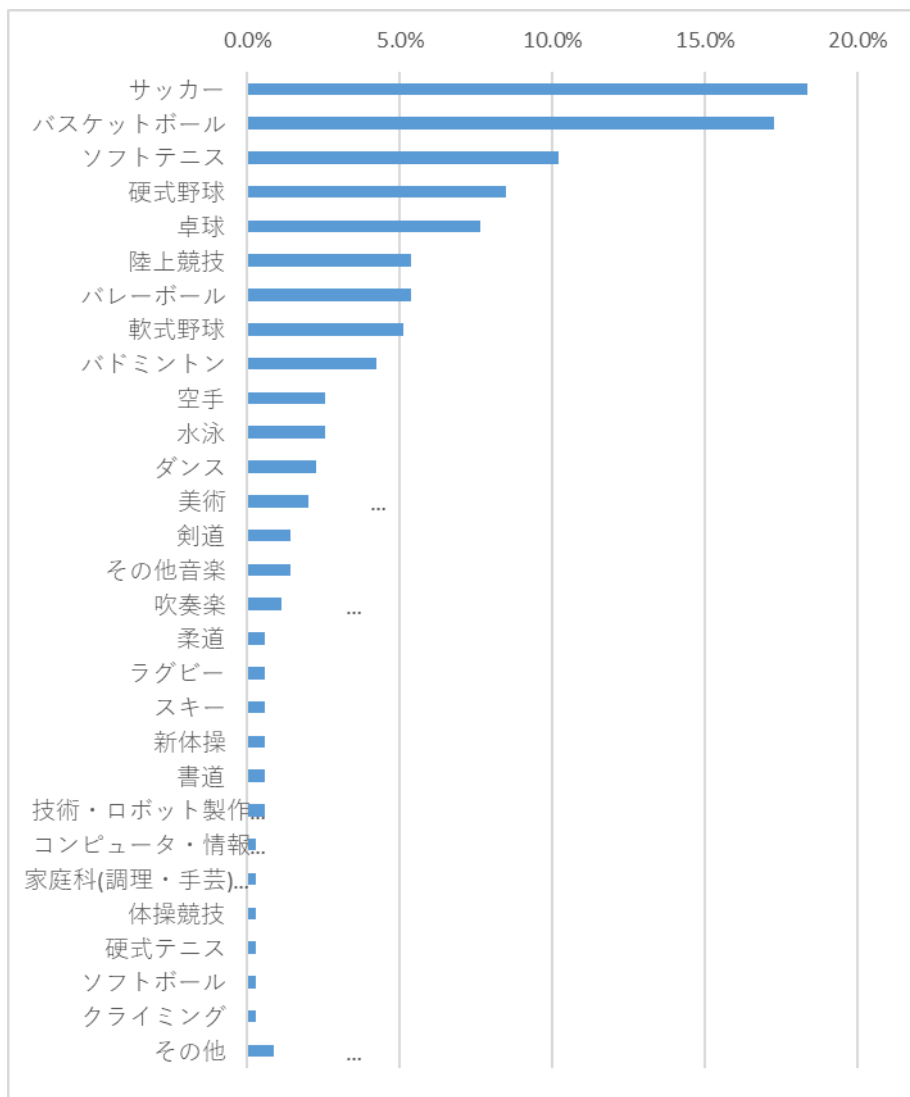
項 目	n	R6	R4
1 「学校の部活動」 のみに所属している	660	58.3%	61.3%
2 「地域のクラブ」 のみに所属している	143	12.6%	9.6%
3 「学校の部活動」 と「地域のクラブ」 の両方に所属している	214	18.9%	18.3%
4 「学校の部活動」 「地域のクラブ」 のどちらにも所属していない	110	10.2%	9.7%
無回答	6	0.5%	
合計	1,133	100%	

注) 問3で「どちらにも所属していない」と回答した人は問5へ

3 所属する部活動や地域クラブ活動の種目や活動

主な結果	
✓	所属する地域クラブ活動の種目は、運動系においては「サッカー」「バスケットボール」「ソフトテニス」の順に高い所属率である。
✓	運動系クラブに比べて、文化系クラブへの所属率が低い。特に、学校部活動では大人数を占める「吹奏楽」や「美術」が、地域クラブへの所属は少ない。

問4 所属しているそれぞれの活動はどのような種目ですか？



注1) 地域クラブに所属する 354 名の回答を分析

注2) 1 名につき 2 種目以上所属している種目は合算している。

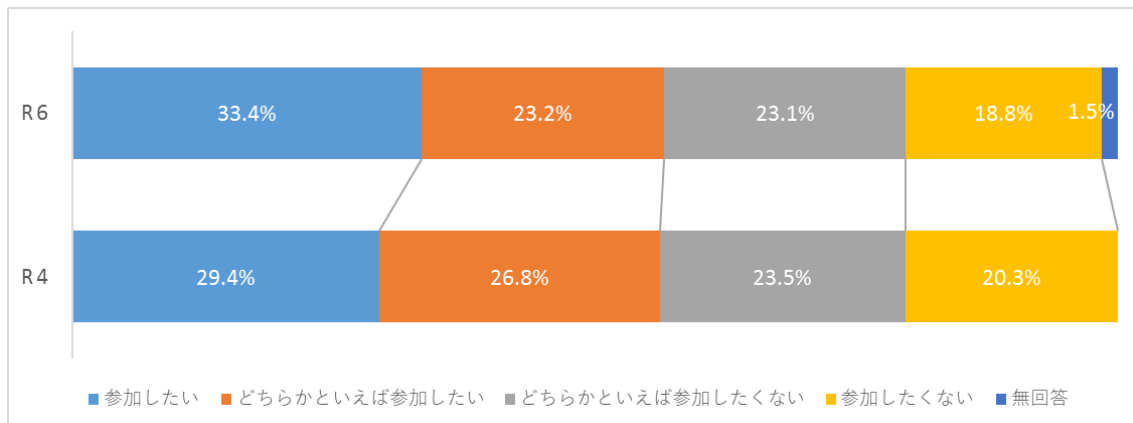
注3) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

	種目	n	%
1	サッカー	65	18.4%
2	バスケットボール	61	17.2%
3	ソフトテニス	36	10.2%
4	硬式野球	30	8.5%
5	卓球	27	7.6%
6	バレーボール	19	5.4%
7	陸上競技	19	5.4%
8	軟式野球	18	5.1%
9	バドミントン	15	4.2%
10	水泳	9	2.5%
11	空手	9	2.5%
12	ダンス	8	2.3%
13	美術	7	2.0%
14	その他音楽	5	1.4%
15	剣道	5	1.4%
16	吹奏楽	4	1.1%
17	技術・ロボット製作	2	0.6%
18	書道	2	0.6%
19	新体操	2	0.6%
20	スキー	2	0.6%
21	ラグビー	2	0.6%
22	柔道	2	0.6%
23	クライミング	1	0.3%
24	ソフトボール	1	0.3%
25	硬式テニス	1	0.3%
26	体操競技	1	0.3%
27	家庭科(調理・手芸)	1	0.3%
28	コンピュータ・情報	1	0.3%
29	その他	3	0.8%

4 休日の地域クラブ活動への参加希望や活動に望むこと

主な結果	
✓	休日の地域クラブ活動に「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答した者は56.6%であった。前回調査とほぼ同じ結果となったが、積極的な参加の割合が増えている(+4.0p)。
✓	休日に取り組みたい種目は、バスケットボール、サッカー、バレーボール、ソフトテニスなど部活動にある種目が上位を占めている。(R4 はバドミントン、卓球、バスケットボール、バレーボール)

問5 部活動が地域移行したら、あなたは休日のクラブ活動に参加したいですか？

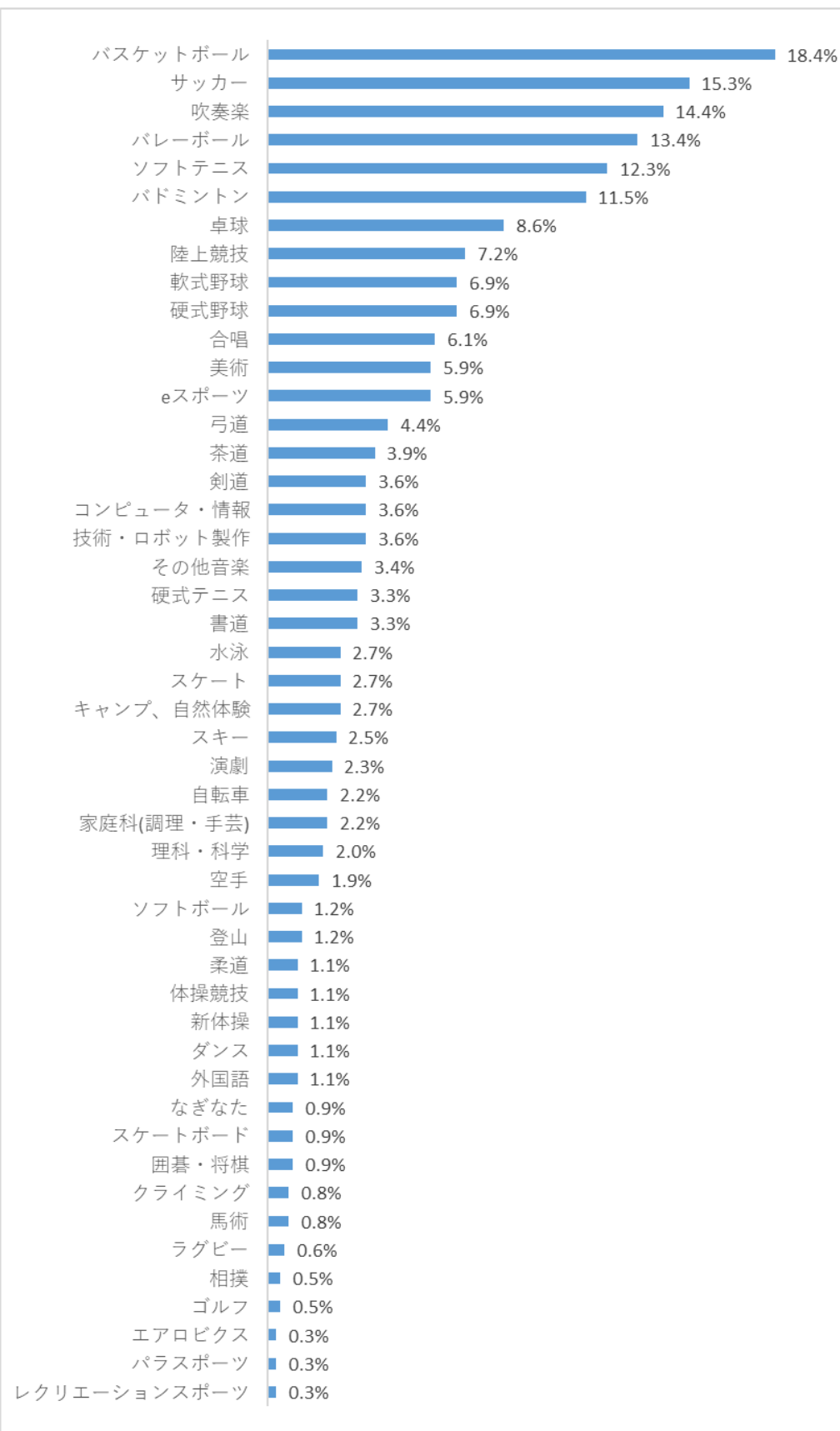


	n	R6	R4
参加したい	378	33.4%	29.4%
どちらかといえば参加したい	263	23.2%	26.8%
どちらかといえば参加したくない	262	23.1%	23.5%
参加したくない	213	18.8%	20.3%
無回答	17	1.5%	
合計	2853	100%	100%

注) 「どちらかといえば参加したくない」「参加したくない」と回答した人は、問8へ

問6 どのようなクラブ活動に取り組みたいですか？（複数回答可）

種目	n	%
バスケットボール	118	18.4%
サッカー	98	15.3%
吹奏楽	92	14.4%
バレーボール	86	13.4%
ソフトテニス	79	12.3%
バドミントン	74	11.5%
卓球	55	8.6%
陸上競技	46	7.2%
軟式野球	44	6.9%
硬式野球	44	6.9%
合唱	39	6.1%
美術	38	5.9%
e スポーツ	38	5.9%
弓道	28	4.4%
茶道	25	3.9%
剣道	23	3.6%
コンピュータ・情報	23	3.6%
技術・ロボット製作	23	3.6%
その他音楽	22	3.4%
硬式テニス	21	3.3%
書道	21	3.3%
水泳	17	2.7%
スケート	17	2.7%
キャンプ、自然体験	17	2.7%
スキー	16	2.5%
演劇	15	2.3%
自転車	14	2.2%
家庭科(調理・手芸)	14	2.2%
理科・科学	13	2.0%
空手	12	1.9%
ソフトボール	8	1.2%
登山	8	1.2%
柔道	7	1.1%
体操競技	7	1.1%
新体操	7	1.1%
ダンス	7	1.1%
外国語	7	1.1%
なぎなた	6	0.9%
スケートボード	6	0.9%
囲碁・将棋	6	0.9%
クライミング	5	0.8%
馬術	5	0.8%
ラグビー	4	0.6%
相撲	3	0.5%
ゴルフ	3	0.5%
エアロビクス	2	0.3%
パラスポーツ	2	0.3%
レクリエーションスポーツ	2	0.3%
その他	30	4.7%



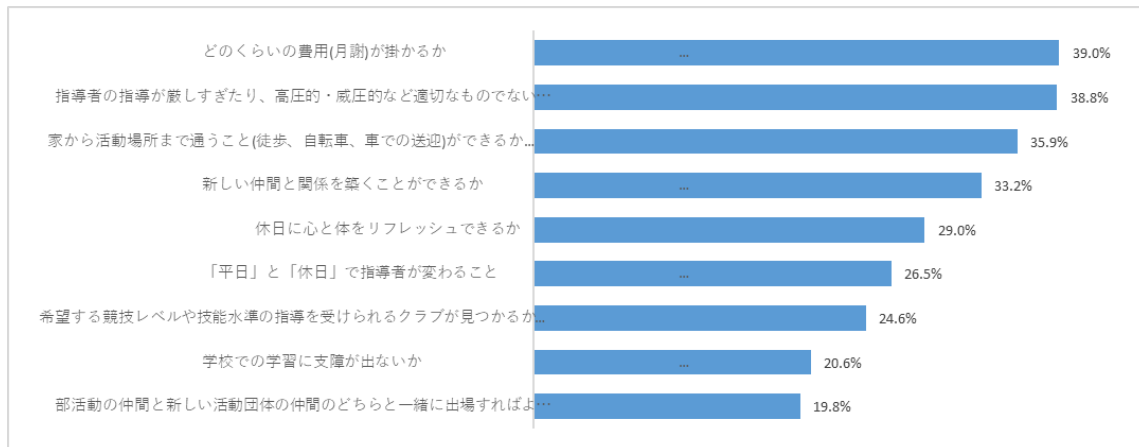
注1) 問6の分析対象者は641名であった。

注2) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外を指す。

5 地域クラブ活動への加入に伴う心配

主な結果	
✓	地域クラブ活動への加入に伴う心配や困りそうなこととしては、「どのくらいの費用(月謝)が掛かるか」(39.0%)、「指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること」(38.8%)は前回調査と同様の傾向を示しており、子どもたちが心配している点である。
✓	「家から活動場所まで通うこと」を心配する割合が増えている。(35.9%)

問7 地域クラブに自分が在籍する場合、心配なことや困りそうなことはありますか？
あなたの考えとして、あてはまるものを選んでください。(複数回答可)



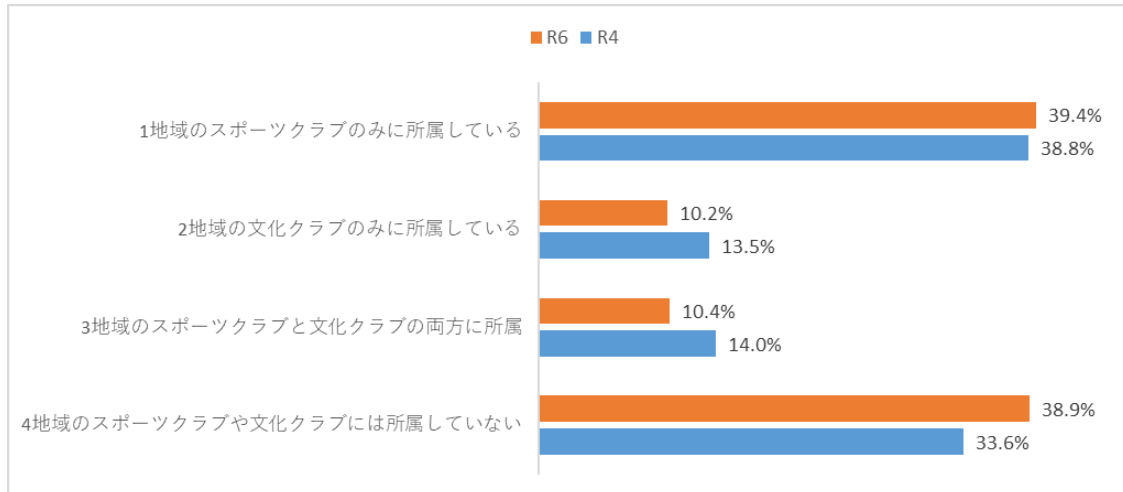
項 目	n	%
どのくらいの費用（月謝）が掛かる	250	39.0%
指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること	249	38.8%
家から活動場所まで通うこと(徒歩、自転車、車での送迎)ができるか	230	35.9%
新しい仲間と関係を築くことができるか	213	33.2%
休日に心と体をリフレッシュすることができるか	186	29.0%
「平日」と「休日」で指導者が変わる事	170	26.5%
希望する競技レベルや技能水準の指導を受けられるクラブが見つかるか。	158	24.6%
学校での学習に支障が出ないか	132	20.6%
部活動の仲間と、新しい活動団体の仲間のどちらと一緒に大会やコンクールに出場すればよいかわからないか	127	19.8%

小学5・6年生保護者を対象とした調査の結果

1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担

主な結果	
✓	地域クラブ活動に所属している割合は 60.0%であった。前回調査より減少(-6.4P)した。
✓	地域クラブ活動の月謝の平均は 6,265 円であり、月謝以外の年間費用負担の平均は 29,760 円であった。

問1 現在、あなたのお子さんが所属しているクラブはありますか？ なお、クラブは運動やスポーツだけでなく、ピアノや書道などの習い事を含めます。ただし、学習塾は除きます。



項 目	n	R6	R4
1 地域のスポーツクラブのみに所属している	485	39.4%	38.8%
2 地域の文化クラブのみに所属している	125	10.2%	13.5%
3 地域のスポーツクラブと文化クラブの両方に所属している	128	10.4%	14.0%
4 地域のスポーツクラブや文化クラブには所属していない	479	38.9%	33.6%
その他	14	1.1%	
合 計	1,231	100%	100%

注) 問1で「所属していない」を選んだ人は問4へ

問2 お子さんが所属するクラブに支払っている月謝はどの程度ですか？クラブを掛け持ちして所属している場合は、最も高いクラブの月謝について回答してください。年間または半年ごとでお支払いの方は、月平均でお答えください。

(円)

基礎統計量	R6	R4
平均値	6,265	6,545
中央値	5,000	6,000
最小値	0	0
最大値	40,000	50,000

注) 分析対象者は 644 名であった。

小学生保護者がクラブに支払う月謝の度数分布

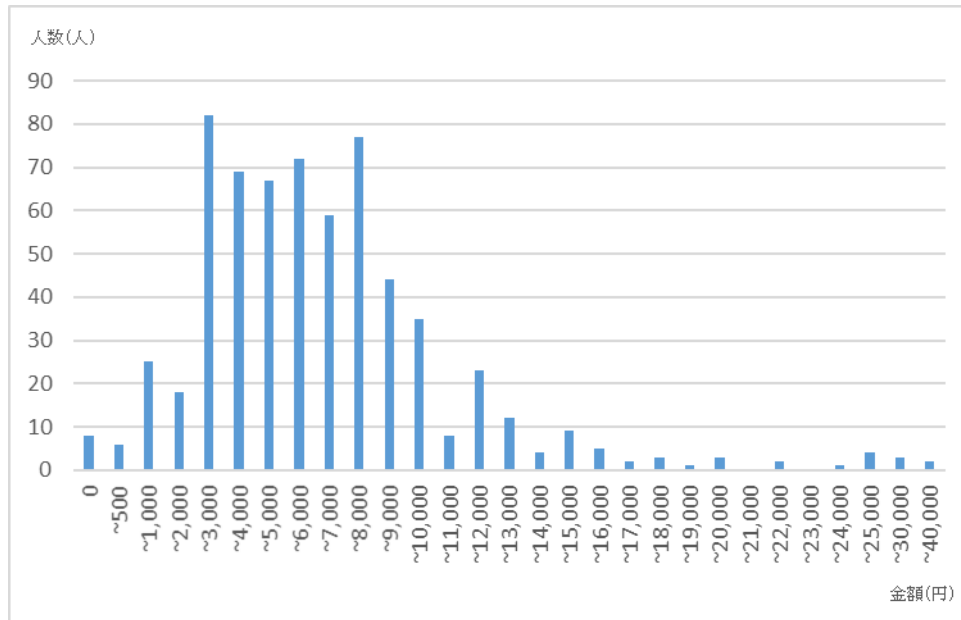
(円)

金額	0	~500	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000
人数	8	6	25	18	82	69	67	72

金額	~7,000	~8,000	~9,000	~10,000	~11,000	~12,000	~13,000	~14,000
人数	59	77	44	35	8	23	12	4

金額	~15,000	~16,000	~17,000	~18,000	~19,000	~20,000	~21,000	~22,000
人数	9	5	2	3	1	3	0	2

金額	~23,000	~24,000	~25,000	~30,000	~40,000	総計
人数	0	1	4	3	2	644



問3 月謝以外に支払っている年間の費用負担（例：光熱費、大会・コンクール参加代、遠征代などの諸経費）は、どの程度ですか？

(円)

基礎統計量	R6	R4
平均値	29,760	28,276
中央値	10,000	10,000
最小値	0	200
最大値	800,000	500,000

注）分析対象者は666名であった。

小学生保護者がクラブに支払う年間費用負担の度数分布 (円)

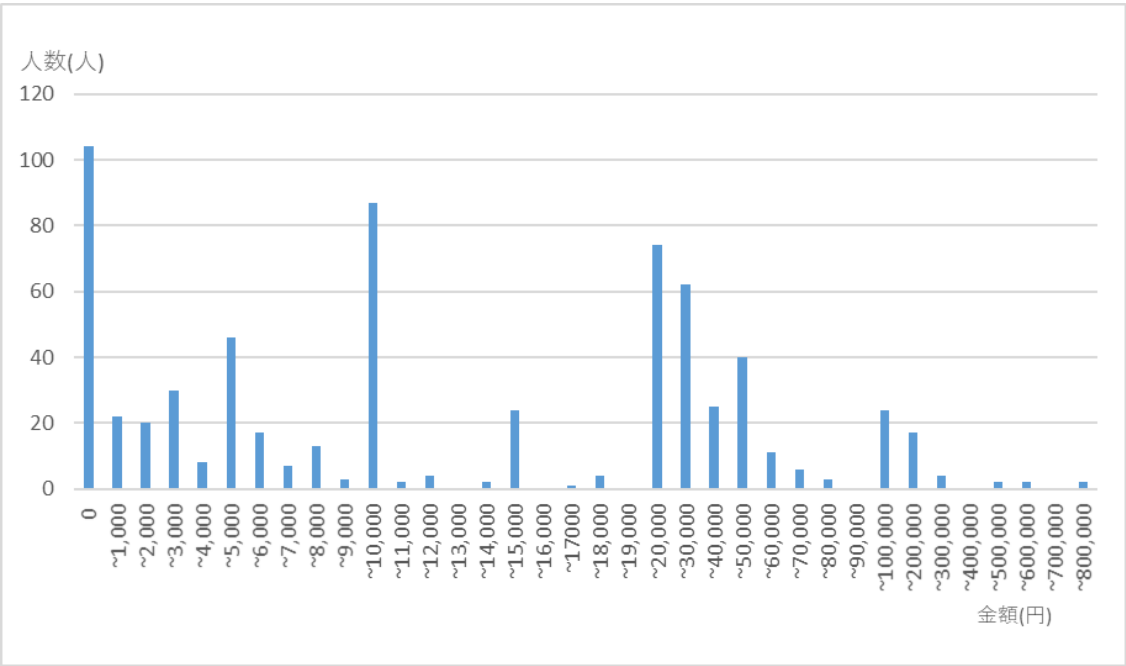
金額	0	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000	~7,000
人数	104	22	20	30	8	46	17	7

金額	~8,000	~9,000	~10,000	~11,000	~12,000	~13,000	~14,000	~15,000
人数	13	3	87	2	4	0	2	24

金額	~16,000	~17000	~18,000	~19,000	~20,000	~30,000	~40,000	~50,000
人数	0	1	4	0	74	62	25	40

金額	~60,000	~70,000	~80,000	~90,000	~100,000	~200,000	~300,000	~400,000
人数	11	6	3	0	24	17	4	0

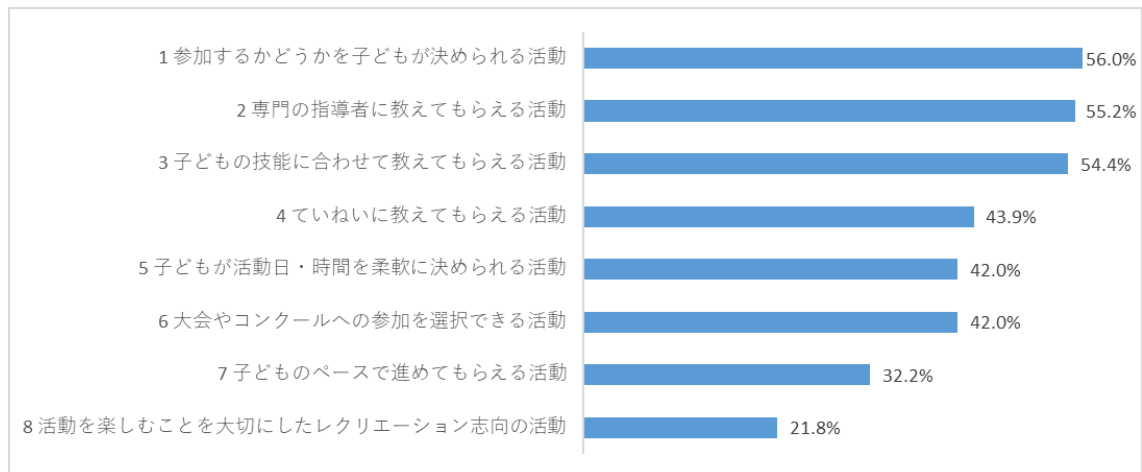
金額	~500,000	~600,000	~700,000	~800,000	総計
人数	2	2	0	2	666



2 地域クラブのスポーツ・文化活動に望むこと

主な結果	
✓	どのような活動であれば、お子さんが休日のスポーツや文化の活動をしたいと思うかを尋ねたところ、「参加するかどうかを子どもが決められる活動」「専門の指導者に教えてもらえる活動」「子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動」の順で回答した割合が高かった。

問4 あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想定し、質問にご回答ください。どのような活動であれば、あなたのお子さんは休日のスポーツや文化の活動をしたいと考えますか？（複数回答可）



項 目	n	%
1 参加するかどうかを子どもが決められる活動	668	56.0%
2 専門の指導者に教えてもらえる活動	658	55.2%
3 子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動	649	54.4%
4 ていねいに教えてもらえる活動	523	43.9%
5 子どもが活動日・時間を柔軟に決められる活動	501	42.0%
6 大会やコンクールへの参加を選択できる活動	501	42.0%
7 子どものペースで進めてもらえる活動	384	32.2%
8 活動を楽しむことを大切にしたいレクリエーション志向の活動	260	21.8%

3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額

主な結果	
✓	移行後の地域クラブ活動に対して月謝を支払う場合、許容される金額は、平均 5,210 円であった。地域クラブに加入している家庭が支払っている月謝の平均値の前回調査 (6,265 円) からは、1,055 円低い値であった。

問5 あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想定した場合、月謝はいくらまでであれば許容できますか？

(円)

基礎統計量	R6	R4
平均値	5,210	4,715
中央値	5,000	5,000
最小値	0	0
最大値	50,000	70,000

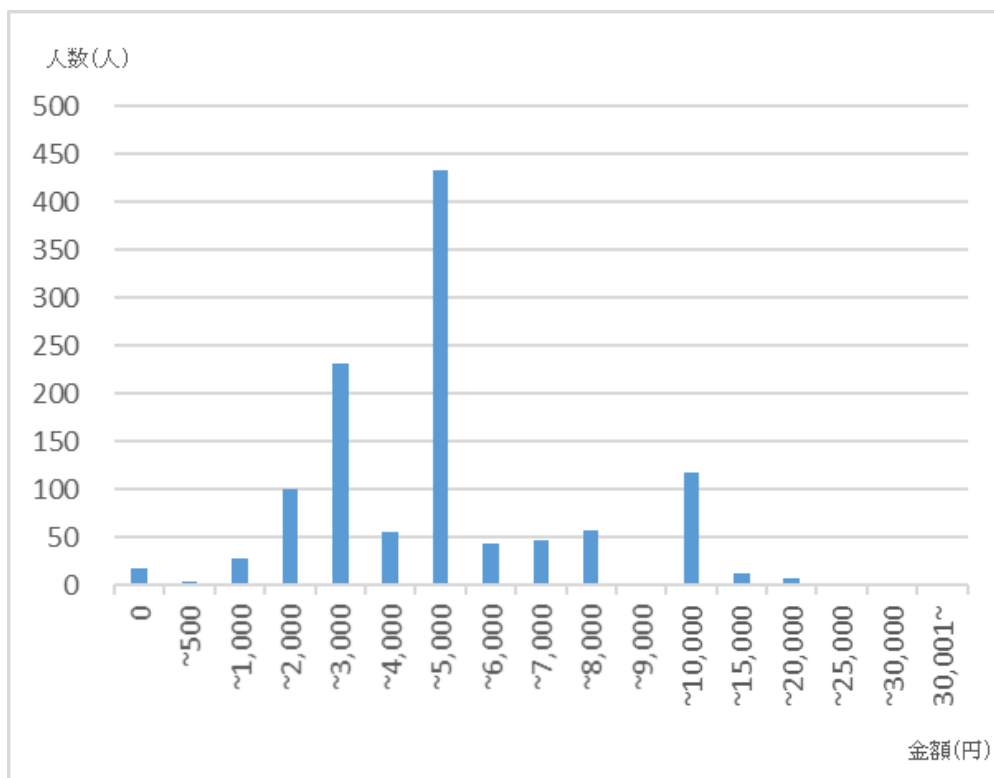
注1) 分析対象者は 1,164 名であった。

(円)

金額	0	~500	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000
人数	17	4	28	100	232	56	433	44

金額	~7,000	~8,000	~9,000	~10,000	~15,000	~20,000	~25,000	~30,000
人数	48	58	1	118	12	7	2	2

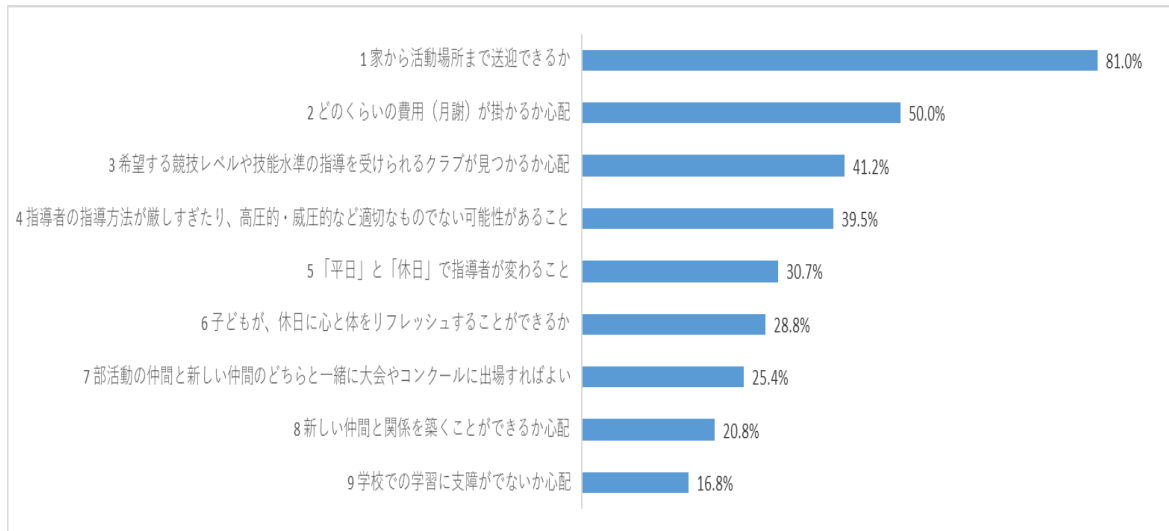
金額	30,001~	総計
人数	2	1,164



4 地域クラブ活動への加入に伴う心配

主な結果	
✓	地域クラブ活動への加入に伴う心配や不安としては、「家から活動場所まで送迎できるか」を81.0%の保護者が心配している。次の「どのくらいの費用(月謝)が掛かるか」50.0%と比べても、保護者にとって大きな心配事である。

問6 平日の部活動はなくなり、地域クラブで活動するようになったとき、心配なことや不安なことはありますか？ 今のあなたの考えを選んでください。(複数回答可)



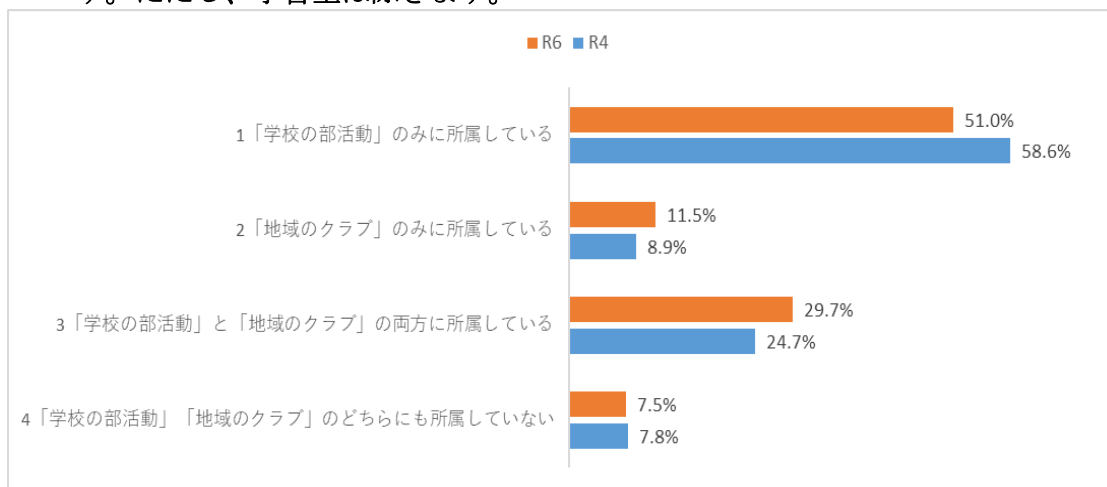
項 目	n	%
1 家から活動場所まで送迎できるか	961	81.0%
2 どのくらいの費用(月謝)が掛かるか心配	593	50.0%
3 希望する競技レベルや技能水準の指導を受けられるクラブが見つかるか心配	489	41.2%
4 指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的ななど、適切なものでない可能性があること	469	39.5%
5 「平日」と「休日」で指導者が変わることに	365	30.7%
6 子どもが、休日に心と体をリフレッシュすることができるか	342	28.8%
7 部活動の仲間と、新しい活動団体の仲間のどちらと一緒に大会やコンクールに出場すればよいか困りそう	302	25.4%
8 新しい仲間と関係を築くことができるか心配	247	20.8%
9 学校での学習に支障がでないか心配	199	16.8%

中学 1 ・ 2 年生保護者を対象とした調査の結果

1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担

主な結果	
✓	部活動に参加している者（地域クラブ活動との掛け持ちも含む）の割合は 80.7%(-2.6p)、地域クラブ活動に参加している者（部活動との掛け持ちも含む）の割合は 41.2%(+7.6p)であった。
✓	部活動にも地域クラブ活動にも参加していない者は 7.5%(-0.3p)であった。
✓	地域クラブ活動の月謝の平均は 6,148 円であり、月謝以外の年間費用負担の平均は 30,895 円であった。

問1 現在、あなたのお子さんは、学校の部活動や地域のクラブに所属していますか？
 なお、クラブは運動やスポーツだけでなく、ピアノや書道などの習い事を含めます。ただし、学習塾は除きます。



項 目	n	R6	R4
1「学校の部活動」のみに所属している	659	51.0%	58.6%
2「地域のクラブ」のみに所属している	148	11.5%	8.9%
3「学校の部活動」と「地域のクラブ」の両方に所属している	384	29.7%	24.7%
4「学校の部活動」「地域のクラブ」のどちらにも所属していない	97	7.5%	7.8%
無回答	4	0.3%	
合 計	1,292	100%	100%

注) 問1で「1」「4」と回答した人は、問4へ

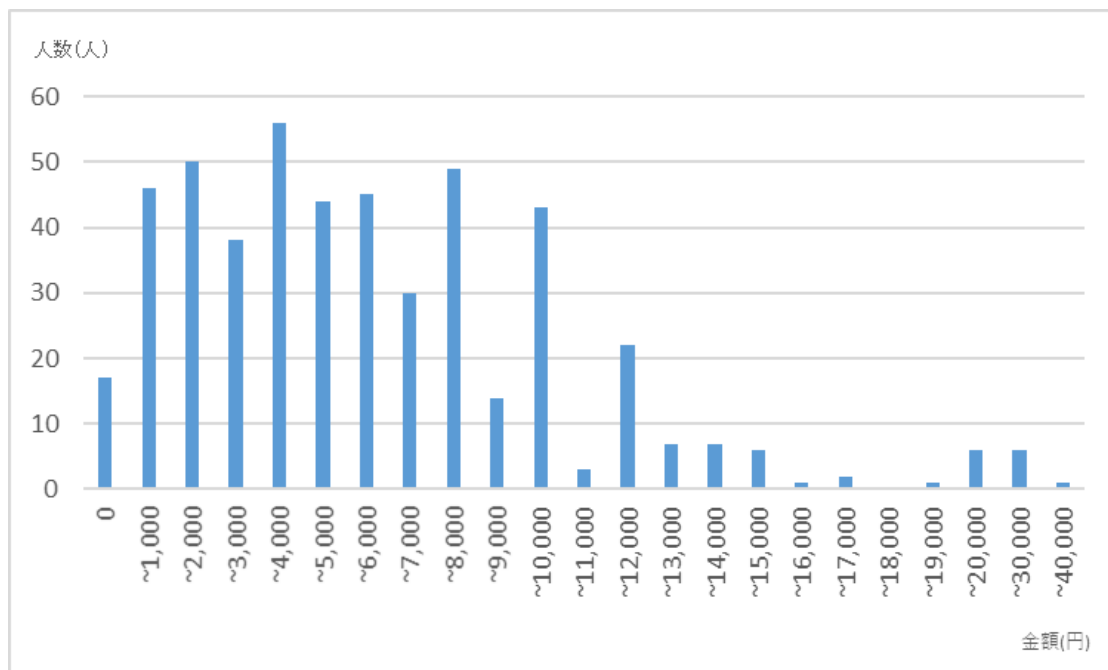
問2 問1で2,3のいずれかに回答した方にお尋ねします。

お子さんが所属する部活動やクラブに支払っている部費や月謝はどの程度ですか？
部活動やクラブを掛け持ちして所属している場合は、最も高いクラブの月謝について回答してください。年間または半年ごとでお支払いの方は、月平均でお答えください。

基礎統計量		金額 (円)
平均値		6,148
中央値		5,000
最小値		0
最大値		40,000

注1) 分析対象者は494名

金額	0	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000	~7,000
人数	17	46	50	38	56	44	45	30
金額	~8,000	~9,000	~10,000	~11,000	~12,000	~13,000	~14,000	~15,000
人数	49	14	43	3	22	7	7	6
金額	~16,000	~17,000	~18,000	~19,000	~20,000	~30,000	~40,000	総計
人数	1	2	0	1	6	6	1	494



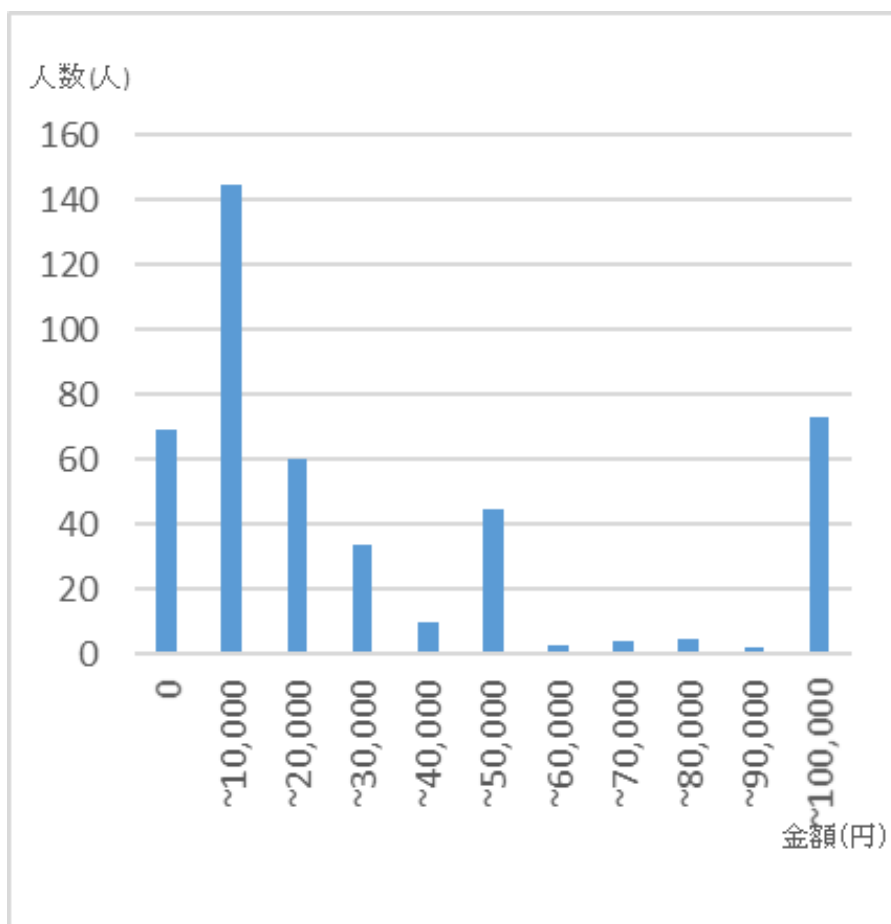
問3 月謝以外に支払っている年間の費用負担（例：光熱費、大会・コンクール参加代、遠征代などの諸経費）は、どの程度ですか？

基礎統計量		金額（円）
平均値		30,895
中央値		15,000
最小値		0
最大値		100,000

注）分析対象者は450名

金額	0	~10,000	~20,000	~30,000	~40,000	~50,000
人数	69	145	60	34	10	45

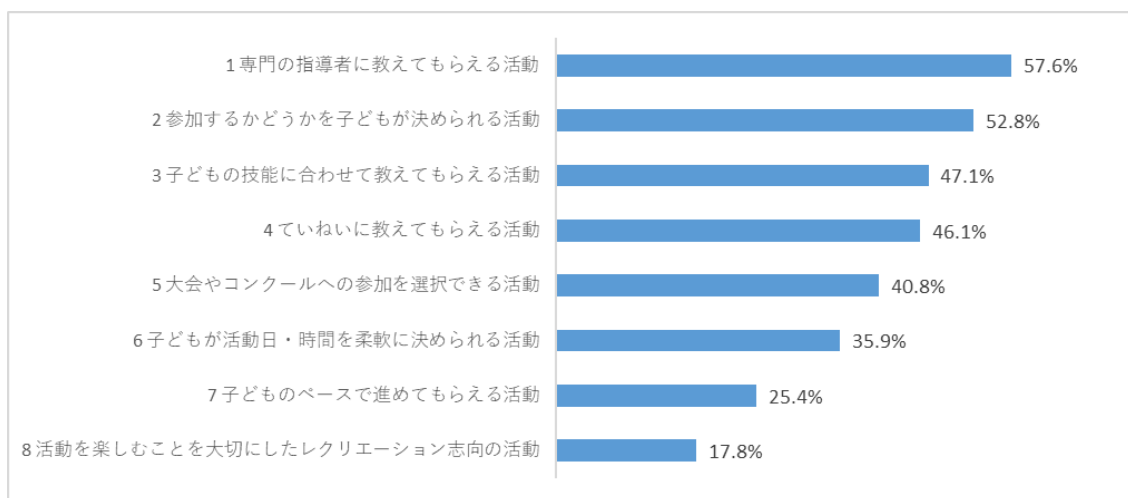
金額	~60,000	~70,000	~80,000	~90,000	~100,000	総計
人数	3	4	5	2	73	450



2 地域クラブのスポーツ・文化活動に望むこと

主な結果	
✓	どのような活動であれば、お子さんが休日のスポーツや文化の活動をしたいと思うかを尋ねたところ、「専門の指導者に教えてもらえる活動」「参加するかどうかを子どもが決められる活動」「子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動」の順で回答した割合が高かった。

問4 あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想定し、質問にご回答ください。どのような活動であれば、あなたのお子さんは休日のスポーツや文化の活動をしたいと考えますか？（複数回答可）



項 目	n	%
1 専門の指導者に教えてもらえる活動	729	57.6%
2 参加するかどうかを子どもが決められる活動	668	52.8%
3 子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動	596	47.1%
4 ていねいに教えてもらえる活動	583	46.1%
5 大会やコンクールへの参加を選択できる活動	516	40.8%
6 子どもが活動日・時間を柔軟に決められる活動	455	35.9%
7 子どものペースで進めてもらえる活動	322	25.4%
8 活動を楽しむことを大切にしたレクリエーション志向の活動	225	17.8%

3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額

主な結果	
✓	移行後の地域クラブ活動に対して月謝を支払う場合、許容される金額は、平均 4,518 円 (+912 円)、中央値 4,000 円(+1,000 円)であった。前回調査より約 1,000 円上がっていた。

問5 あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想定した場合、月謝はいくらまでであれば許容できますか？

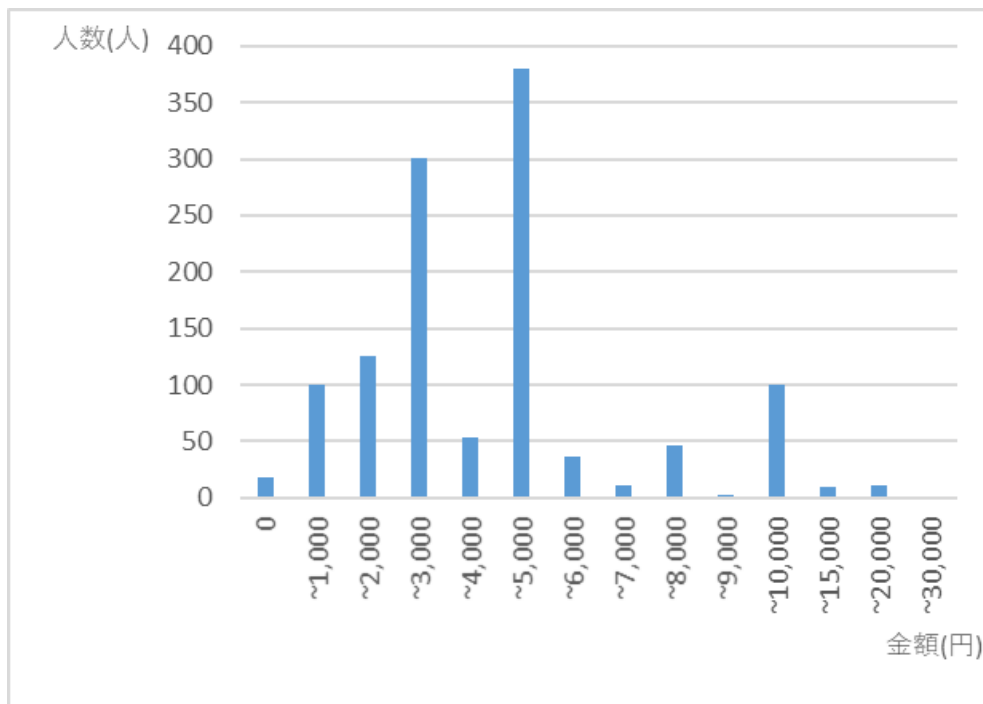
(円)

基礎統計量	R6	R4
平均値	4,518	3,606
中央値	4,000	3,000
最小値	0	0
最大値	30,000	50,000

注1) 分析対象者は 1,195 名。

金額	0	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000	~7,000
人数	18	100	126	301	53	380	36	11

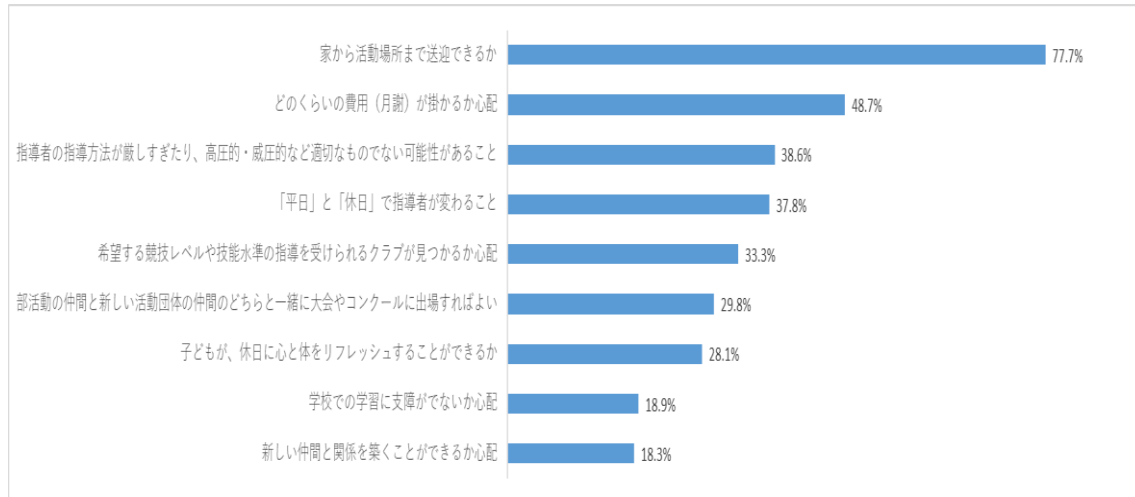
金額	~8,000	~9,000	~10,000	~15,000	~20,000	~30,000	計
人数	47	2	100	9	11	1	1,195



4 地域クラブ活動への加入に伴う心配

主な結果	
✓	地域クラブ活動への加入に伴う心配や不安としては、「家から活動場所まで送迎できるか」を 77.7%の保護者が心配している。次いで「どのくらいの費用(月謝)が掛かるか」(48.7%)の順である。これらは、小学生の保護者が持っている心配と同じ傾向にある。

問6 休日の部活動はなくなり、地域クラブで活動するようになったとき、心配なことや不安なことはありますか？ 今のあなたの考えを選んでください。(複数回答可)



項 目	n	%
1 家から活動場所まで送迎できるか	944	77.7%
2 どのくらいの費用(月謝)が掛かるか心配	592	48.7%
3 指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること	469	38.6%
4 「平日」と「休日」で指導者が変わる	459	37.8%
5 希望する競技レベルや技能水準の指導を受けられるクラブが見つかるか心配	405	33.3%
6 部活動の仲間と、新しい活動団体の仲間のどちらと一緒に大会やコンクールに出場すればよいかわからない	362	29.8%
7 子どもが、休日に心と体をリフレッシュすることができるか	341	28.1%
8 学校での学習に支障がでないか心配	230	18.9%
9 新しい仲間と関係を築くことができるか心配	222	18.3%

中学校教職員を対象とした調査の結果

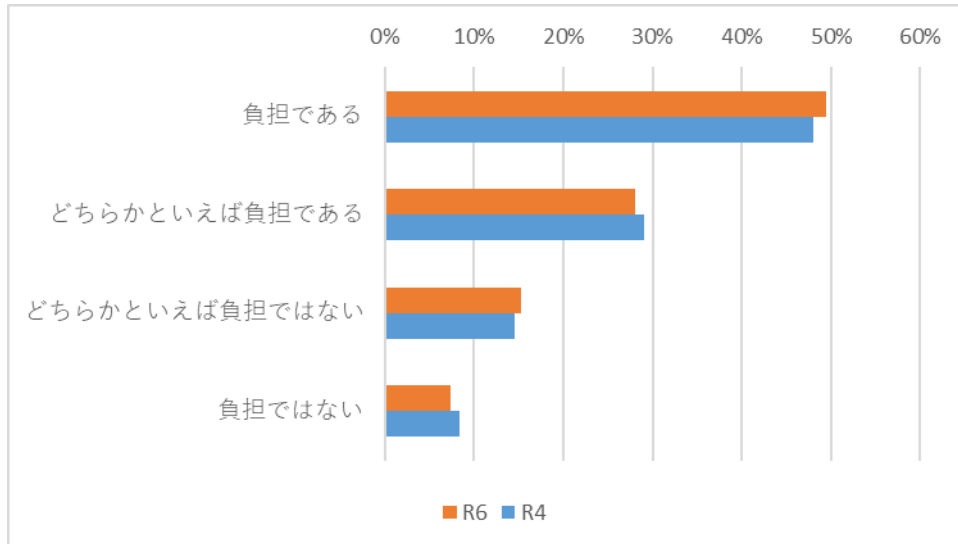
1 部活動顧問の割合、休日部活動の負担感

主な結果	
✓	本調査に回答した教職員 331 名のうち 196 名(59.2%)が部活動の顧問を担当していた。
✓	休日の部活動指導に対して、77.4%の者は「負担である」「どちらかといえば負担である」であった(+0.3p)。2 年前と比較しても顧問の負担感は減っていない。

問 1 現在、あなたは部活動の顧問をしていますか？

項目	n	%
1 運動系部活動の顧問をしている	149	45.0%
2 文化系部活動の顧問をしている	45	13.6%
3 運動系部活動と文化系部活動を掛け持ちした顧問をしている	2	0.6%
4 担当または顧問をしていない	130	39.3%
無回答	5	1.5%
合 計	331	100%

問 2 休日の部活動指導を負担と感じますか。

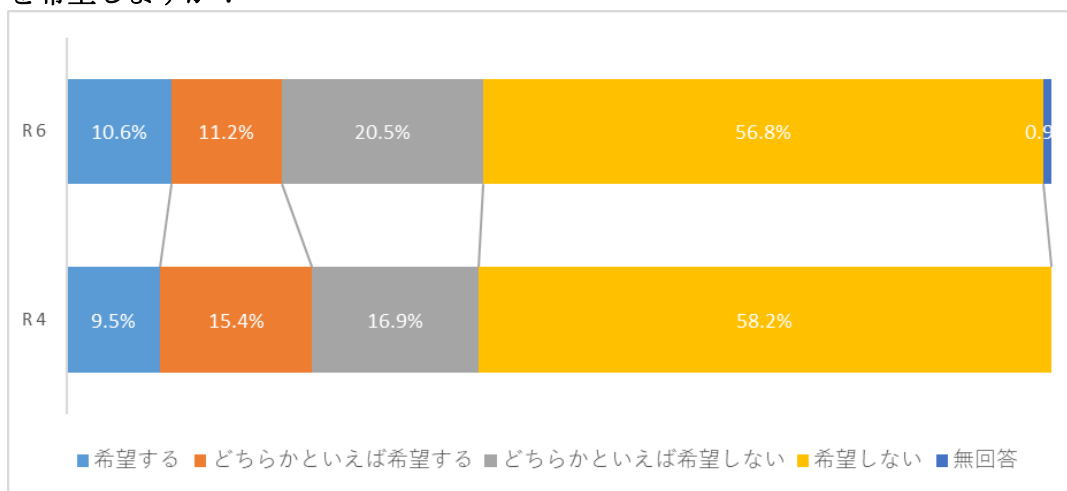


項目	n	R6	R4
1 負担である	155	49.4%	48.0%
2 どちらかといえば負担である	88	28.0%	29.1%
3 どちらかといえば負担ではない	48	15.3%	14.5%
4 負担ではない	23	7.3%	8.4%
合 計	314	100%	100%

2 休日の地域クラブ活動の指導希望

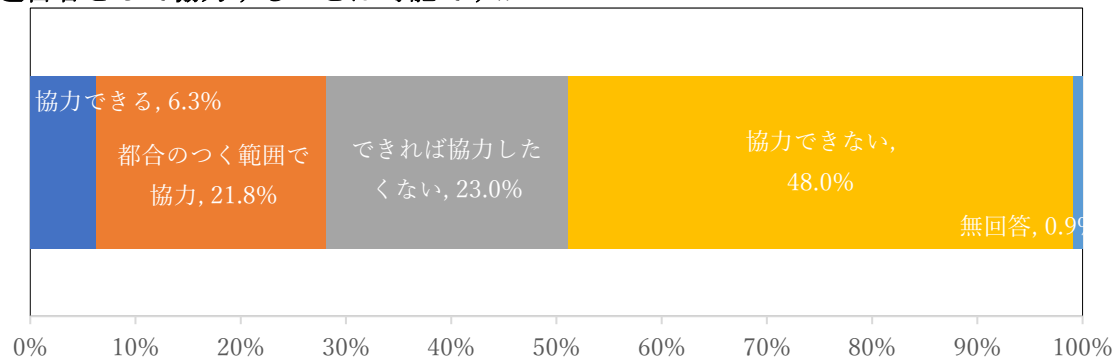
主な結果	
✓	休日の地域クラブ活動の指導について、「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した者は 21.8%であった(±3.1p)。
✓	休日の協会および連盟主催の大会(中体連は除く)等の運営について、審判員等の運営者として協力できるかどうかについては、「協力できる」「都合がつく範囲で協力」と答えた人が 28.1%であった。
✓	大会運営の報酬は 1 時間 1500 円以上を希望とする割合(25.1%)が高かったが、「報酬があっても協力できない」と答えた人が最も高かった(33.8%)。

問3 中学校の部活動が「地域移行」として令和7年度末までに休日の部活動がなくなり、地域移行が想定されます。あなたは、休日の地域のスポーツ・文化芸術活動の指導を希望しますか？



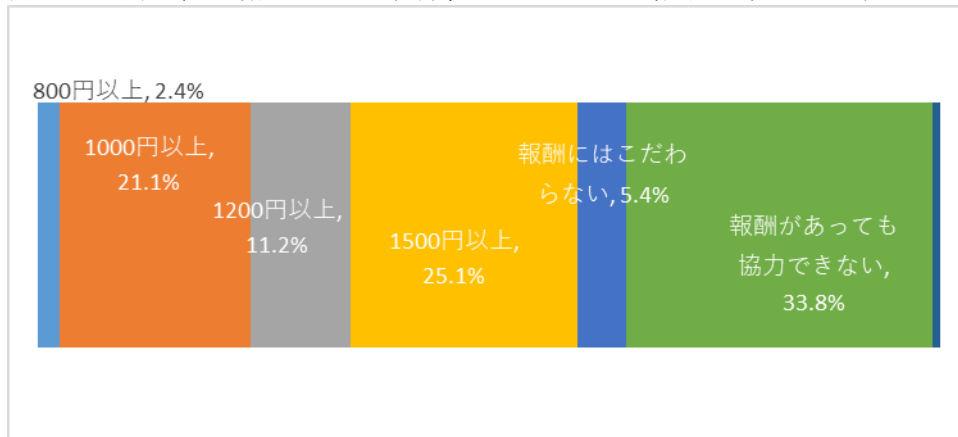
項目	n	R6	R4
1 希望する	35	10.6%	9.5%
2 どちらかといえば希望する	37	11.2%	15.4%
3 どちらかといえば希望しない	68	20.5%	16.9%
4 希望しない	188	56.8%	58.2%
無回答	3	0.9%	
合 計	201	100%	100%

問 4 休日の協会および連盟主催の大会(中体連は除く)等の運営について、審判員等の運営者として協力することは可能ですか？



項目	n	%
1 協力できる	21	6.3%
2 都合のつく範囲で協力したい	72	21.8%
3 できれば協力したくない	76	23.0%
4 協力できない	159	48.0%
無回答	3	0.9%
合 計	201	100%

問 5 大会運営に協力できる場合、どのくらいの報酬を希望しますか？

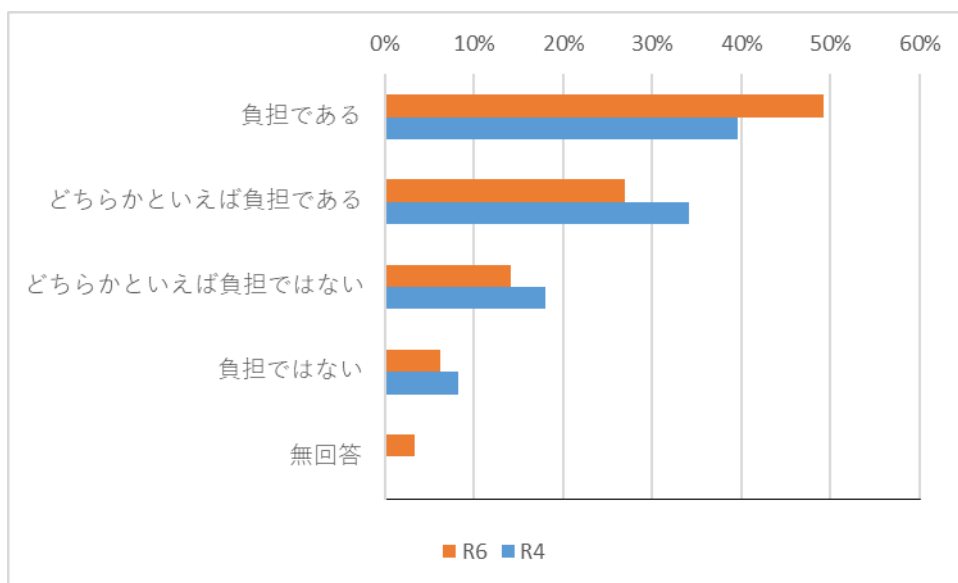


項目	n	%
1 1時間 800 円以上	8	2.4%
2 1時間 1000 円以上	70	21.1%
3 1時間 1200 円以上	37	11.2%
4 1時間 1500 円以上	83	25.1%
5 報酬にはこだわらず協力したい	18	5.4%
6 報酬があっても協力できない	112	33.8%
無回答	3	0.9%
合 計	331	100%

3 平日部活動の負担感、平日の地域クラブ活動の指導希望、指導者資格の有無

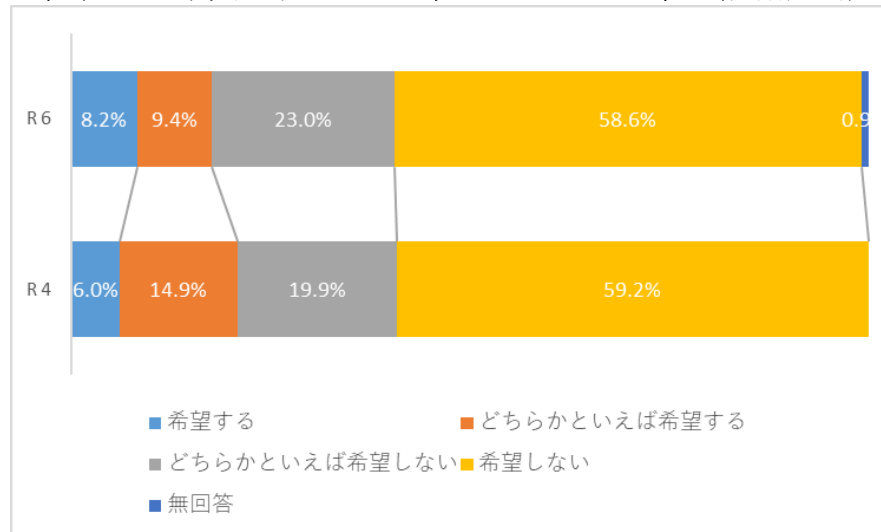
主な結果	
✓	平日の部活動指導に対して、76.1%の者は「負担である」「どちらかといえば負担である」であった(+2.4p)。
✓	平日の地域クラブ活動の指導について、「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した者は 17.6%であった(-3.1p)。
✓	指導者資格について、「所持している」と回答した者は 18 名であった。

問 6 平日の部活動指導を負担と感じますか。



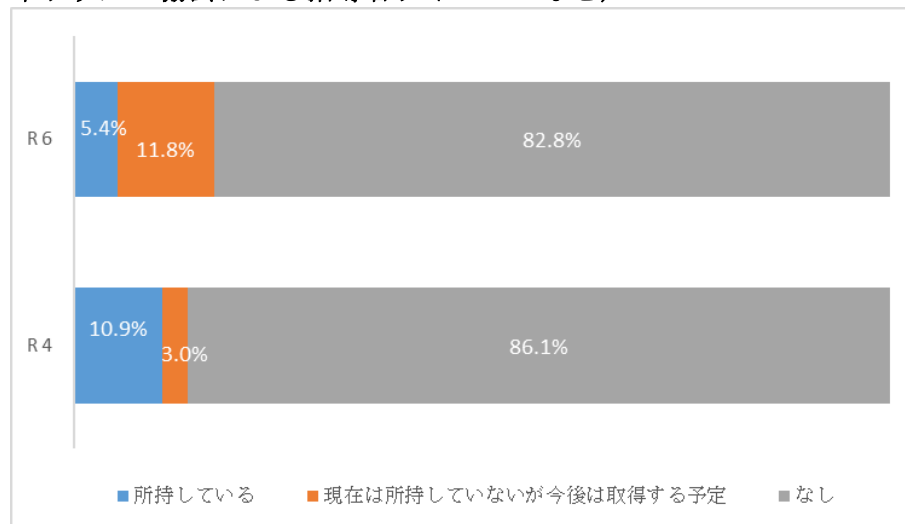
項目	n	R6	R4
1 負担である	163	49.2%	39.6%
2 どちらかといえば負担である	89	26.9%	34.1%
3 どちらかといえば負担ではない	47	14.2%	18.1%
4 負担ではない	21	6.3%	8.2%
無回答	11	3.3%	
合 計	314	100%	100%

問7 令和8年度以降、平日の部活動についても地域移行が想定されています。あなたは、平日の時間外で行われる地域のスポーツ・文化芸術活動の指導を希望しますか？



項目	n	R6	R4
1 希望する	27	8.2%	6.0%
2 どちらかといえば希望する	31	9.4%	14.9%
3 どちらかといえば希望しない	76	23.0%	19.9%
4 希望しない	194	58.6%	59.2%
無回答	3	0.9%	
合 計	331	100%	100%

問8 現在、あなたは協会等による指導者資格を所持していますか？（たとえば、日本サッカー協会による指導者ライセンスなど）

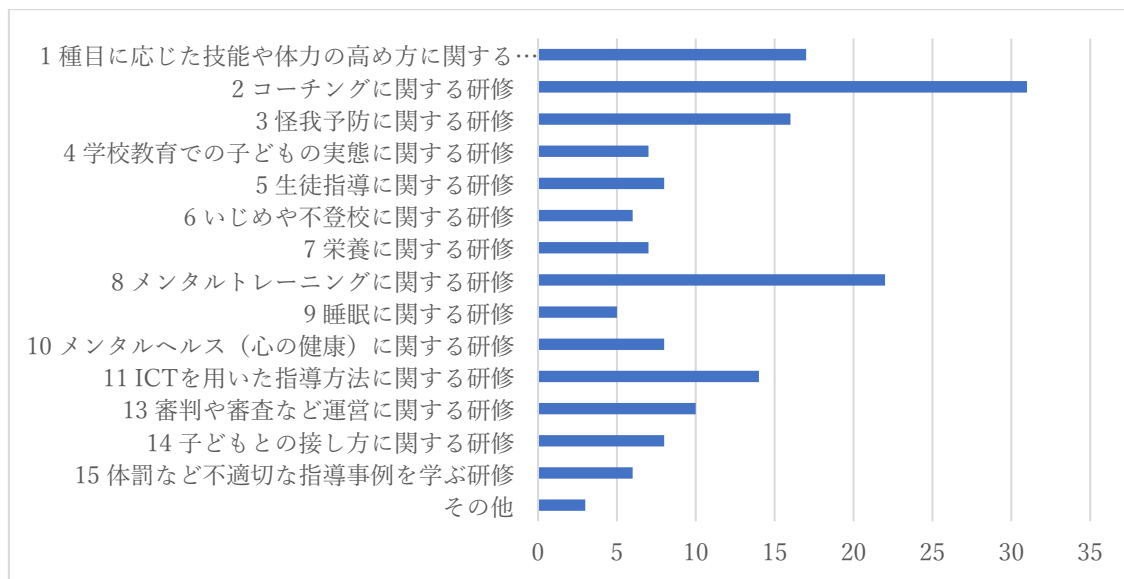


項目	n	R6	R4
1 所持している	18	5.4%	10.9%
2 現在は所持していないが、今後は取得する予定	39	11.8%	3.0%
3 なし	274	82.8%	86.1%
合 計	331	100%	100%

4 指導者研修の希望

✓ 主な結果	
✓	専門性を高めるために受講したい研修について尋ねたところ、「コーチングに関する研修」「メンタルトレーニングに関する研修」の順で、希望したいと回答する割合が高かった。

問9 指導者が自身の専門性を高めるために、今後受講したい研修について、あなたの考えを教えてください。(複数回答可)



項 目	n
1 種目に応じた技能や体力の高め方に関する研修	17
2 コーチングに関する研修	31
3 怪我予防に関する研修	16
4 学校教育での子どもの実態に関する研修	7
5 生徒指導に関する研修	8
6 いじめや不登校に関する研修	6
7 栄養に関する研修	7
8 メンタルトレーニングに関する研修	22
9 睡眠に関する研修	5
10 メンタルヘルス（心の健康）に関する研修	8
11 ICTを用いた指導方法に関する研修	14
13 審判や審査など運営に関する研修	10
14 子どもとの接し方に関する研修	8
15 体罰など不適切な指導事例を学ぶ研修	6
その他	3

地域移行検討協議会資料
7. 3. 14
教育政策課・スポーツ事業推進課

松本市地域クラブガイドについて

1 趣旨

現在、市のホームページに公開している「中学生が参加できる団体一覧」について、より視覚的に団体を紹介するため「松本市地域クラブガイド」を作成し、公開することを報告するものです。

※本ガイドは、中学生や保護者が、自分のエリアで活動する団体の特徴（活動内容、難易度、志向など）を確認し、参加を促進することを目的としています。

2 経過

- R 6. 1. 17 「中学生が参加できる団体一覧」を公開
- 3. 1 「中学生が参加できる団体一覧（改訂版）」を公開
- 9. 19 令和6年度第2回中学校部活動地域移行プロジェクトチーム会議にて「団体カタログ（仮）」の情報提供を依頼
- 11. 22 関係者にて掲載項目を協議
- R 7. 2. 28 令和6年度第3回中学校部活動地域移行プロジェクトチーム会議にて「松本市地域クラブガイド（案）」について報告

3 対象

本ガイドには、市内の中学生を受け入れ可能な団体を掲載します。子どもたちの多様な選択肢を確保するため、「まつチャレ」以外の団体も含みます（「まつチャレ」の団体にはロゴマークを付記）。また、市の推進計画に準拠して地域移行を進める鉢盛中学校区域も対象とするため、山形村・朝日村で活動する地域クラブも掲載します。

4 松本市地域クラブガイドの概要

(1) 掲載内容

種目、団体名、難易度（上級・中級・初級）、活動内容、活動場所、活動日時、募集学年、性別、費用、クラブ員数、大会、指導者数、資格、保険加入、志向（レク・競技）、加入要件、ホームページ等、連絡先 など

(2) 形式

ホームページ上でPDF版を公開

(3) 更新頻度

随時、追加・修正を行います。

5 今後の予定

- (1) 児童生徒ならびに保護者には、校務支援システム(C4th home&school)を通じて情報を提供します。
- (2) 現在公開している「中学生が参加できる団体一覧」は、今後「松本市地域クラブガイド」に統合します。
- (3) 文化系団体を含め、さらなる団体の掲載を促し、本ガイドの充実を図ります。



松本市
松本市教育委員会

地域クラブガイド ～スポーツ編～

バドミントン

上級

中級

初級



山鳩クラブ(愛称:山鳩B.C)



バドミントン競技を通じて、ジュニア期の向上心を育み、仲間と協力する楽しさを学びます。技術の向上だけでなく、礼儀やチームワークの大切さを大事にしながら、一人ひとりの成長をサポートします。

エリア 松本市内

活動場所 旭町小学校

活動日時	月	金
19:00～21:00		18:00～21:00
	土	
13:00～17:00		

募集学年 小学生・中学生

性別 男女どちらでも

費用 入会金 1,000円 / 月 2,000円

クラブ員数 14人

大会 長野県小学生バドミントン連盟、中体連大会

中体連 有

指導者数 2人

指導者資格 日本スポーツ協会公認
バドミントンコーチ1 1人

指導者資格

保険加入 スポーツ安全保険
年800円

指向 レク・競技志向

加入要件 有

ホームページ <http://yamabado.blog35.fc2.com/>

連絡先 内田

電話 09035640788

メールアドレス uchida_akiap@yahoo.co.jp

剣道

上級

中級

初級

山形村剣道クラブ



素振り・基本打突・形稽古など基本の習得を中心に据えつつ、応用・試合稽古も取り入れ、「正しい基本で勝つ」ことを目標に、「己に勝つ」稽古を心掛けています。

エリア 中信地区全般

活動場所 山形村農業者トレーニングセンター体育館

活動日時	火・木	水
19:30～21:00		20:00～21:30
	土	
16:30～19:00		

募集学年 小学生・中学生

性別 男女どちらでも

費用 入会金 0円 / 月 1,000円

クラブ員数 9人

大会 中体連大会・市民大会

中体連 有

指導者数 7人

指導者資格	教士七段	
	剣道	1人
	五段	
	剣道	1人
	三段	
	剣道	4人
	二段	
	剣道	1人

保険加入 スポーツ安全保険
年1,500円

指向 レク・競技志向

加入要件 無

ホームページ なし

連絡先 北原

電話 08081017703

メールアドレス ykita@shopping4.gmob.jp

地域クラブガイド ～スポーツ編～

バスケットボール

中級

初級



SYP (Shonan Yellow Peace)



あいさつや礼儀なども大切にしながら、バスケットボールの基本の技術から指導者が丁寧に指導しているので、始めたばかりの中学生でも安心して参加できます。

エリア

松本全域（南部が中心）

活動場所

寿台体育館

活動日時

月 金
19:00～21:00 19:00～21:00
土・日どちらか
9:00～12:00、13:00～16:00など

募集学年

中学生のみ

性別

女性のみ

費用

入会金 2,200円 / 月 3,000円

クラブ員数

22人

大会

リーグ戦、各種カップ戦、U15選手権

中体連

有

指導者数

5人

指導者資格

日本バスケットボール協会
公認C,Dコーチ 4人

保険加入

スポーツ安全保険
年800円

指向

競技志向

加入要件

無

ホームページ

なし

連絡先

中村

電話

08011838884

メールアドレス

0

バドミントン

上級

中級

初級



バドミントンクラブすどう塾



すどう塾のモットーは、「元気で正直で一生懸命」。スポーツの競技ルールを理解する事で、社会のルールを守る事を学びます。

エリア

松本市市内または市外地域

活動場所

里山辺体育館 他

活動日時

月 水
19:00～21:00 19:00～21:00
土
9:00～12:00

募集学年

小学生・中学生

性別

男女どちらでも

費用

入会金 6,000円 / 月 9,000円

クラブ員数

30人

大会

中体連大会、バドミントン協会大会

中体連

有

指導者数

19人

指導者資格

日本スポーツ協会
公認コーチ3 1人
日本スポーツ協会
公認コーチ2 2人
日本スポーツ協会
公認コーチ1 8人

保険加入

スポーツ安全保険
年800円

指向

競技志向

加入要件

無

ホームページ

<https://sudojuku.jimdoweb.com/>

連絡先

須藤

電話

08069365734

メールアドレス

s.s.c@jun.so-net.jp

地域クラブガイド ～スポーツ編～

バスケットボール

上級
中級
初級

AttractThere's



バスケットを通じて、人間性を育むと共に、全員で目標に向かって切磋琢磨しています。オンザコートでは真剣に。コートを出たらみんな楽しく仲良く楽しく活動しています。

エリア	松本市内学校								
活動場所	鎌田中学校 他								
活動日時	<table><tr><td>月</td><td>水</td></tr><tr><td>19:00～21:00</td><td>19:00～21:00</td></tr><tr><td>木</td><td>土</td></tr><tr><td>19:00～21:00</td><td>17:00or18:00～20:00or21:00</td></tr></table>	月	水	19:00～21:00	19:00～21:00	木	土	19:00～21:00	17:00or18:00～20:00or21:00
月	水								
19:00～21:00	19:00～21:00								
木	土								
19:00～21:00	17:00or18:00～20:00or21:00								
募集学年	中学生のみ								
性別	男性のみ								
費用	入会金 0円 / 月 5,000円								
クラブ員数	33人								
大会	Jr. ウインター、クラブ選手権 等								
中体連	無								
指導者数	4人								
指導者資格	JBA公認コーチライセンス C級、D級 3人								
保険加入	スポーツ安全保険 年800円								
指向	競技志向								
加入要件	有								
ホームページ	attract.u15 (Instagram)								
連絡先	市川								
電話	08026076409								
メールアドレス	rudys570606@icloud.com								

バスケットボール

上級
中級
初級

GREEN WEEDS



バスケットボールを通して、自ら考え行動し、自らを高められる選手に成長できる、学びの場を目指しています。バスケットボールが大好きでやる気のある子ども達、集まれ!!

エリア	中信地区								
活動場所	芝沢小学校								
活動日時	<table><tr><td>火</td><td>金</td></tr><tr><td>19:00～21:00</td><td>19:00～21:00</td></tr><tr><td>土</td><td></td></tr><tr><td>16:00～19:00</td><td></td></tr></table>	火	金	19:00～21:00	19:00～21:00	土		16:00～19:00	
火	金								
19:00～21:00	19:00～21:00								
土									
16:00～19:00									
募集学年	小6～中3								
性別	女性のみ								
費用	入会金 10,000円 / 月 1,500円								
クラブ員数	14人								
大会	U15選手権大会、U15クラブ選手権大会、リーグ戦								
中体連	無								
指導者数	4人								
指導者資格	JBA公認 C級コーチ 2人								
保険加入	スポーツ安全保険 年800円								
指向	競技志向								
加入要件	無								
ホームページ	https://www.instagram.com/gre.enweeds/profilecard/?igsh=MXN4Zmp1MjgzZG11bA==								
連絡先	島崎								
電話	08069373246								
メールアドレス	totoro.may06@icloud.com								

地域クラブガイド ～スポーツ編～

陸上競技

中級

W-run

No Image

中長距離選手のみとなります。人数の制限がありますのでご了承ください。

エリア 松本市(近隣含む)

活動場所 岡田陸上競技場

活動日時 水
19:00～20:30

募集学年 中学生のみ

性別 男女どちらでも

費用 入会金 0円 / 月 5,000円

クラブ員数 25人

大会 特になし

中体連 無

指導者数 1人

指導者資格 日本スポーツ協会公認
スタートコーチ 1人

指導者資格

保険加入 東京海上日動火災
年3,000円程度

指向 競技志向

加入要件 有

ホームページ なし

連絡先 杉村

電話 09046104472

メールアドレス sugi_33@yahoo.ne.jp

バスケットボール

上級

中級

初級



S. Basketball Club (S.B.C)



元気で人間性も素晴らしい選手たちが、全力で練習に取り組んでいます。全国経験のあるコーチが、県内外から学び、人間性の育成にも力を入れています。練習費はチケット制。

エリア 県内全域

活動場所 菅野中

活動日時 月 火
19:00～21:00 19:00～21:00
水 金
19:00～21:00 19:00～21:00

募集学年 小学生・中学生

性別 男女どちらでも

費用 入会金 5,000円 / 月 0円

クラブ員数 50人

大会 Jr. ウインター、クラブ選手権、リーグ戦

中体連 無

指導者数 4人

指導者資格 JBA公認コーチ
B級 1人
JBA公認コーチ
C級 1人
JBA公認コーチ
E級 2人
JBAジュニアエキスパート
高度で専門的な内容を指導する資格 1人

保険加入 スポーツ安全保険
年800円

指向 競技志向

加入要件 有

ホームページ <https://sites.google.com/view/sbc-basketball-non/home?fbclid=PAZXh0bgNhZWQCMTEAAabF6B3S->

連絡先 篠田

電話 09029082365

メールアドレス sbc.shinoda55@gmail.com

地域クラブガイド ～スポーツ編～

バスケットボール

上級
中級
初級

八幡原籠球倶楽部 (Black Jokers/Red Phoenix)

No Image

2024年4月から活動しています。バスケットボールを始めたい初心者～技術をもっと磨きたい経験者まで、競技を通じて心・技・体を養ってもらえる場所を造っています。

エリア	中信地区	
活動場所	芳川小学校 他近隣体育館	
活動日時	日	金
	14:00～17:00	19:00～21:00
	土	19:00～21:00
募集学年	小学生・中学生	
性別	男女どちらでも	
費用	入会金 12,000円 / 月 2,000円	
クラブ員数	12人	
大会	Jr. ウインター、長野県U15クラブバスケットボールクラブ選手権大会	
中体連	無	
指導者数	15人	
指導者資格	JBA公認コーチ C級	2人
	JBA公認コーチ D級	5人
	JBA公認コーチ E級	6人
	JBA公認審判ライセンス B級	1人
保険加入	スポーツ安全保険 年800円	
指向	競技志向	
加入要件	無	
ホームページ	なし	
連絡先	下田	
電話	080-1000-5674	
メールアドレス	beat-crazy.mosa1019@dream.jp	

バレーボール

上級
中級
初級



VC MAST



経験豊富な指導者と近年のバレーボール技術を学んだフレッシュな若い女性指導者がタッグを組み、基礎技術から試合戦術まで楽しく学ぶことができます。

エリア	松本市全域および松本市周辺市町村	
活動場所	鎌田小学校体育館	
活動日時	月、金	土
	19:00～21:00	17:00～21:00
募集学年	小6～中3	
性別	女性のみ	
費用	入会金 3,000円 / 月 4,000円	
クラブ員数	30人	
大会	全国ヤングクラブバレーボール大会、長野県ヤングクラブバレーボール連盟 夏季・冬季リーグ戦	
中体連	無	
指導者数	5人	
指導者資格	日本スポーツ協会公認 バレーボールコーチ 2	1人
	日本スポーツ協会公認 バレーボールコーチ 1	3人
	日本スポーツ協会公認 アシスタントクラブマネジ	1人
保険加入	スポーツ安全保険 年800円	
指向	競技志向	
加入要件	無	
ホームページ	https://www.instagram.com/vcmast_young/profile card/?igsh=aDV30WF6Z3V5YnFp	
連絡先	高山	
電話	09044421477	
メールアドレス	a.takayama@ezweb.ne.jp	

地域クラブガイド ～スポーツ編～

バスケットボール

上級

中級

初級



Always



バスケットボールを楽しみながら、常に成長を目指すクラブチームです。
初心者から経験者まで誰もがプレーする喜びを感じ、スキルを磨ける場所を提供します。

エリア

松本（山形・朝日村）、塩尻、安曇野

活動場所

高綱中学校

活動日時

水 第2・4木
17:00～19:00 19:00～21:00
土・日/祝
午前または午後

募集学年

小6～中3

性別

女性のみ

費用

入会金 1,000円 / 月 3,000円

クラブ員数

12人

大会

中体連大会、U15リーグ戦、選手権大会

中体連

有

指導者数

1人

指導者資格

JBA公認
C級審判 1人
JBA公認
E級コーチ 1人

保険加入

スポーツ保険
年800円

指向

レク・競技志向

加入要件

無

ホームページ

<https://www.instagram.com/always.matsumoto.b.b.c/prof ilecard/?igsh=cTI2dWQzbTdmZDc0>

連絡先

武居

電話

09026449465

メールアドレス

always.matsumoto.b.b.c@gmail.c

バスケットボール

上級

中級

初級

RISING JAM U15



あなたのスキルを次のステージに導く育成型のクラブです。

エリア

中信地区

活動場所

安曇野市穂高南小学校体育館

活動日時

月・水・木 土・日
19:00～21:00 14:00～18:00

募集学年

中学生のみ

性別

男性のみ

費用

入会金 0円 / 月 0円

クラブ員数

20人

大会

長野県選手権大会、長野県クラブ選手権大会、BJカップ、各種カップ戦

中体連

無

指導者数

5人

指導者資格

日本バスケットボール協会
JBA公認 B級 1人
日本バスケットボール協会
JBA公認 C級 1人
日本バスケットボール協会
JBA公認 D級 1人
日本バスケットボール協会
JBA公認 E級 2人

保険加入

スポーツ安全保険
年800円

指向

競技志向

加入要件

無

ホームページ

なし

連絡先

小山

電話

0

メールアドレス

risingjam.u15bbc@gmail.com

地域クラブガイド ～スポーツ編～

バスケットボール

上級

中級

Bullets.



バスケットボールが好きになり、技術及び心身共に成長出来るよう日々全力で練習に取り組んでいます。

エリア

中南信地区

活動場所

信明中学校

活動日時

土

19:00～21:00

日

17:00～20:00

募集学年

小6～中3

性別

男性のみ

費用

入会金 0円 / 月 2,000円

クラブ員数

25人

大会

Jr. ウィンターカップ・クラブ選手権、等

中体連

無

指導者数

3人

指導者資格

JBA公認コーチ

C級コーチ 1人

JBA公認コーチ

D級コーチ 2人

保険加入

スポーツ安全保険
年800円

指向

競技志向

加入要件

有

ホームページ

https://www.instagram.com/bullets._u15_basketball?igsh=YTZjaGp0c3V5b3By&utm_source=qr

連絡先

深澤

電話

09022213162

メールアドレス

motoi.japan@icloud.com

陸上競技

上級

中級

初級



まつもとTFC



部活動に入る予定の皆さんが、出来るだけ部活動に近い環境で活動できるように、練習時間と大会出場の場を確保しながら、競技力をつけることを大切に考えているクラブです。

エリア

松本市内

活動場所

梓川中学、鎌田中学、松島中学、針盛中学、山辺中学 他

活動日時

火又は水

17:30～19:30

土

8:00～11:00

募集学年

中学生のみ

性別

男女どちらでも

費用

入会金 0円 / 月 500円

クラブ員数

190人

大会

中体連大会、松本市民スポーツ大会 等

中体連

有

指導者数

20人

指導者資格

日本陸上競技連盟、日本スポーツ協会公認

コーチ 1 8人

日本陸上競技連盟、日本スポーツ協会公認

コーチ 3 1人

保険加入

スポーツ安全保険
年800円

指向

競技志向

加入要件

無

ホームページ

<https://sites.google.com/view/matsumototfc/>

連絡先

0

電話

0

メールアドレス

matsumototfc832@gmail.com

地域クラブガイド ～スポーツ編～

バスケットボール

上級

中級

初級

西部 GREEN SPUNKYS U15



初心者大歓迎！！経験問わずバスケットが大好きな人集まれ！！目標に向かって楽しい仲間と一緒にバスケットしませんか。見学＆体験いつでもOK気軽に遊びに来て下さい。

エリア 松本市、安曇野市、塩尻市、その他

活動場所 波田小学校、ANCアリーナ、豊科南中学校

活動日時 火・金・土日
19:00～21:30

募集学年 中学生のみ

性別 女性のみ

費用 入会金 0円 / 月 3,000円

クラブ員数 22人

大会 リーグ戦、Jrウインター、全国クラブ大会 等

中体連 無

指導者数 8人

指導者資格 JBA公認C級コーチ
コーチ、アシスタントコーチ 4人

保険加入 スポーツ安全保険
年800円

指向 競技志向

加入要件 無

ホームページ https://www.instagram.com/air_hoop

連絡先 高山

電話 090-2647-0624

メールアドレス taka.shimo@bridge.ocn.ne.jp

バドミントン

上級

中級

初級

まつもと城東バドミントンクラブ



中学生からバドミントンを始めたい人を集めたい。少しでも上手になりたい子も大会を勝ち進みたい子にも競技力に合わせた指導が可能な有資格指導者が常駐するチームです。

エリア 松本市およびその近郊

活動場所 岡田体育館他

活動日時 火 17:00～19:00 水 17:00～19:00
土 13:00～17:00

募集学年 小6～中3

性別 男女どちらでも

費用 入会金 6,000円 / 月 6,500円

クラブ員数 18人

大会 中体連大会、松本市市民祭他

中体連 有

指導者数 6人

指導者資格 日本スポーツ協会
バドミントンコーチ2 1人
日本スポーツ協会
バドミントンコーチ1 1人

保険加入 公益財団法人 スポーツ安全協会
年800円

指向 レク・競技志向

加入要件 無

ホームページ <https://matsumoto-joto.jimdofree.com/>

連絡先 伊藤

電話 09077526296

メールアドレス akitsu.326@gmail.com

令和6年度 第4回松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会

松本市立博物館講堂

市スポーツ協会事務局長		松本大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授	
横内副会長		新井会長	
PTA連合会 常田委員			株式会社松本山雅 柄澤委員
PTA連合会 小林委員			公民館長会会長 藤野委員
			中学校長会代表 宮下委員
オンライン参加 信州大学教職支援センター准教授 荒井オブザーバー			中学校長会代表 中川委員
竹内主査			
赤羽次長	坂口教育監	伊佐治教育長	小口部長
大島本部長		逸見局長	
横山補佐	西澤課長	小西課長	清澤課長
山本課長	輪湖課長	廣田課長	勝家センター長
SDB 長瀬さん	降旗補佐	高山指導主事	幅CO
傘木係長	齋藤係長	上嶋係長	堀金係長
千賀主査	篠田主事	浅井主査	脇谷主事
中島主事	真田補佐		